



Signage Display 2000 Series

43BDL2050A

50BDL2050A

55BDL2050A

65BDL2050A



ユーザーマニュアル (日本語)

目次

1. 安全上の注意	1	10.6. ピクセル欠陥の許容値	54
2. 開梱と設置	4	10.7. ムラ	54
2.1. 開梱	4	11. クリーニングとトラブルシューティング	55
2.2. パッケージ内容	7	11.1. クリーニング	55
2.3. 設置に関する注意事項	7	11.2. トラブルシューティング	56
2.4. 壁への取り付け	8	12. 技術仕様	58
2.5. 縦長方向での取り付け	9	索引	60
3. 各部の名称と機能	10		
3.1. コントロールパネル	10		
3.2. 入力 / 出力端子	11		
3.3. リモコンに乾電池を挿入する	12		
3.4. リモコンの取り扱い	12		
3.5. リモコンの操作範囲	12		
3.6. リモコン	13		
4. 外部機器の接続	17		
4.1. 外部機器の接続(マルチメディアプレーヤー)	17		
4.2. PC の接続	17		
4.3. オーディオ機器の接続	17		
4.4. IR 接続	18		
4.5. IR パススルー接続	18		
5. 操作	19		
5.1. 接続した映像ソースの視聴	19		
5.2. 画像フォーマットの変更	19		
5.3. 概要	19		
5.4. メディアプレーヤー	21		
5.5. ブラウザー	24		
5.6. PDF プレーヤー	28		
5.7. カスタムアプリ	30		
6. 設定	31		
6.1. 設定	31		
6.2. 補足	40		
7. 画面メニュー	42		
7.1. 画面メニューの操作	42		
7.2. OSD メニューの概要	42		
8. サポートされているメディア形式	48		
9. 入力モード	51		
10. ピクセル欠陥ポリシー	53		
10.1. ピクセルとサブピクセル	53		
10.2. ピクセル欠陥の種類+ドット定義	53		
10.3. 輝点欠陥	53		
10.4. 暗点欠陥	54		
10.5. ピクセル欠陥の近接性	54		

1. 安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告:本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

この製品は、ビジネス環境における専門的な設置での使用のみを目的としており、家庭での使用には適していません。

このデバイスが意図されている以外の使用は、保証を無効にする可能性があります。

操作時:

- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ディスプレイを油に近づけないでください。プラスチックカバーが損傷する可能性があります。
- ディスプレイは十分に換気されている場所に設置してください。
- 屋外で使用する場合は、紫外線フィルターが必要です。
- 温度が高い、湿度が高い、表示頻度が高い、動作時間が長いなど、極端な条件下でディスプレイを使用する場合は、Philips のアプリケーションエンジニアにご相談ください。ご相談いただかなかった場合、ディスプレイの信頼性と機能への保証が損なわれる可能性があります。極端な条件は、空港、乗換駅、銀行、証券取引所、制御システムになどでよく見受けられます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。
- 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ディスプレイの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落としたりしないでください。
- アイボルトはメンテナンスや設置の際に短期間使用するためのものです。1 時間以上にわたりアイボルトを使用し続けることを推奨します。長期にわたっての使用は禁止されています。アイボルトを使用する際には、ディスプレイの下に障害物を置かないようにして安全エリアを確保してください。

メンテナンス:

- ディスプレイを損傷するおそれがあるため、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを移動する際は、必ずフレームを持って持ち上げてください。LCD パネルに手や指を当ててディスプレイを持ち上げないでください。
- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。

環境的絶対定格

項目	最小	最大	単位
保管温度	-20	60	°C
動作温度	0	40	°C
ガラス面温度 (動作時)	0	65	°C
保管湿度	5	95	% RH
動作湿度	20	80	% RH

- 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常に摂氏 25 度に保つ必要があります。
- 適切な動作条件でディスプレイが使用された場合にのみ、本仕様に記載されているディスプレイの寿命が保証されます。

重要:ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「残像」または「ゴースト像」として知られ

る「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告:「焼き付き」、「残像」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス:

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従っても本製品が正常に動作しない場合は、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

安定性上の危険性。

ディスプレイが落下すると、重傷または死亡を引き起こす可能性があります。怪我を防止するため、設置説明書に従って、床 / 壁にディスプレイをしっかり固定してください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外してディスプレイの電源をオフにする場合は、6 秒間待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを再接続し、通常操作を行ってください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 重要: ディスプレイを使用しない場合は、常にスクリーンセーバーを有効にしてください。コントラストの高い静止画像を長時間表示した場合、画面に「残像」または「ゴースト像」として知られる焼き付きが発生する可能性があります。これは LCD パネル技術においてよく知られた現象であり、その原因は LCD 技術に内在する特性に起因します。ほとんどの場合、電源をオフにすることで、焼き付き、残像、ゴースト像は時間とともに徐々に消失します。ただし、これらの症状は修理不可能であり、保証の対象外となることにご注意ください。
- 電源コードに 3 ピン取り付けプラグが付属している場合は、接地（アース）された 3 ピンコンセントにコードを接続してください。2 ピンアダプターを取り付けるなどして、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは重要な安全機能です。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。このような場合、使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。

VCCI-A

<アプリのインストールについての注意事項>

●アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。

ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。

●万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。

●お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

●アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。

●アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

●Android OS のバージョンダウンもバージョンアップも行わないで下さい。

●Android OS のバージョンに合わせたアプリをインストールしてください。

粗分類		化学物質表					
		Pb	Hg	Cd	Cr6+	PBBs	PBDEs
前面ベゼル		○	○	○	○	○	○
背面カバー		○	○	○	○	○	○
パネル		除外項目	○	○	○	○	○
LCD ディスプレイ	WLED	除外項目	○	○	○	○	○
	CCFL	除外項目	除外項目	○	○	○	○
PCBA*		除外項目	○	○	○	○	○
ケーブル & ワイヤ		除外項目	○	○	○	○	○
リモコン		除外項目	○	○	○	○	○
*:PCBA はベア印刷回路基板で構成され、はんだ付けされた抵抗器、コンデンサ、アレー、コネクタ、チップなどの表面実装部品を含みます。							
注 1:「○」は、算出された物質の含有率が基準含有率を超えていないことを示します。							
注 2:「除外項目」とは、特定の化学物質が JIS C 0950:2021 の規定に基づき除外対象とされている項目を意味します。							
JIS C 0950: 2021							

2. 開梱と設置

2.1. 開梱

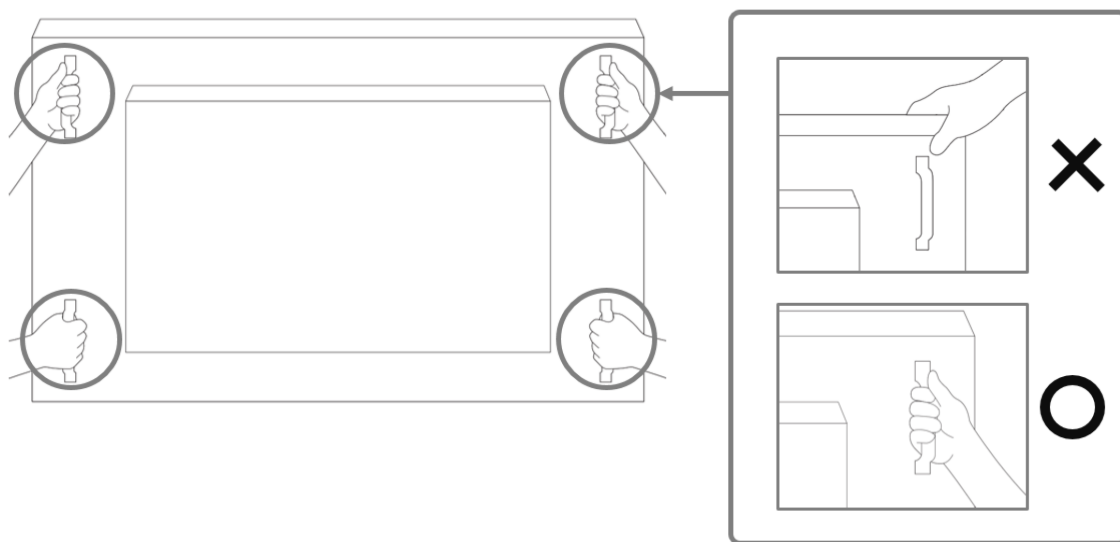
- 本製品は、標準付属品とともに段ボール箱に梱包されています。
- その他のオプション付属品は、別途梱包されます。
- 本製品は高く重い構造であるため、装置の移動作業は2名の技術者で行うことを推奨します。
- 段ボール箱を開封した後、内容物がすべて揃っており、良好な状態であることを確認してください。

■開梱前に

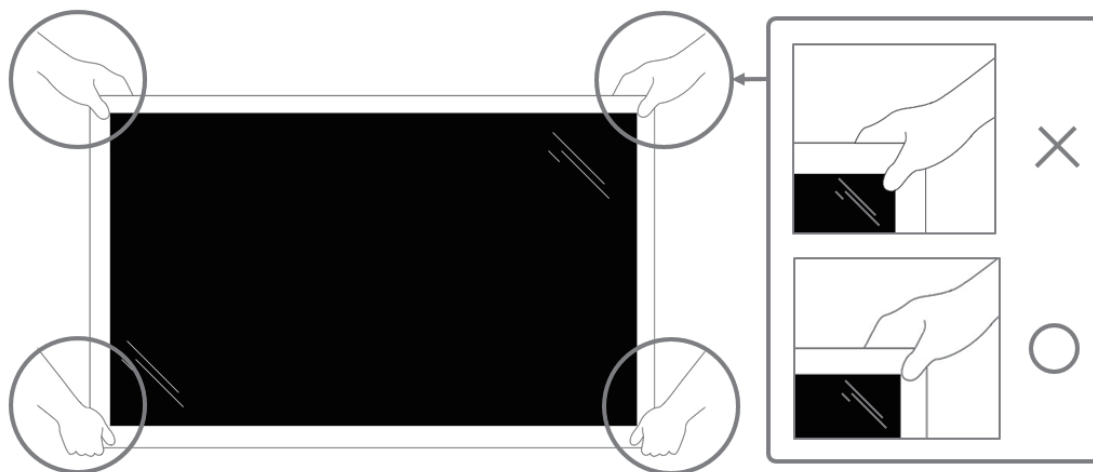
- 設置の前に、開梱に関する注意事項をよく読み、十分に理解してください。
- きしみ音やへこみなど、包装に異常がないか確認してください。
- ディスプレイをカートンから取り出す前に、必要な点検を行ってください。
- 損傷を防ぐため、ディスプレイの設置は必ず経験豊富な技術者に行わせてください。

■注意

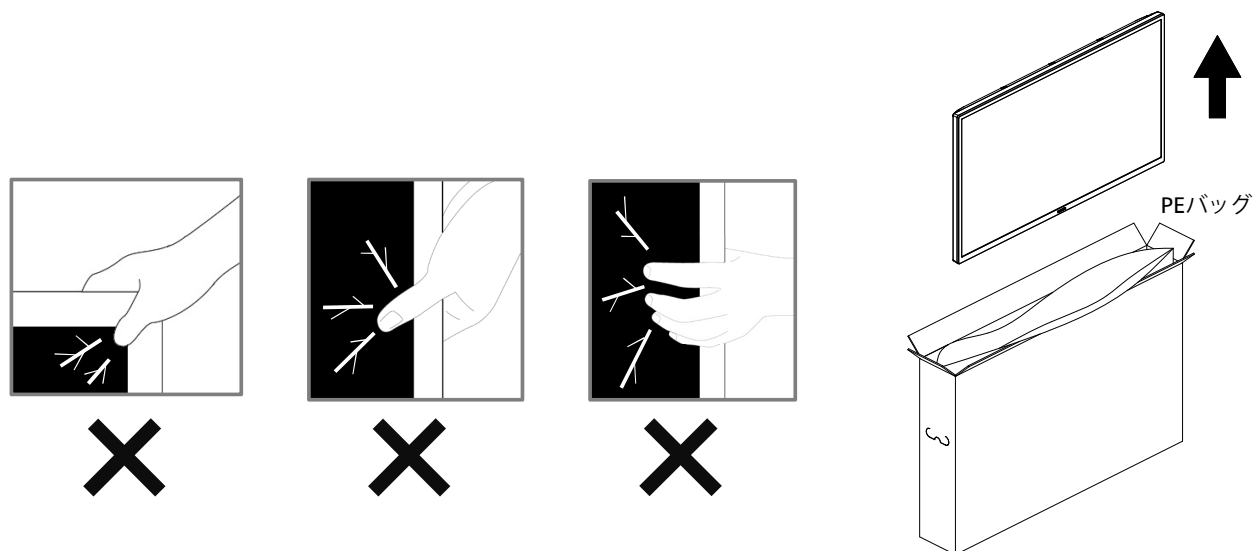
- ハンドル付きディスプレイの場合：
 - ディスプレイをカートン箱から取り出す際は、大人2人で両手を使って行ってください。
 - ディスプレイを移動する際は、ハンドルを持ってください。



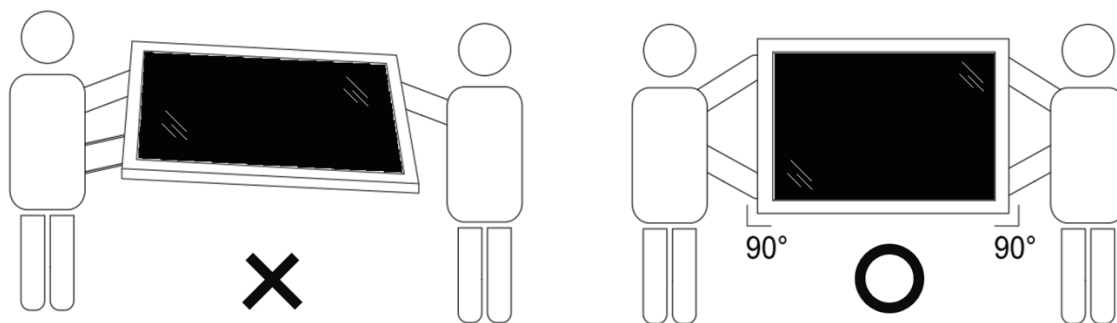
- ハンドルなしディスプレイの場合：
 - ディスプレイをカートン箱から取り出す際は、大人2人で両手を使って行ってください。
 - ディスプレイのガラス面をつかんだり、触れたりしないでください。
 - ディスプレイのベゼル面（プラスチックまたは金属）を持ってください。



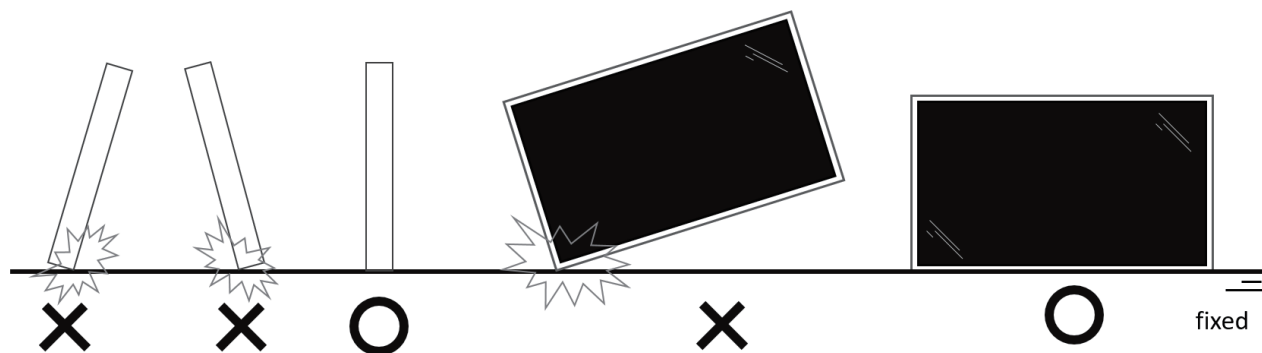
- ディスプレイを箱から取り出す際は、保護袋を内側に残したままにし、損傷を防ぐためにディスプレイのガラスに触れないよう注意してください。



- ディスプレイを移動する際は、常に立てた状態を保ってください。

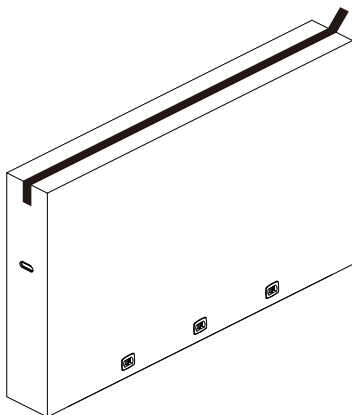


- ディスプレイを垂直に置き、重量が面に均等に分散するようにしてください。

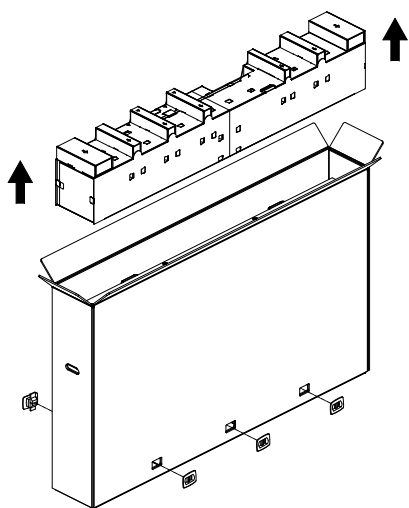


■ 開梱手順

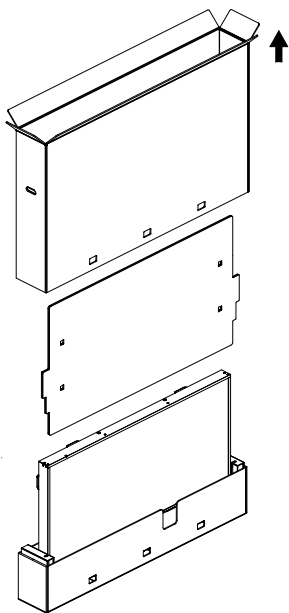
1. テープを取り外してください。



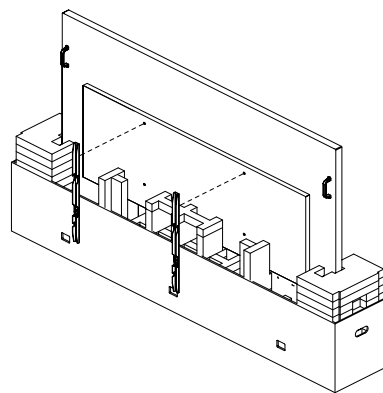
2. すべてのアクセサリと上部クッションを、梱包の上部開口部から取り出してください。



3. 段ボールを廃棄し、梱包袋を開けてください。

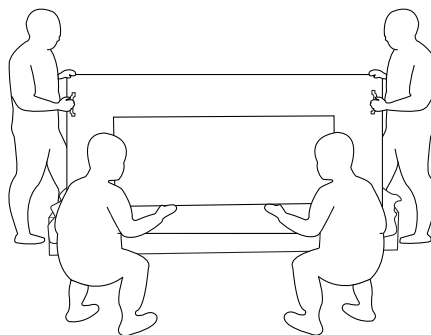


4. ディスプレイが下部クッションに入っている状態で、ウォールマウントキット(*)を取り付けてください。(* 別途購入が必要です)

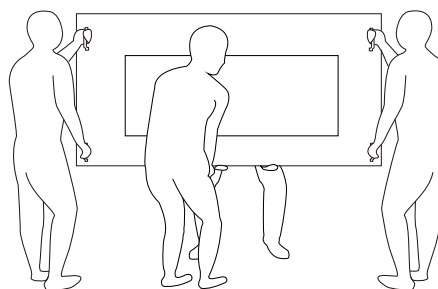


* 開梱および設置に必要な専門スタッフの推奨人数は、65" の場合は少なくとも 2 名です。

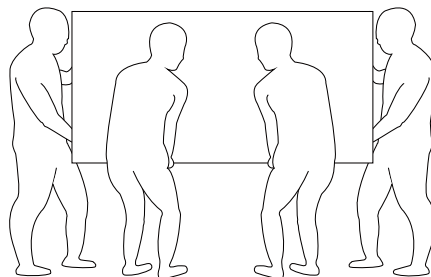
5. 両側の 2 名はディスプレイの背面から上部のハンドルを持ち、他の 2 名は下からディスプレイを支えてください。



6. 下部のハンドルが箱から出るまで、ディスプレイを慎重に移動してください。両側の 2 名が 4 つのハンドルを持ち、他の 2 名はディスプレイの前面と背面に立って下部を支えてください。



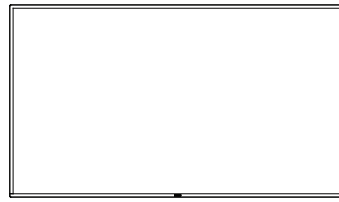
7. 最初にディスプレイの背面にいた人は前面に移動し、4 名全員でディスプレイを壁に取り付けられるようにしてください。



2.2. パッケージ内容

パッケージに以下のアイテムが同梱されていることを確認してください：

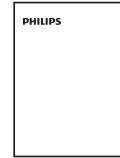
- LCD ディスプレイ
- リモコンとリモコン用単 4 乾電池
- 保証書
- クイックスタートガイド
- 電源ケーブル
- IR センサーケーブル
- フィリップスロゴ
- HDMI ケーブル



LCD ディスプレイ



リモコンとリモコン用単4乾電池



保証書



クイックスタートガイド



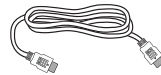
電源ケーブル



IRセンサーケーブル



フィリップスロゴ



HDMI ケーブル

* 項目は地域によって異なる場合があります

* ディスプレイのデザインおよび付属品は、掲載されている画像と異なる場合があります。

注意：

- その他のすべての地域では、電源コンセントの AC 電圧に適合し、当該国の安全規制による承認を受けており、その規制に準拠した電源コードを使用してください (Type H05W-F、2G または 3G、0.75 または 1 mm² を使用する必要があります)。
- 製品を開梱した後は、梱包材を適切に保管してください。

2.3. 設置に関する注意事項

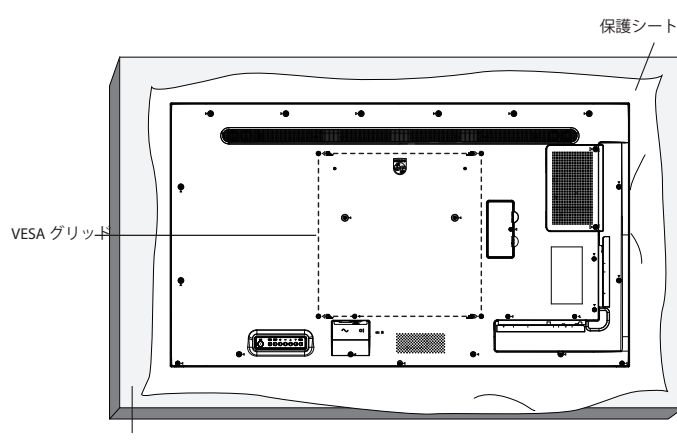
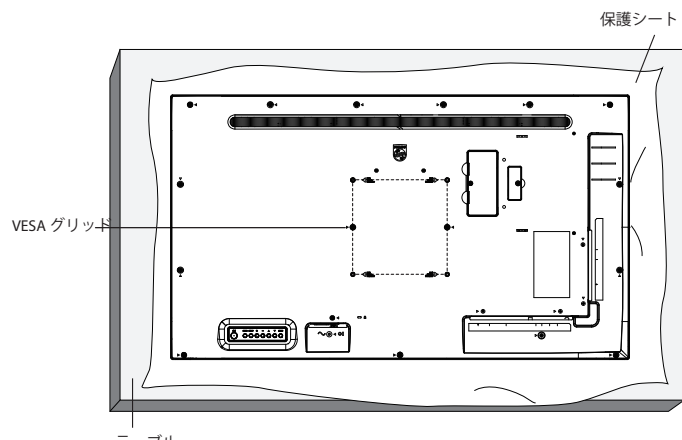
- 本製品に付属の電源ケーブルのみを使用してください。延長コードが必要な場合は、サービス担当者にご相談ください。
- 製品は必ず平らな面に設置してください。平らでない面に設置すると、製品が転倒するおそれがあります。適切な通風を確保するため、製品の背面と壁の間にすき間を空けてください。キッチン、浴室、または湿気にさらされる場所には製品を設置しないでください。これらの場所に設置すると、内部部品の寿命が短くなるおそれがあります。
- 標高 5000m 以上の場所には製品を設置しないでください。設置すると、誤動作の原因となるおそれがあります。

2.4. 壁への取り付け

本ディスプレイを壁に取り付けるには、標準的な壁掛けキット（市販品）が必要です。北米では、TUV-GS 規格および / または UL1678 規格に準拠した取り付けインターフェースを使用することをお勧めします。

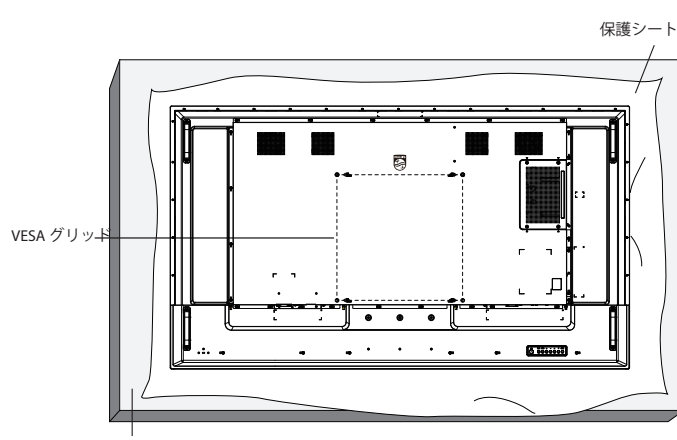
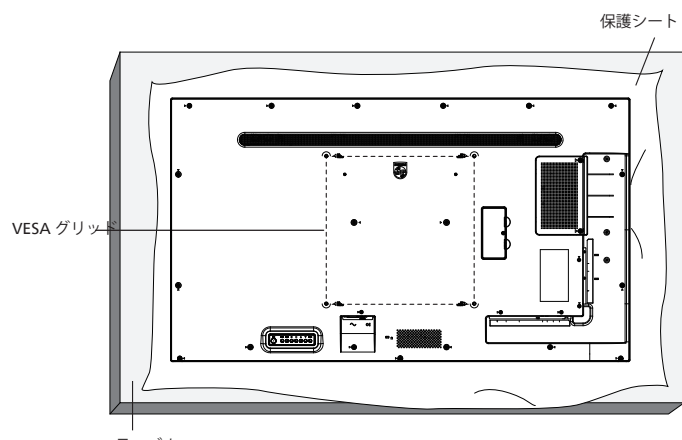
43BDL2050A

50BDL2050A



55BDL2050A

65BDL2050A



1. ディスプレイより大きい平らで水平な面を用意し、画面メニューに傷をつけずに作業を進められるように、その上に厚手の保護シートを広げてください。
2. すべての種類の取り付け（壁掛け、天井吊り下げ、テーブルスタンドなど）に必要なすべてのアクセサリが揃っていることを確認してください。
3. 壁掛けキットに付属の説明書に従ってください。正しい取り付け手順に従わない場合、機器の損傷やユーザーまたは設置作業者のけがにつながるおそれがあります。不適切な設置によって生じた損傷は、製品保証の対象外となります。
4. 43BDL2050A/50BDL2050A/55BDL2050A: 壁掛けキットには、M6 取り付けネジ（取り付けブラケットの厚さより 10 mm 長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。
65BDL2050A: 壁掛けキットには、M8 取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより 15 mm 長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。

2.4.1. VESA グリッド

43BDL2050A	200(H) x 200(V) mm
50BDL2050A	400(H) x 400(V) mm
55BDL2050A	400(H) x 400(V) mm
65BDL2050A	400(H) x 400(V) mm

注意：

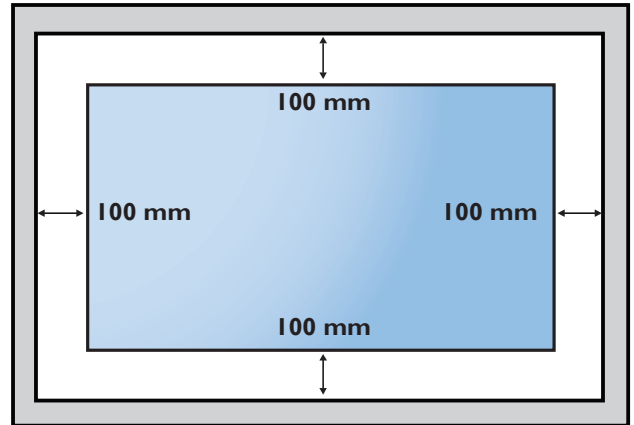
ディスプレイの落下を防ぐには：

- 壁面または天井に取り付ける場合は、市販の金属製ブラケットを使用してディスプレイを設置することをお勧めします。設置に関する詳細な手順については、ブラケットに付属のガイドを参照してください。
- 地震やその他の自然災害時にディスプレイが落下するのを防ぐため、取り付け場所についてはブラケットの製造元にご相談ください。
- 本製品は高く重量があるため、4名の技術者による設置作業を推奨します。

換気に必要なスペース

換気のため、ディスプレイの上、背面、右、左に 100 mm のスペースを確保してください。

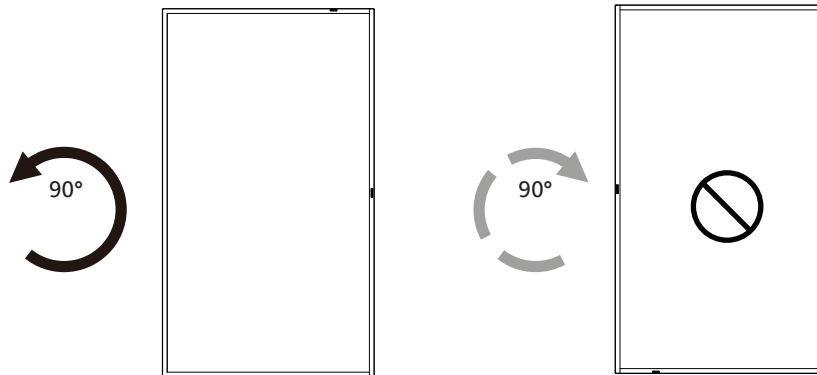
注記：ディスプレイを壁面に設置する際は、専門の技術者にご連絡いただくことをお勧めします。専門の技術者によって設置が行われなかった場合の製品の損傷について、当社は一切の責任を負いません。

**2.5. 縦長方向での取り付け**

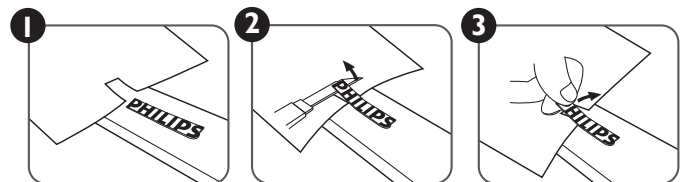
本ディスプレイは縦長方向で設置できます。

ディスプレイを反時計回りに 90 度回転させてください。ディスプレイに向かったとき、「**PHILIPS**」ロゴが右側になるようにしてください。

注記： 縦長モードでの動作時間は 1 日 24 小时です。

**2.5.1. ロゴプレートの取り外し方法**

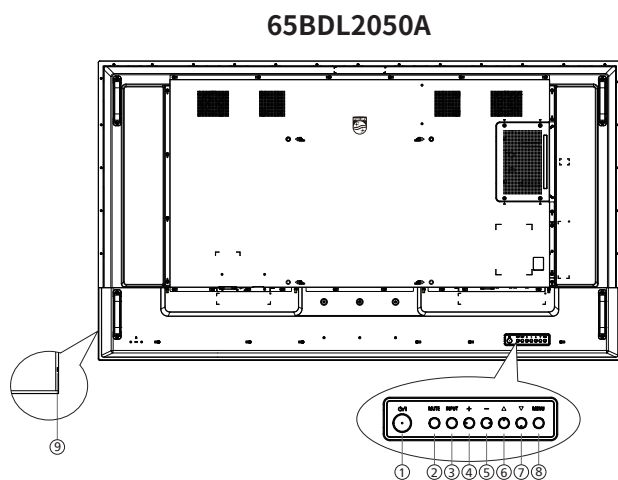
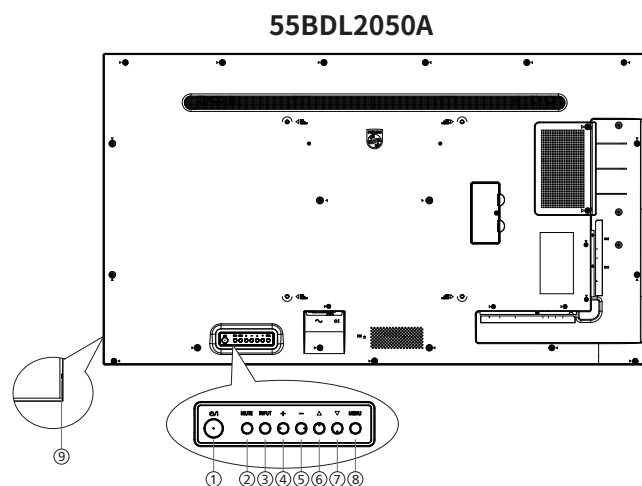
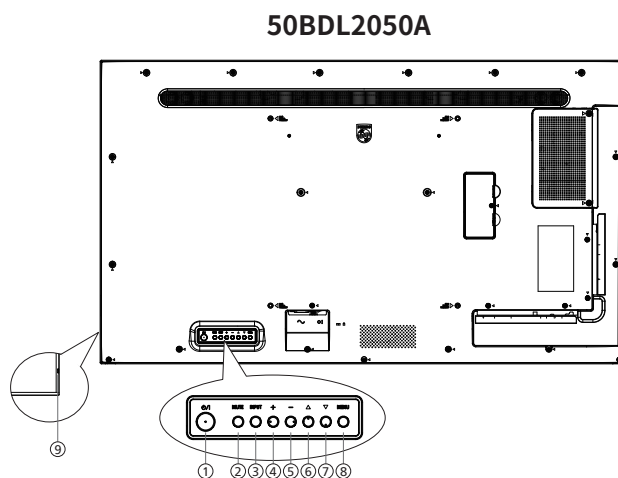
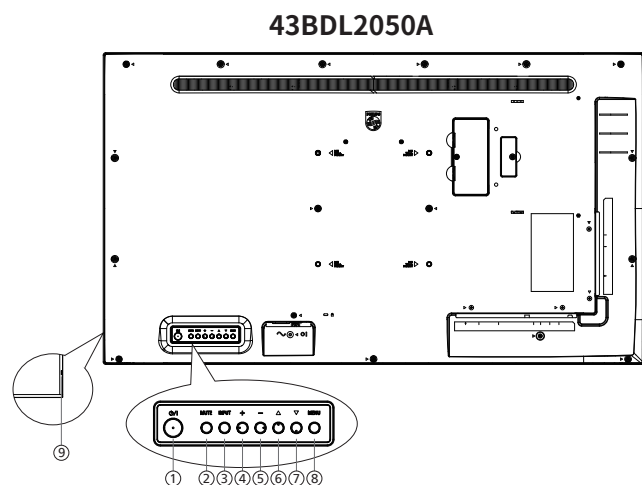
1. フロントベゼルに傷が付くのを防ぐため、ロゴの切り抜き部分のある紙を保護材として用意してください。
2. 下に紙を敷き、ナイフを使って慎重にロゴステッカーを取り外してください。
3. ロゴステッカーをはがしてください。



注記： ディスプレイを壁に取り付ける際は、専門の技術者に連絡することをお勧めします。専門の技術者によって設置が行われなかった場合、製品のいかなる損害についても当社は責任を負いません。

3. 各部の名称と機能

3.1. コントロールパネル



① [/ I] ボタン

このボタンを押すと、ディスプレイの電源がオンになるか、スタンバイモードになります。

② [ミュート] ボタン

このボタンを押すと、音声ミュートまたはミュート解除されます。

③ [入力] ボタン

入力ソースを選択してください。

④ [+] ボタン

OSD メニューがオンのときは調整値を上げ、OSD メニューがオフのときはオーディオ出力レベルを上げます。

⑤ [-] ボタン

OSD メニューがオンのときは調整値を下げ、OSD メニューがオフのときはオーディオ出力レベルを下げます。

⑥ [▲] ボタン

OSD メニューがオンのとき、選択した項目を 1 つ上の階層に移動します。

⑦ [▼] ボタン

OSD メニューがオンのとき、選択した項目を 1 つ下の階層に移動します。

⑧ [MENU] ボタン

OSD メニューがオンのとき、前のメニューに戻ります。このボタンは、OSD メニューがオフのときに OSD メニューを表示する際にも使用できます。

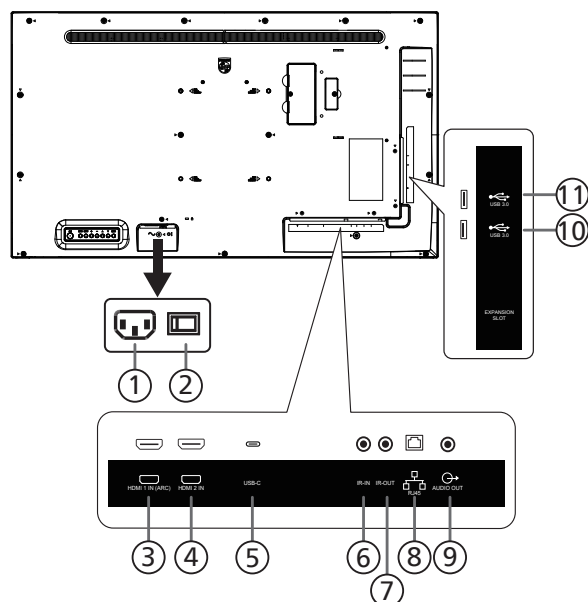
⑨ リモコンセンサーおよび電源状態インジケター

- ・ リモコンからのコマンド信号を受信します。
- ・ ディスプレイの動作状態を示します：
 - ディスプレイがオンのときは緑色に点灯します
 - ディスプレイがスタンバイモードのときは赤色に点灯します
 - ランプが赤色に点滅している場合は、故障が検出されたことを示します
 - ディスプレイの主電源がオフのときは消灯します

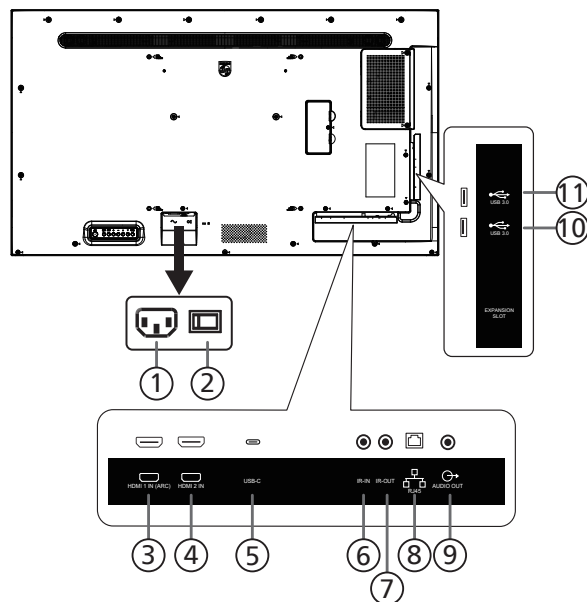
* リモコンの性能を向上させるには、IR センサーケーブル(オプション)を使用してください。

3.2. 入力 / 出力端子

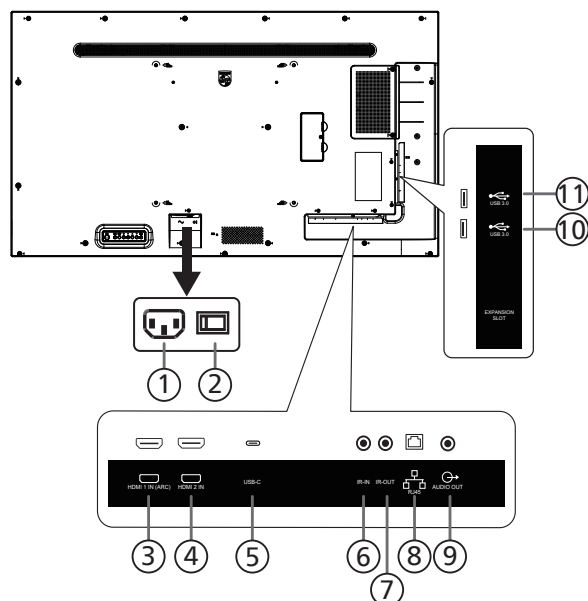
43BDL2050A



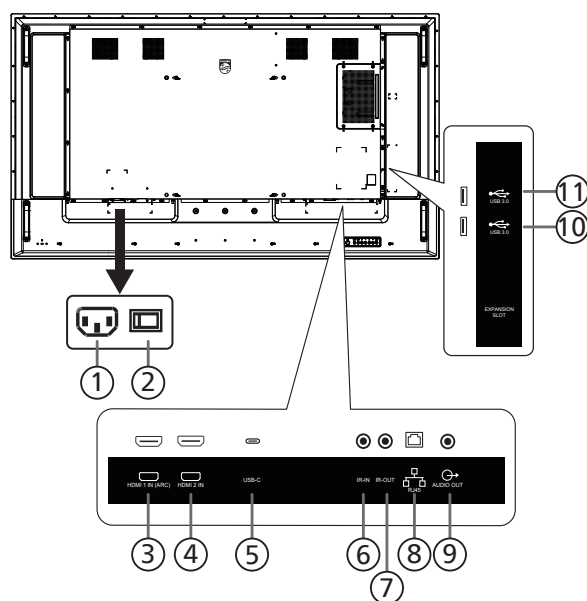
50BDL2050A



55BDL2050A



65BDL2050A



① AC 入力

壁面コンセントからの AC 電源入力。

② 主電源スイッチ

主電源をオンとオフに切り替えます。

③ HDMI 1 入力 (ARC)

HDMI ケーブルでソース機器に接続してください。

④ HDMI 2 入力

HDMI ケーブルでソース機器に接続してください。

⑤ USB-C

ディスプレイに対応しています。

⑥ IR 入力 / ⑦ IR 出力

ループスルー機能のための IR 信号の入力 / 出力。

注記：

- ジャック [IR 入力] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは動作しなくなります。
- 本ディスプレイ経由で A/V デバイスをリモート制御するには、IR パススルー接続を参照してください。

⑧ RJ-45 入力

LAN 制御機能は、コントロールセンターからリモコン信号を送信するために使用します。

⑨ オーディオ出力

外部 AV デバイス用のオーディオ出力です。

⑩ USB 3.0

USB ストレージデバイスに接続します (スケーラー SW ファームウェアのアップデートに対応しているのは、このポートのみです)。

⑪ USB 3.0

USB ストレージデバイスに接続します。

3.3. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 2 本の 1.5V 単 4 乾電池で作動します。

乾電池を取り付ける、または交換する：

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 正しい極性(+)および(-)で乾電池を挿入してください。
3. カバーを元に戻してください。

注意：

乾電池を誤って使用すると、液漏れまたは爆発を引き起こす可能性があります。以下の指示に必ず従ってください：

- 正しい極性 (+ と -) で単 4 乾電池を挿入してください。
- 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- 使用済みの乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。そうしないと、液漏れが発生したり、乾電池の寿命が短くなったりする可能性があります。
- 乾電池収納部での液漏れを防ぐため、消耗した乾電池は直に取り外してください。露出した電解液に触れないでください。皮膚に接触すると、けがをする可能性があります。
- バッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発する可能性があります。バッテリーを非常に高温の周囲環境に放置すると、爆発や可燃性の液体またはガスの漏れが発生する可能性があります。バッテリーを非常に低い空気圧にさらすと、爆発または可燃性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。

注記：長期間にわたって使用しない場合は、乾電池収納部から乾電池を取り外してください。

3.4. リモコンの取り扱い

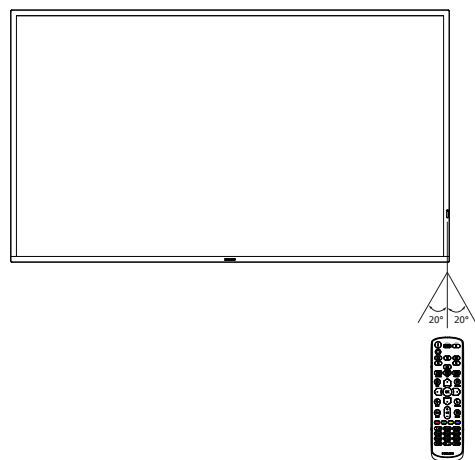
- リモコンを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。
- リモコン内部に液体が入らないようにしてください。万一リモコンに水が入った場合は、直ちに乾いた布で拭き取ってください。
- 熱や蒸気を発生するものの近くに、リモコンを置かないでください。
- リモコンに乾電池を挿入する場合を除き、リモコンを分解しないでください。

3.5. リモコンの操作範囲

ボタンを押すときは、リモコンの先端部をディスプレイのリモートセンサーに向けてください。

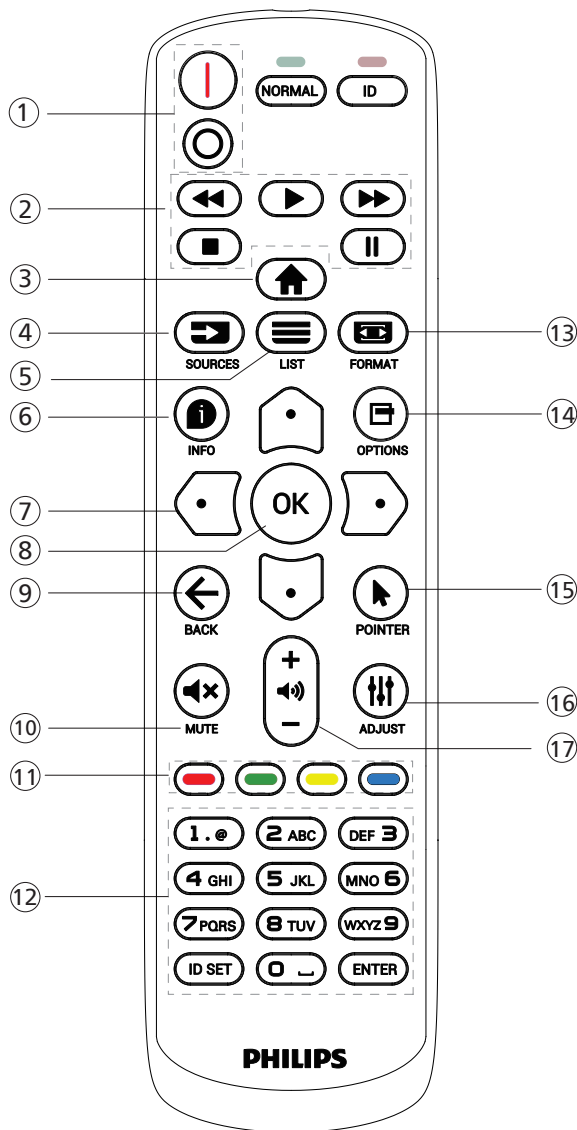
リモコンは、ディスプレイのセンサーから 4m/16ft 以内の距離、および水平・垂直方向とも 20°未満の角度の範囲内で使用してください。

注記：ディスプレイのリモートセンサーが直射日光や強い照明にさらされている場合、またはリモコンとディスプレイのリモートセンサーの間に障害物がある場合は、リモコンが正常に機能しないことがあります。



3.6. リモコン

3.6.1. 一般的な機能



① [I/O] 電源ボタン

- [I] 電源をオンにします。
- [O] 電源をオフにします。

② [PLAY] ボタン

メディアファイルの再生を制御します(メディア入力のみ)。
 フリーズ機能
 Pause:すべての入力のコンテンツをフリーズするためのホットキーです。
 Play:すべての入力のコンテンツのフリーズを解除するためのホットキーです。

③ [HOME] ボタン

ルートメニュー:OSD メニューにアクセスします。
 その他:OSD メニューを終了します。

④ [SOURCE] ボタン

ルートメニュー:入力ソースを選択します。

⑤ [LIST] ボタン

予約済みです。

⑥ [INFO] ボタン

インフォメーション OSD を表示します。

⑦ ナビゲーションボタン

[△]

ルートメニュー:Smart 画像メニューの OSD に移動します。
 メインメニュー:選択した項目を上に移動して調整します。
 IR デイジーチェーンメニュー:制御対象のグループ ID 番号を増加させます。

[▽]

ルートメニュー:オーディオソースの OSD に移動します。
 メインメニュー:選択した項目を下に移動して調整してください。
 IR デイジーチェーンメニュー:制御するグループ ID 番号を減らしてください。

[◀]

メインメニュー:1 つ前のレベルのメニューに戻ってください。
 ソースメニュー:ソースメニューを終了してください。
 音量メニュー:音量を下げて下さい。

[▶]

メインメニュー:次のレベルのメニューに進むか、選択したオプションを設定してください。
 ソースメニュー:選択したソースに切り替えてください。
 音量メニュー:音量を上げて下さい。

⑧ [OK] ボタン

ルートメニュー:プライマリ / セカンダリモードで IR デイジーチェーンの OSD に移動してください。
 メインメニュー:入力または選択を確定してください。

⑨ [←] 戻るボタン

前のページに戻るか、前の機能を終了してください。

⑩ [MUTE] ミュートボタン

音声をミュートまたはミュート解除してください。

⑪ [COLOR] 色 (彩度) ボタン

[BLUE] バックライトをオンおよびオフにするホットキーです。

⑫ [番号 / ID 設定 / ENTER] ボタン

ネットワーク設定用のテキストを入力してください。
 押すとディスプレイ ID を設定します。詳細については「ID リモコン」を参照してください。

⑬ [FORMAT] ボタン

画像のズームモードを選択してください。

⑭ [OPTIONS] ボタン

予約済みです。

⑮ [POINTER] ボタン

予約済みです。

⑯ [ADJUST] ボタン

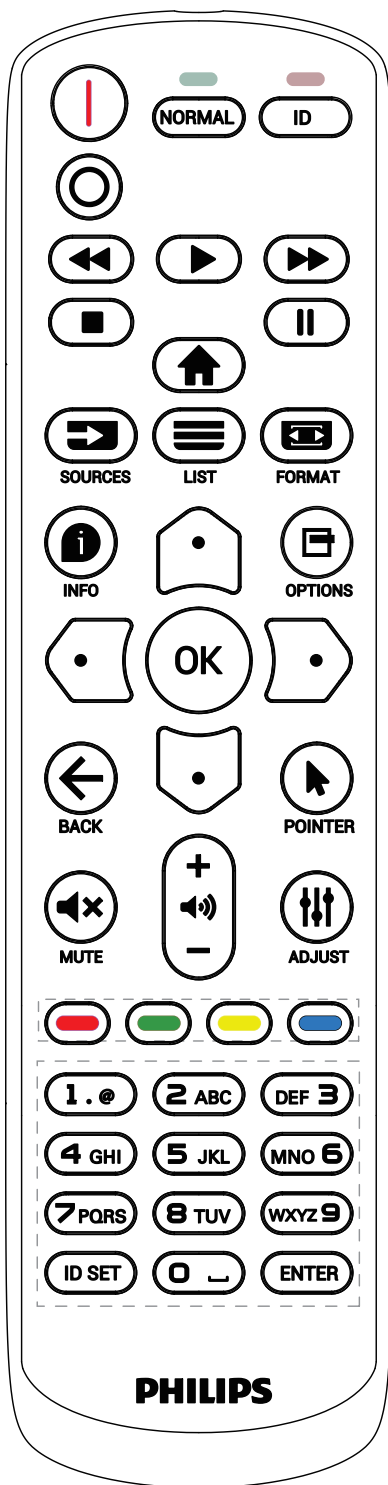
予約済みです。

⑰ [VOL+] [VOL-] 音量ボタン

音量を調整してください。

3.6.2. ID リモコン

複数のディスプレイを使用する場合は、リモコンの ID 番号を設定してください。



[ID] ボタンを押すと、赤色 LED が 2 回点滅します。

1. [ID SET] ボタンを 1 秒以上押すと、ID モードに入ります。赤色 LED が点灯します。
[ID SET] ボタンをもう一度押すと、ID モードを終了します。赤色 LED が消灯します。

数字ボタン [0] ~ [9] を押して、制御するディスプレイを選択してください。

例：ディスプレイ No.1 の場合は [0] と [1] を押し、ディスプレイ No.11 の場合は [1] と [1] を押してください。

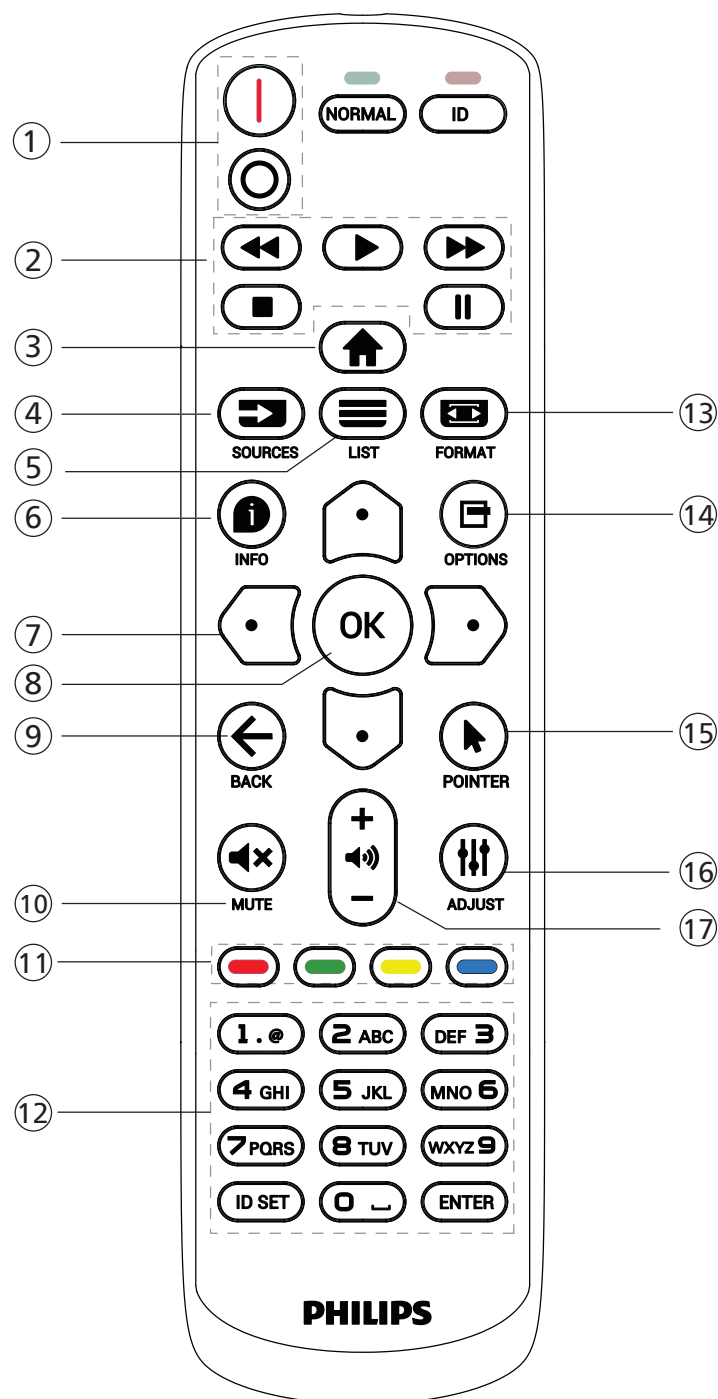
使用可能な番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にボタンが押されない場合、ID モードを終了します。
3. 誤ったボタンを押した場合は、赤色 LED が消灯してから再度点灯するまで 1 秒間待ち、その後正しい数字を押してください。
4. [ENTER] ボタンを押して選択を確定してください。赤色 LED が 2 回点滅した後、消灯します。

注意：

- [NORMAL] ボタンを押してください。緑色 LED が 2 回点滅し、ディスプレイが通常動作中であることを示します。
- 各ディスプレイの ID 番号を選択する前に、その ID 番号を設定する必要があります。

3.6.3. Android ソースでのリモコンボタン



① [I/O] 電源ボタン

- [I] 電源をオンにします。
- [O] 電源をオフにします。

② [PLAY] ボタン

- メディアファイルの再生を制御します(メディア入力のみ)。
- [▶] メディアファイルを直接再生します。
- [II] 再生を一時停止します。
- [■] メディアファイルの再生を停止します。
- [■] ボタンで再生を停止した後、再度 [▶] を押すと、ファイルの先頭から再生が開始されます。

③ [HOME] ボタン

- 画面メニューにアクセスしてください。

④ [SOURCE] ボタン

- 入力ソースを選択してください。

⑤ [LIST] ボタン

1. Web ページのコンテンツ内で、次のクリック可能な項目へ上方向にフォーカスを移動します。
2. ボタンなどの次のコントロールまたはウィジェットへ上方向にフォーカスを移動します。

⑥ [INFO] ボタン

- 現在の入力信号に関する情報を表示します。
- 1. メディアプレーヤー -> 作成 -> 再生一覧の編集または新規追加 -> メディアファイルを選択 -> [INFO] を押して、選択したメディアファイルの情報を表示します。

⑦ [方向] ナビゲーションボタン

1. メニュー内を移動し、項目を選択します。
2. Web ページのコンテンツ内では、これらのボタンは画面メニューのスクロールバーを操作するために使用します。[上] または [下] を押すと、縦スクロールバーを上下に移動します。[左] または [右] を押すと、横スクロールバーを左右に移動します。

⑧ [OK] ボタン

- 入力または選択を確定します。

⑨ [戻る] ボタン

- 前のページに戻るか、前の機能を終了してください。

⑩ [MUTE] ボタン

- 押してミュート機能をオン / オフに切り替えます。

⑪ [色 (彩度)] ボタン

- 予約済みです。

⑫ [番号 / ID 設定 / ENTER] ボタン

1. Android ソースでは、ID SET および ENTER の機能はありません。
2. PDF ファイルの場合、数字ボタンを押してページ番号を入力し、[OK] ボタンを押して指定したページにジャンプしてください。

⑬ [FORMAT] ボタン

- 画像フォーマットを変更します。

⑭ [OPTIONS] ボタン

- メディアプレーヤーおよび PDF プレーヤーでツールボックスを開きます。
- 1. メディアプレーヤーまたは PDF プレーヤー -> 構成 -> 再生一覧の編集または新規追加 -> [OPTIONS] を押してツールボックスを開きます。ツールボックスは画面メニューの左側からスライド表示されます。

⑮ [POINTER] ボタン

- ポインターモードを開始または終了します。
- ユーザーがリモコンの POINTER キーを押すと、システムはポインターモードに入ります。このモードでは、マウス操作をシミュレートするために以下の動作が変更されます:
- ポインターモードの動作:

リモコンキー	機能
上	マウスカーソルを上に移動します
下	マウスカーソルを下に移動します
左	マウスカーソルを左に移動します
右	マウスカーソルを右に移動します
OK	マウスの左クリックをシミュレートします
リスト	マウスホイールの上方向スクロールをシミュレートします
調整	マウスホイールの下方向スクロールをシミュレートします

これにより、リモコンの方向キーとファンクションキーを使用してマウスを直感的に操作できます

- ポインターモードの終了：

POINTER キーをもう一度押すと、ポインターモードが終了します。

終了後、すべてのキーは元のリモコンの動作に戻ります。

注記：

ポインターモードは、システムの再起動後または入力ソースの切り替え時に自動的に無効になります。

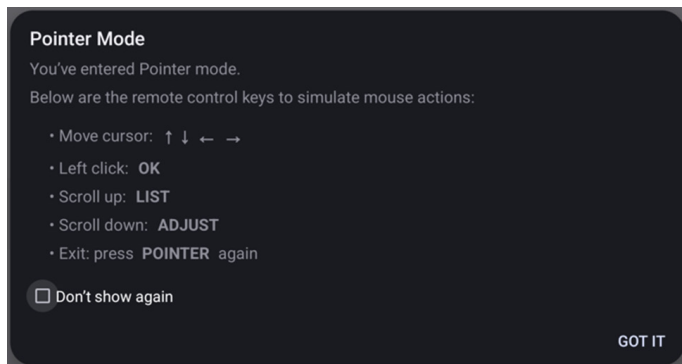
モードを再度有効にするには、POINTER ボタンをもう一度押す必要があります。

- ポインターモードのポップアップダイアログ

ユーザーがポインターモードに入ると、画面メニューの中央にポップアップダイアログが表示されます。このダイアログでは、リモコンのキーを使用してマウスアクションをシミュレートする方法についてのクイックガイドが提供されます。

左下隅にある「今後表示しない」チェックボックスが選択されていない場合、ユーザーがポインターモードに入るたびにポップアップが表示されます。

「了解」を押すか、ポインターモードを終了すると、ダイアログは自動的に閉じます。



①⑥ [Ⅲ] ADJUST ボタン

1. Web ページの内容で、フォーカスを下にある次のクリック可能な項目へ移動します。
2. ボタンなどの次のコントロールやウィジェットへ、フォーカスを下へ移動します。

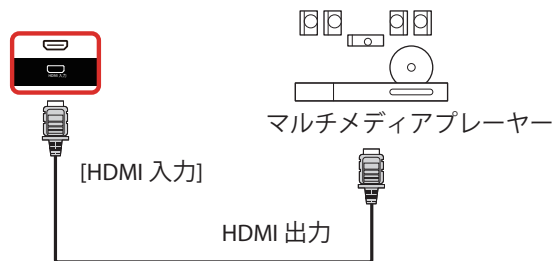
①⑦ [-] [+] 音量ボタン

音量を調整してください。

4. 外部機器の接続

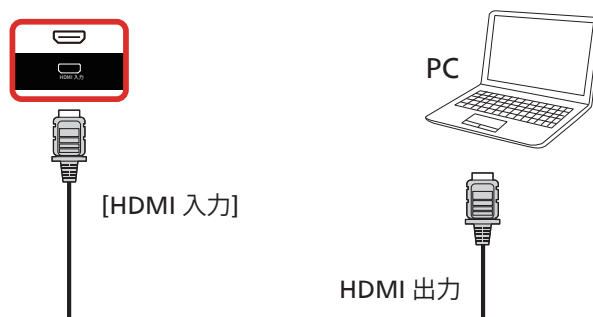
4.1. 外部機器の接続 (マルチメディアプレーヤー)

4.1.1. HDMI 入力を使用した映像入力



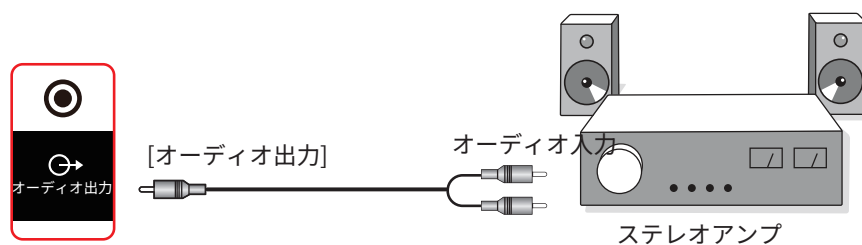
4.2. PC の接続

4.2.1. HDMI 入力の使用

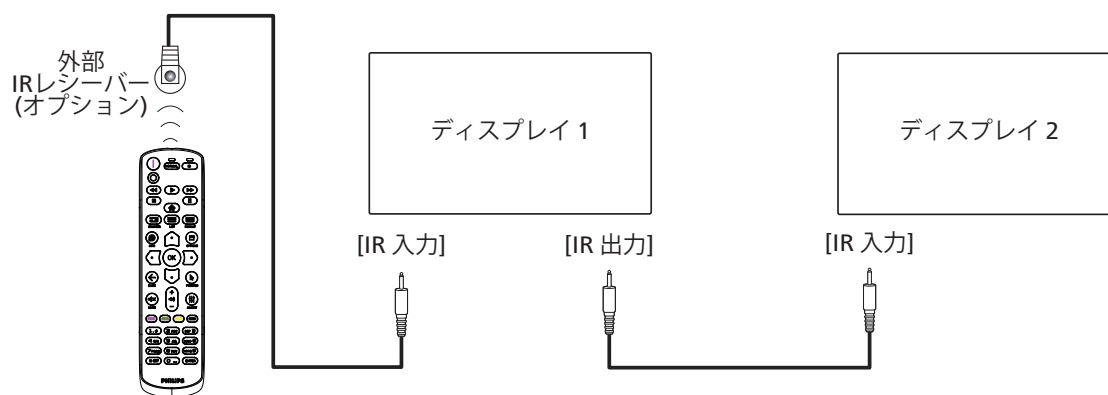


4.3. オーディオ機器の接続

4.3.1. 外部オーディオ機器の接続



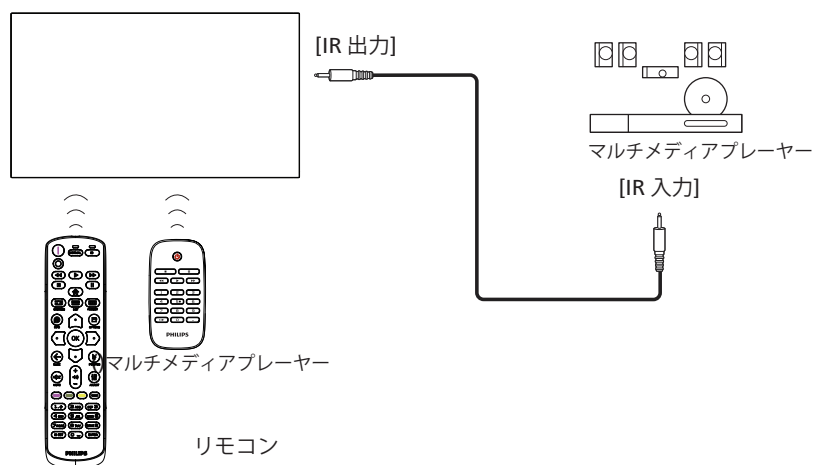
4.4. IR 接続



注記:

1. [IR 入力] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは動作しなくなります。
2. IR ループスルー接続は、最大 9 台のディスプレイに対応しています。

4.5. IR パススルー接続



5. 操作

注記：特に指定がない限り、本項で説明する操作ボタンは主にリモコン上のものです。

5.1. 接続した映像ソースの視聴

1. [SOURCE] ボタンを押します。
2. [D] または [C] ボタンを押してデバイスを選択し、次に [OK] ボタンを押してください。

5.2. 画像フォーマットの変更

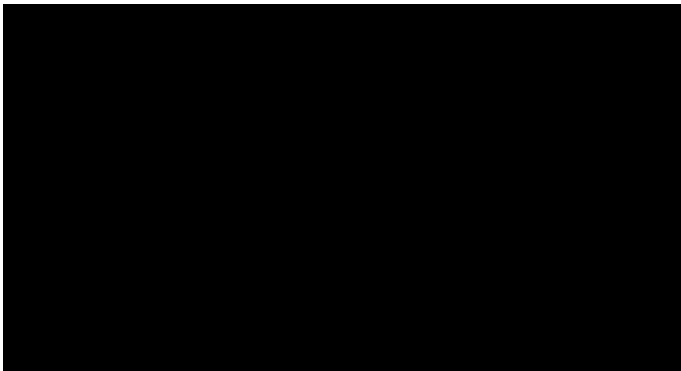
映像ソースに合わせて画像フォーマットを変更できます。各映像ソースには、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットは映像ソースによって異なります：

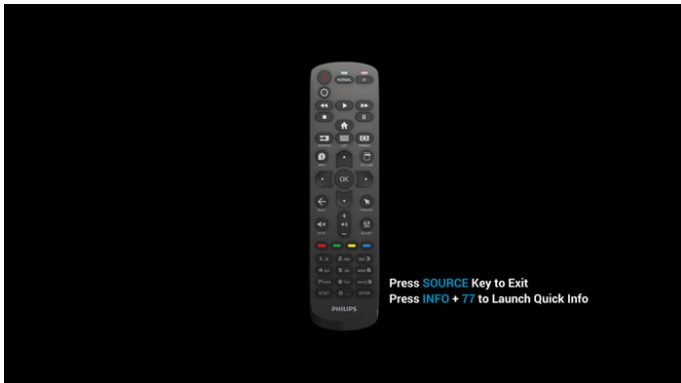
1. [FORMAT] ボタンを押して、画像フォーマットを選択してください。
 - PC モード：{ フル } / { 4:3 } / { 1:1 } / { 16:9 } / { 21:9 }。
 - ビデオモード：{ フル } / { 4:3 } / { 1:1 } / { 16:9 } / { 21:9 }。

5.3. 概要

1. Android PD ランチャー：
 - Android PD ランチャーは、以下に示すような黒のページです：



- 「戻る」キーを押してアプリを終了すると、画面メニューは Android PD ランチャーに移行します。
- Android PD ランチャーに戻ると、ヒント画像が 5 ～ 10 秒間画面メニューに表示されます。
- ヒント画像は、ソースキーを押して入力ソースを変更できることを示しています。



2. 管理者モード：

- 「Home + 1888」を押すか、ランチャーの「More Apps」アイコンをクリックして、管理者モードに入ります。「Home」を押した後に Home OSD メニューが表示されていることを確認してから、続けて 1888 を押してください。「Home」キーを 2 回連続で押しても、有効なホットキーとしては機能しません。
- 管理者モードは、以下のアプリで構成されています：「設定」、「アプリ」、「ネットワーク」、「ストレージ」、および「ヘルプ」。
- 管理者モードを終了すると、システムは直前に使用していたソースに戻ります。

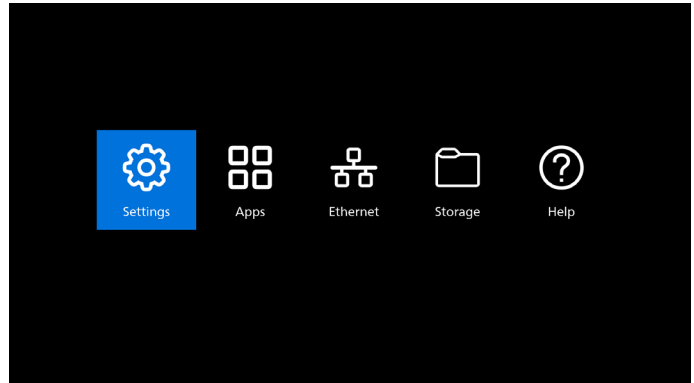
設定：設定ページに移動します。

アプリケーション：すべてのアプリを表示します。

ネットワーク：Wi-Fi、イーサネット、およびモバイルネットワーク（オプション）を設定します。

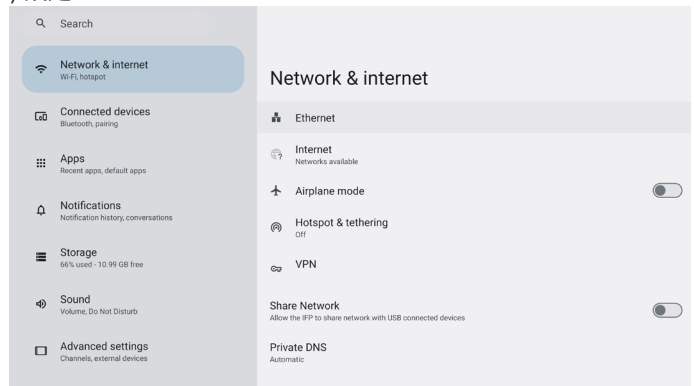
ストレージ：ストレージページに移動します。

ヘルプ：ヘルプを取得するための QR コードを表示します。

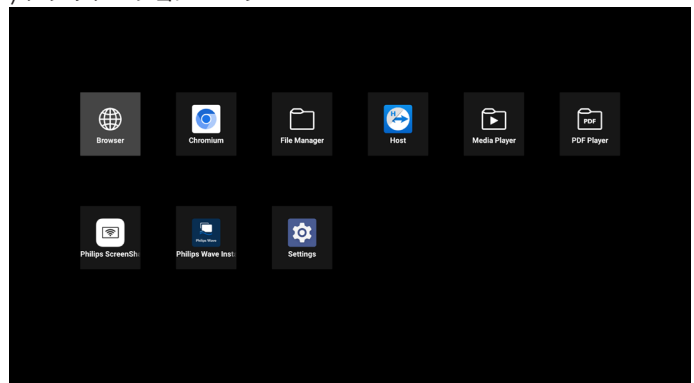


注：内部ストレージの残容量が 20MB 未満の場合、システムの安定性を確保するため、ストレージアプリのみ実行が許可されます。

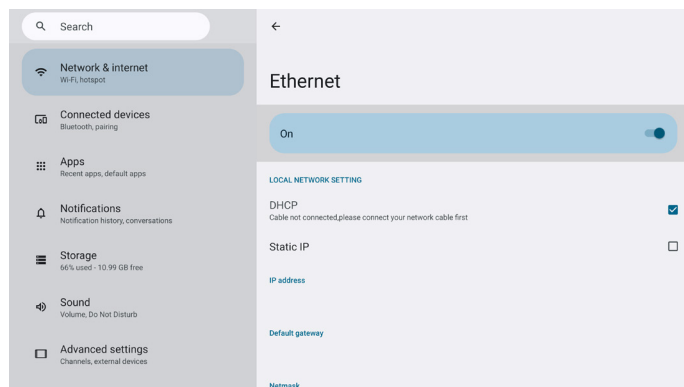
1) 設定ページ：



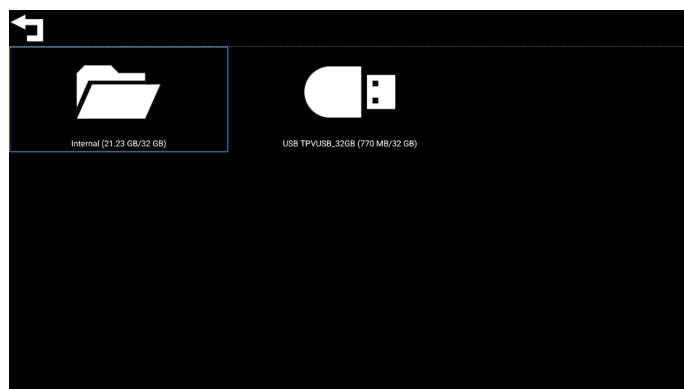
2) アプリケーションページ：



3) イーサネットページ:

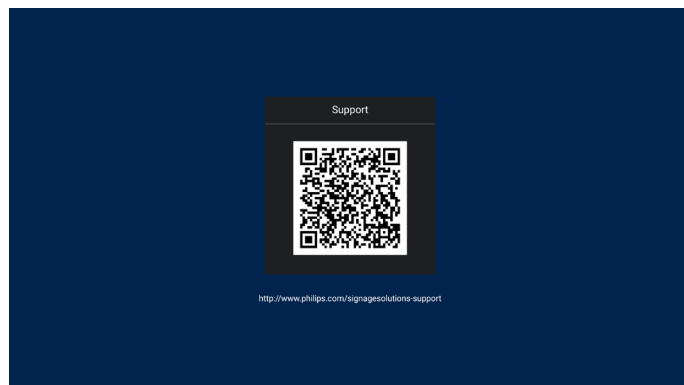


4) ストレージページ



5) ヘルプページ

Philips サポート Web サイトにリンクする QR コードを表示します。



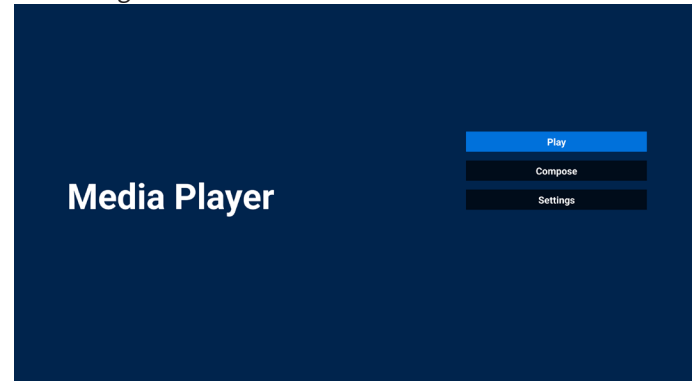
5.4. メディアプレーヤー

5.4.1. メディアプレーヤーとの OSD メニュー操作:

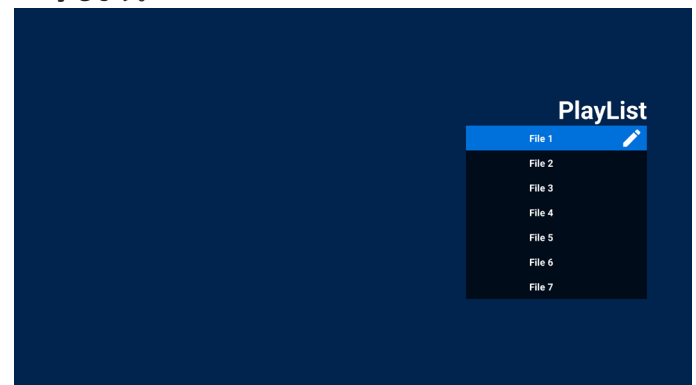
1. ソース起動:
 - 入力:
 - ソースとしてメディアプレーヤーを選択した場合、起動プロセスが完了すると、システムは自動的にメディアプレーヤーに入ります。
 - 再生一覧:
 - 再生一覧 0:メディアプレーヤーのメインページに移動します。
 - 再生一覧 1 - 再生一覧 7:メディアプレーヤーに移動し、再生一覧の File1 - File7 を自動的に再生します。
 - 再生一覧 8:メディアプレーヤーに移動し、USB ファイルを自動的に再生します。
2. スケジュール:
 - 今日:
 - 日時を表示します。
 - 1 - 7:
 - 最大 7 つのスケジュールを設定できます。
 - オン / オフ:
 - 開始時間と終了時間を設定します。
 - 入力:
 - ソースとしてメディアプレーヤーを選択すると、PD は終了時間にメディアプレーヤーを自動的に起動します。
 - 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、毎週:
 - ライフサイクルを設定します。
 - 再生一覧:
 - 0:メディアプレーヤーのメインページに移動します。
 - 1 ~ 7:メディアプレーヤーに移動し、再生一覧の File1 ~ File7 を自動的に再生します。

5.4.2. メディアプレーヤーの概要:

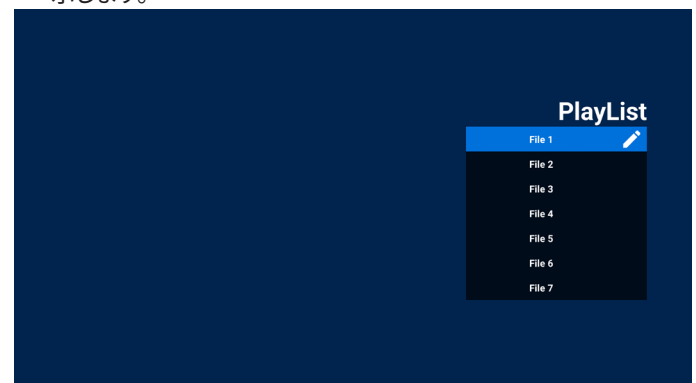
1. メディアプレーヤーのメインページです。このページは「Play」、「Compose」、「Settings」の 3 つのオプションで構成されています。
 Play:再生する再生一覧を選択します。
 Compose:再生一覧を編集します。
 Settings:メディアプレーヤーのプロパティを設定します。



2. メインページで「Play」を選択すると、まず FILE 1 から FILE 7 の中から再生する再生一覧を 1 つ選択してください。
 鉛筆アイコンは、再生一覧にコンテンツが含まれていることを示します。



3. メインページで「Compose」を選択すると、まず FILE 1 から FILE 7 の中から編集する再生一覧を 1 つ選択してください。
 鉛筆アイコンは、再生一覧にコンテンツが含まれていることを示します。

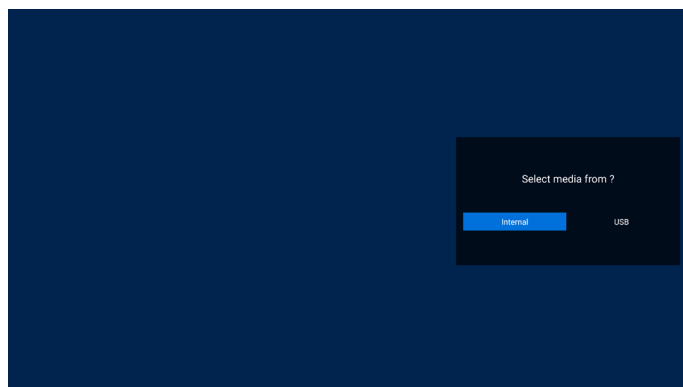


4. 空の再生一覧を選択した場合、アプリがメディアソースの選択手順を案内します。

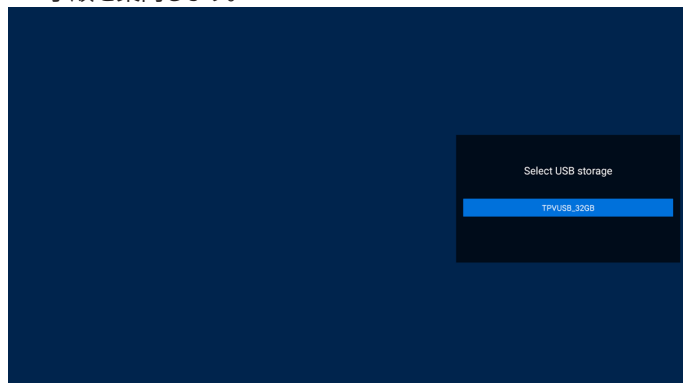
すべてのメディアファイルは、ルートディレクトリ内の /philips/ に保存してください。

例:

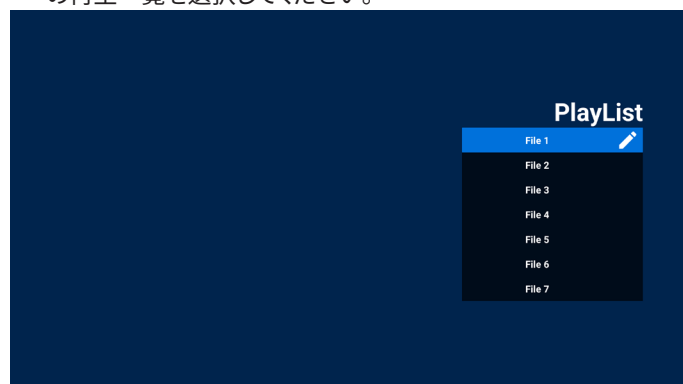
動画 : {root dir of storage}/philips/video/
 写真 : {root dir of storage}/philips/photo/
 音楽 : {root dir of storage}/philips/music/



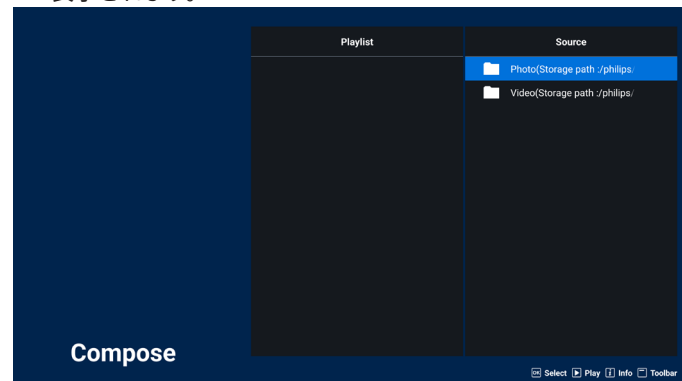
5. 「USB」ストレージを選択すると、アプリが USB デバイスの選択手順を案内します。



6. ファイルが含まれている再生一覧を編集または削除するには、選択したファイルの右側に鉛筆アイコンが表示されている目的の再生一覧を選択してください。

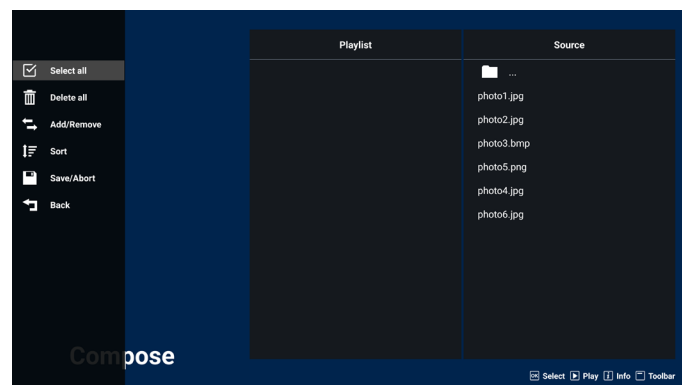


7. 再生一覧の編集を開始すると、以下の画面メニューが表示されます。
- ソース - ストレージ内のファイル。
 - 再生一覧 - 再生一覧内のファイル。
 - オプション - サイドメニューバーを起動します。
 - 再生キー - メディアファイルを再生します。
 - 情報キー - メディア情報を表示します。
- 注記：
ソース内のいずれかのディレクトリを長押しすると、フルパスが表示されます。

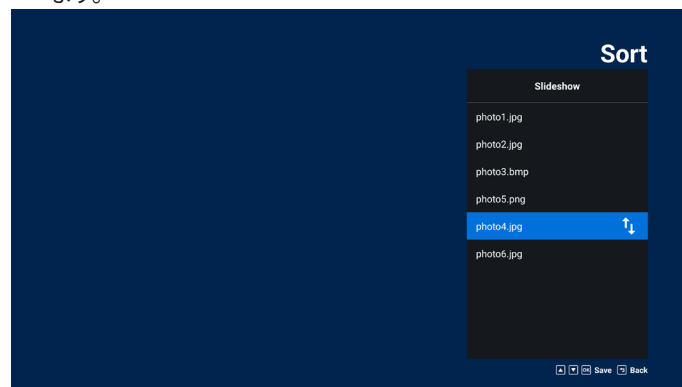


7-1 サイドメニューバーからは、以下の機能が使用できます。

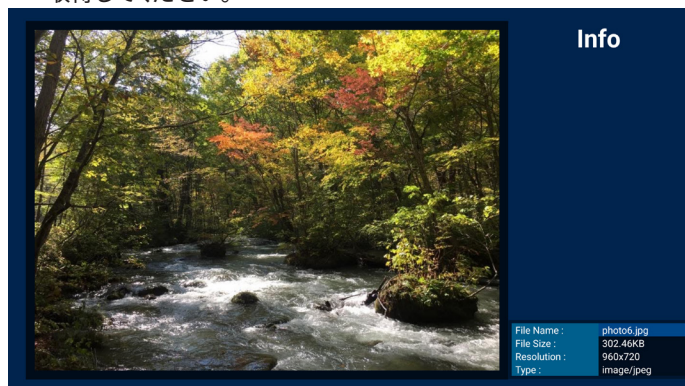
- すべて選択 : すべてのストレージファイルを選択します。
- すべて削除 : すべての再生一覧ファイルを削除します。
- 追加 / 削除 : ソースから再生一覧を更新します。
- 並べ替え : 再生一覧を並べ替えます。
- 保存 / 中止 : 再生一覧を保存または中止します。
- 戻る : 前のメニューに戻ります。



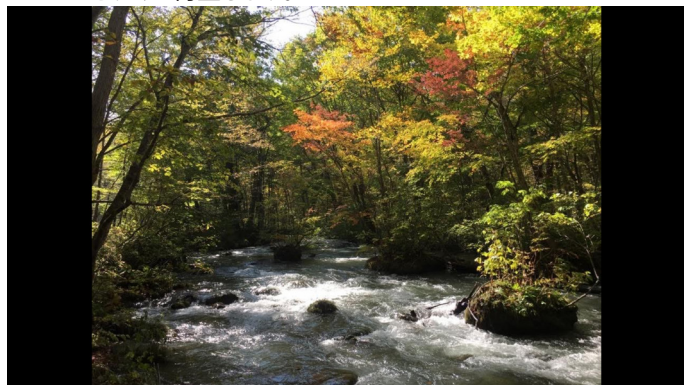
8. 「並べ替え」を選択すると、ファイルの順序を個別にカスタムできます。



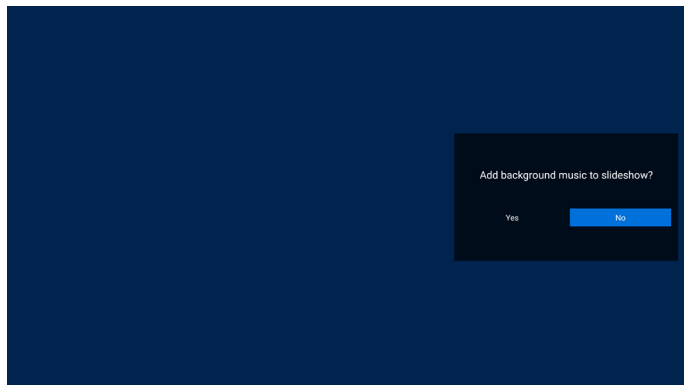
9. 目的のファイルを選択した後、「Info」キーを押して詳細情報を取得してください。



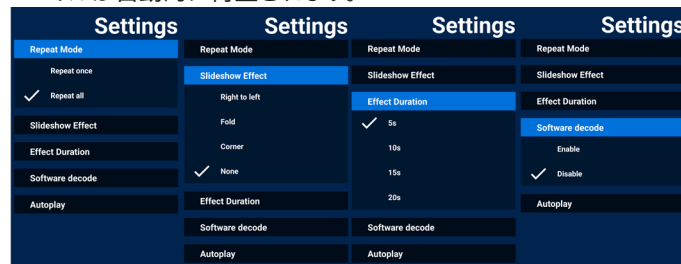
10. 目的のファイルを選択した後、「Play」キーを押すと、メディアファイルをすぐに再生します。



11. すべての画像ファイルで再生一覧を作成する場合、保存前にスライドショーに BGM を追加するかどうかの確認メッセージが表示されます。



12. メインページで「Settings」を選択すると、次の 5 つのオプションが利用可能です:「Repeat Mode」、「Slideshow Effect」、「Effect Duration」、「Software Decode」、「USB Autoplay」。
- Repeat mode: 繰り返しモードを設定します。
 - Slideshow Effect: 写真スライドショーのエフェクトを設定します。
 - Effect Duration: 写真エフェクトの持続時間を設定します。
 - Software Decode: 動画再生の間に黒画面を表示しません。
 - Autoplay: USB デバイスを接続すると、USB ルートパスからファイルが自動的に再生されます。



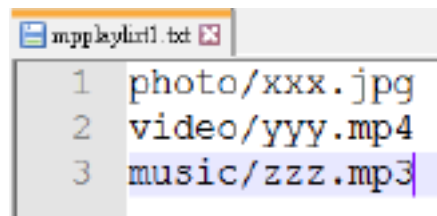
13. メディアプレーヤーのテキストファイルのインポート

手順 1. メディアプレーヤーのテキストファイルを作成してください。

- ファイル名: mpplaylistX.txt、「X」は再生一覧番号(1,2,3,4,5,6,7)を意味します。

例: mpplaylist1.txt, mpplaylist2.txt

- 内容:



注記: 再生一覧に動画ファイルと音楽ファイルが含まれている場合、音楽ファイルを再生するときに画面メニューが黒になります。

手順 2. 「mpplaylistX.txt」を内部ストレージの「philips」フォルダーにコピーしてください。この操作には SFTP を使用できます。

- ファイルパス: /storage/emulated/0/philips(DL, PL 用)
例: /storage/emulated/0/philips/mpplaylist1.txt

手順 3. 内部ストレージのみを対象として、「philips」フォルダー内の「photo」、「video」、および「music」フォルダーにメディアファイルを準備してください。

- 例: /storage/emulated/0/philips/photo/xxx.jpg
/storage/emulated/0/philips/video/yyy.mp4
/storage/emulated/0/philips/photo/zzz.mp3

手順 4. メディアプレーヤーアプリを起動すると、メディアプレーヤーのテキストファイルが自動的にインポートされます。

注: ユーザーが UI で再生一覧を更新した場合、mpplaylistX.txt ファイルも同様に更新されます。

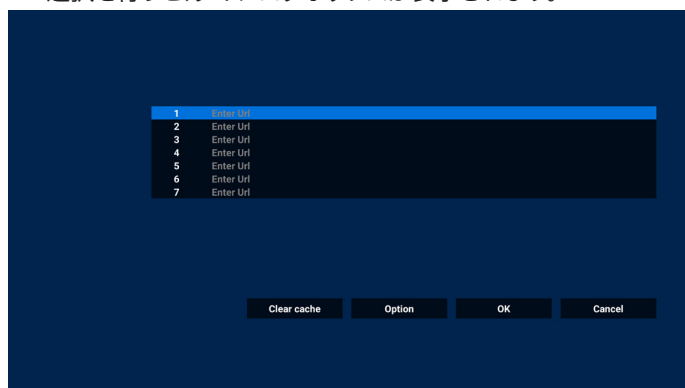
5.5. ブラウザー

この機能を使用する前に、システムがネットワークに正常に接続されていることを確認してください。

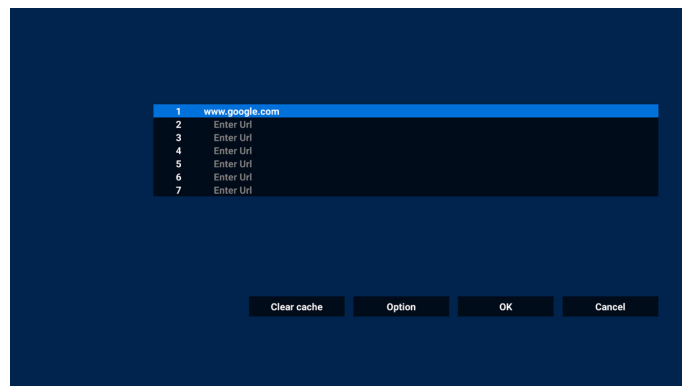
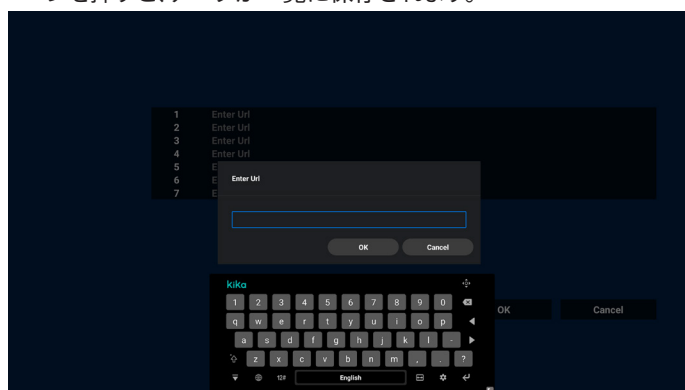
1. 「ブラウザー」アプリのメインページでは、関連する設定を行うことができます。



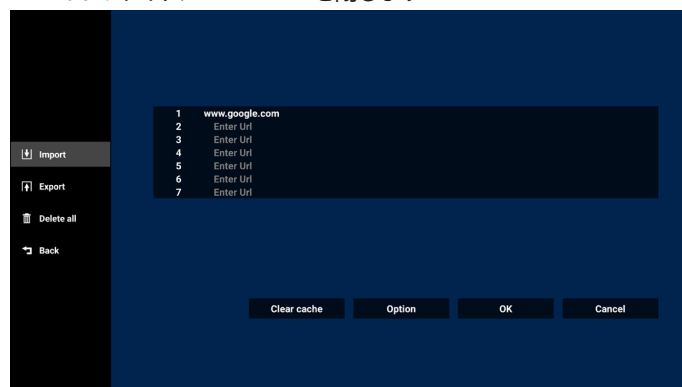
2. 「Compose」を押して、次のページに進んでください。
ユーザーは 1 ～ 7 から選択できます。
選択を行うと、ダイアログボックスが表示されます。



3. 画面メニューのキーボードを使用して URL を入力し、OK ボタンを押すと、データが一覧に保存されます。

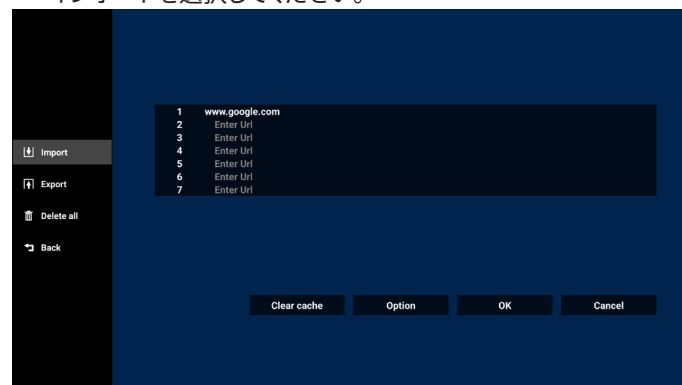


4. 「Option」を押すと、左側に一覧が表示されます。
Import: URL 一覧のファイルをインポートします
Export: URL 一覧のファイルをエクスポートします
Delete all: メイン画面からすべての URL 記録を削除します
Back: サイドメニューバーを閉じます

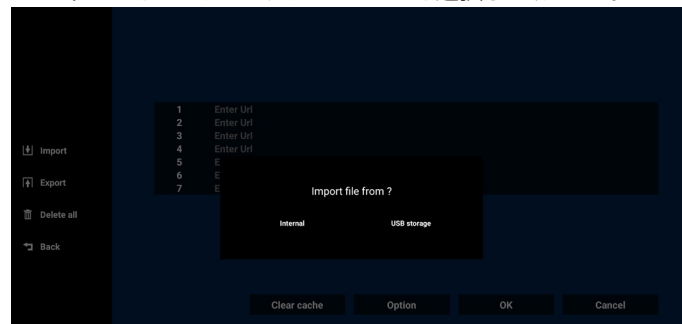


4.1 インポート

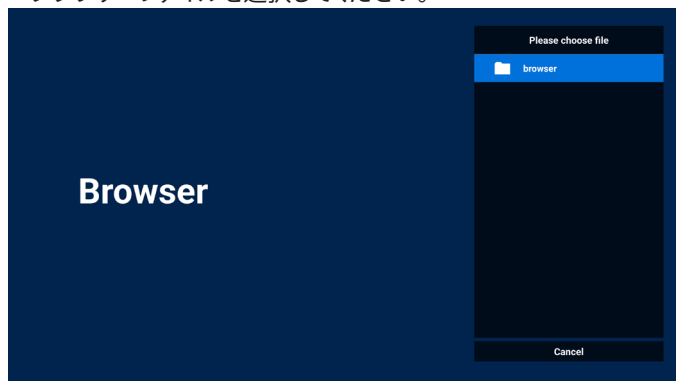
- インポートを選択してください。



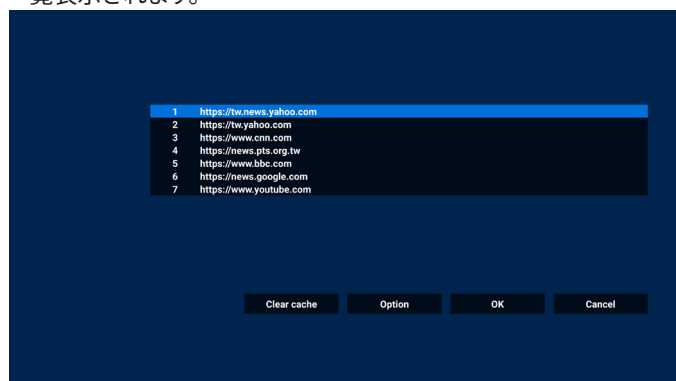
- ファイルをインポートするストレージを選択してください。



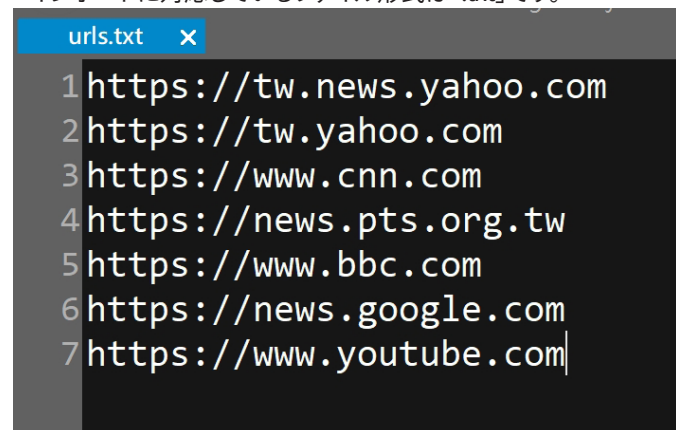
- ブラウザーファイルを選択してください。



- ブラウザーファイルをインポートすると、URL が画面メニューに一覧表示されます。

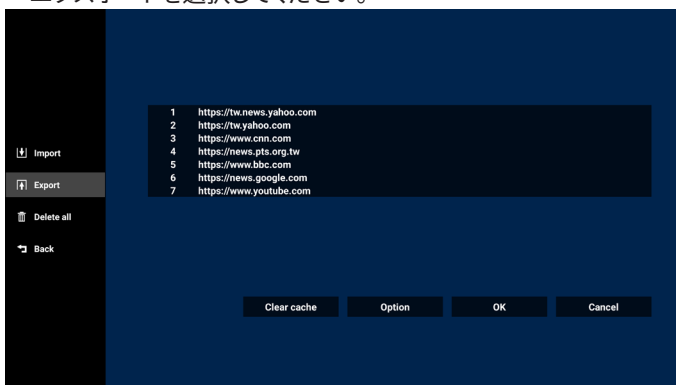


- インポートに対応しているファイル形式は「.txt」です。

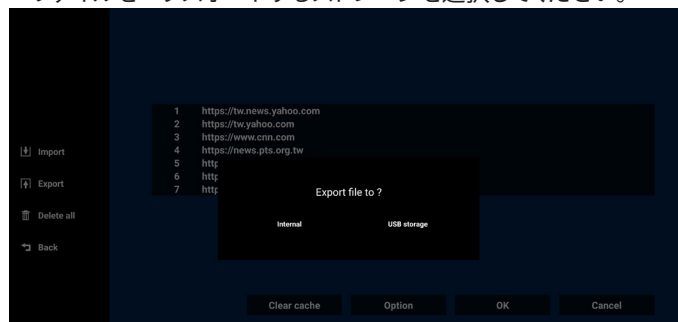


4.2 エクスポート：

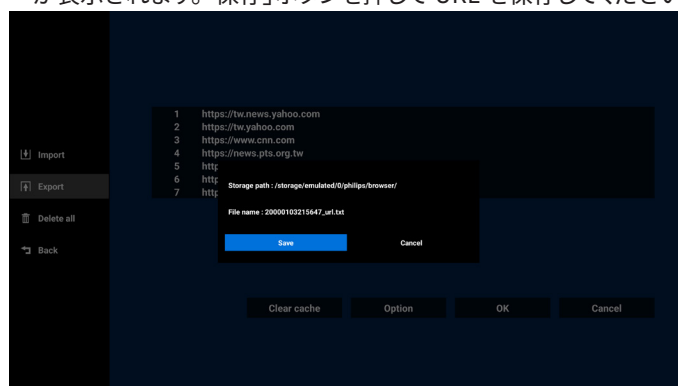
- エクスポートを選択してください。



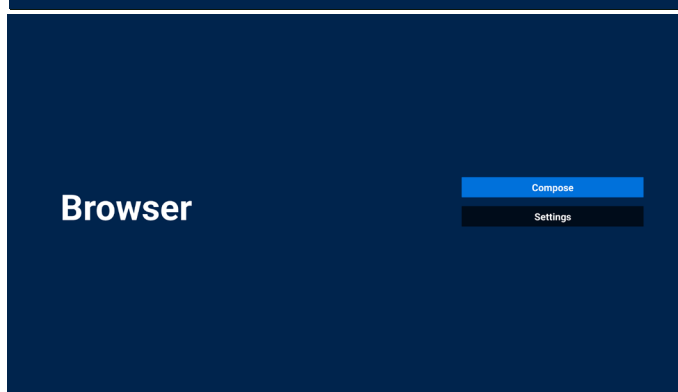
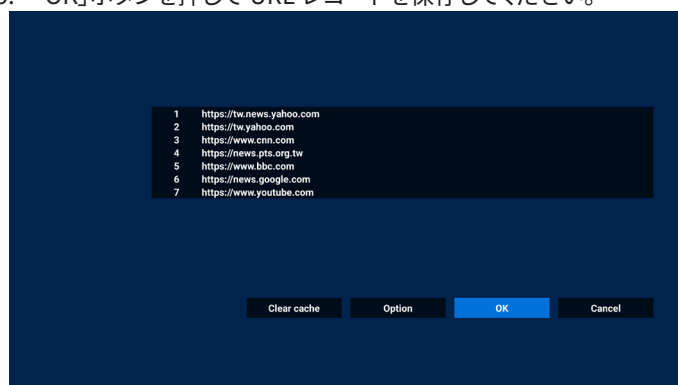
- ファイルをエクスポートするストレージを選択してください。



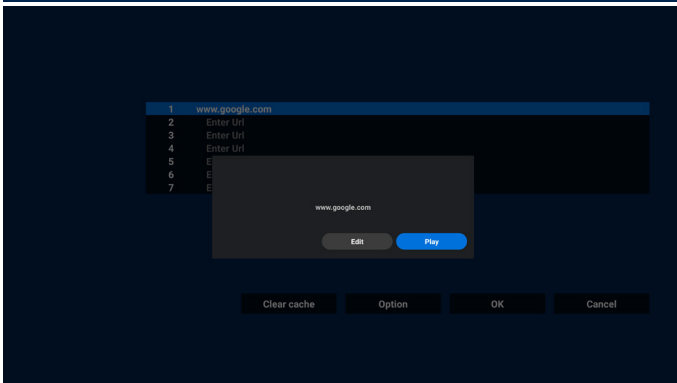
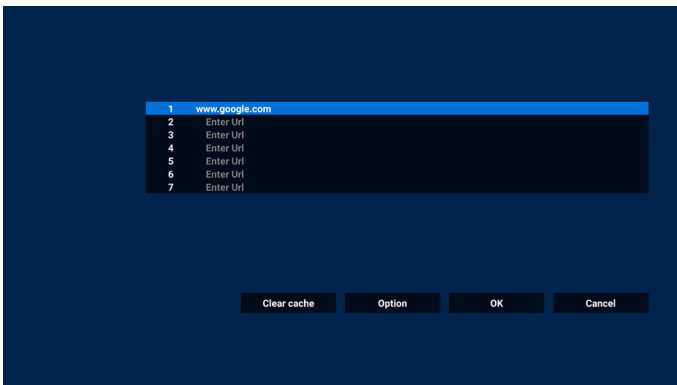
- ダイアログボックスに、保存されるファイルのパスおよびファイル名が表示されます。「保存」ボタンを押して URL を保存してください。



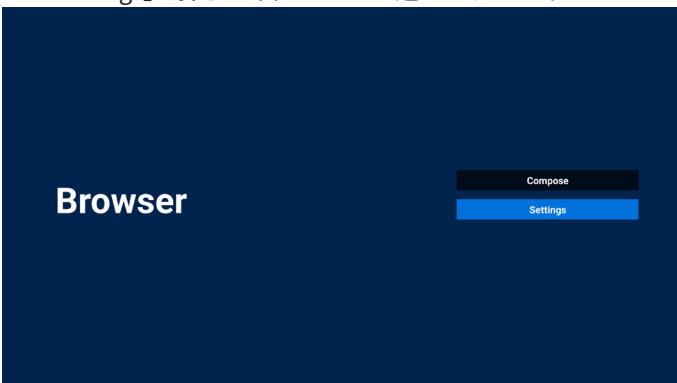
- 5. 「OK」ボタンを押して URL レコードを保存してください。



- 6. URL リストから空でない項目を選択すると、URL を編集するか再生するかを確認するメッセージが表示されます。「Edit」を選択すると、ダイアログボックスで URL を編集できます。「Play」を選択すると、選択した URL の Web ページが表示されます。

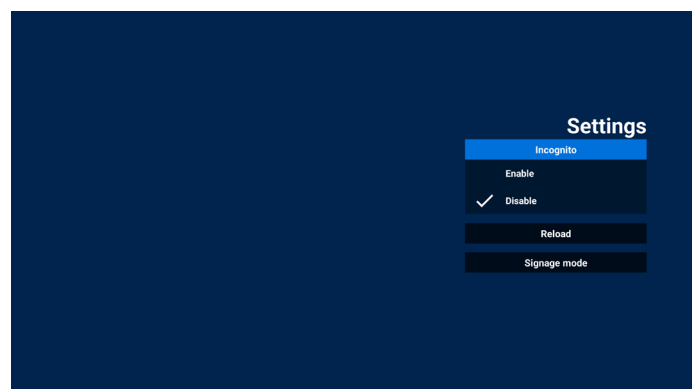


7. 「Settings」を押して、次のページに進んでください。



7.1 シークレットモード

- 有効：シークレットモードを使用して Web ページを表示します。
- 無効：シークレットモードを使用せずに Web ページを表示します。



7.2 リロード

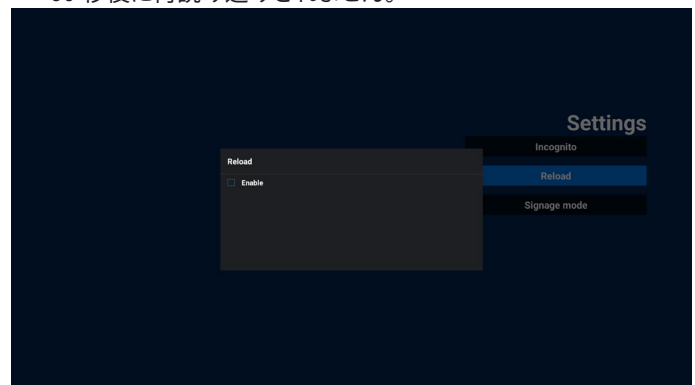
ユーザーが Web ページのリロード時間を設定できるようにします。

- 有効チェックボックスがオフの場合、デフォルトの再読み込み時間は 60 秒です。

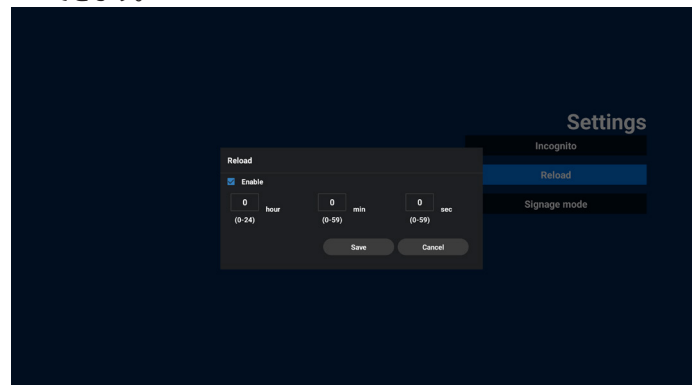
注記：

この場合、Web ページはネットワーク状態が変化したときのみ再読み込みされます。

ネットワーク状態が常に接続されている場合、Web ページは 60 秒後に再読み込みされません。



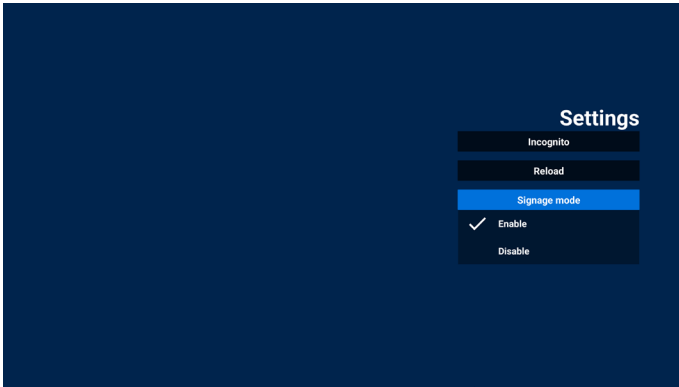
- 有効チェックボックスがオンの場合、再読み込み時間を設定できます。



7.3 サイネージモード

ユーザーが別のアプリのアクティビティから戻ったときに、ブラウザー Compose ページに戻る機能を有効にします。ブラウザー画面を最新の Web ページに維持する機能を無効にします。このオプションはデフォルトで有効になっています。

www.google.com を開き、「PDF demo file」を検索してください。検索結果のいずれかの PDF ファイルをクリックすると、その PDF ファイルがダウンロードされて開きます。ユーザーが「戻る」ボタンを押すと、このオプションが有効な場合は画面がブラウザー Compose ページに戻ります。無効な場合は、画面が検索結果に戻ります。



OSD スケジューラーがブラウザーアプリを開いている間にネットワークが切断された場合、ブラウザーアプリはローカルストレージから URL 1 アドレスの Home ページを自動的に開きます。

注記：

- a. ブラウザーアプリは Url 1 アドレスの Home ページデータのみ保存でき、Url 2 から Url 7 までのデータは保存できません。
- b. ローカルストレージ：/sdcard/Download/Browser_cache.png。
- c. 「キャッシュを消去」ボタンを押すと、ローカルストレージから Url 1 アドレスの Home ページデータを消去できます。

8. ブラウザーとの OSD メニュー Interact

8.1 ソース起動

- OSD メニュー > 設定1 > ソース起動 > BROWSER 再生一覧を 0 に設定してください。
再起動後、PD はブラウザーを表示します。
- OSD メニュー > 設定1 > ソース起動 > 入力を BROWSER に、再生一覧を 1 に設定してください。
その後、PD はブラウザーアプリで最初の URL の Web ページを表示します。

8.2 スケジュール

OSD メニュー > アドバンスドオプションメニュー > スケジュール >
オン時間 1、オフ時間 2、入力としてブラウザー、任意の曜日、および再生一覧を設定してください。
その後、PD は時間 1 にブラウザーアプリで URL の Web ページを表示し、時間 2 に終了します。

9. SFTP を使用して URL リストを編集する方法

ステップ 1. ブラウザーのテキストファイルを作成してください。

- ファイル名:bookmarklist.txt
- 内容:



ステップ 2. bookmarklist.txt を内部ストレージの「philips」フォルダーにコピーしてください。この操作には SFTP を使用できます。

- ファイルパス:/storage/emulated/0/philips (DL、PL 用)
- 例:/storage/emulated/0/philips/bookmarklist.txt

ステップ 3. ブラウザーアプリを起動すると、ブラウザーのテキストファイルが自動的にインポートされます。

追記：ユーザーが UI で再生一覧を更新すると、bookmarklist.txt ファイルも同様に更新されます。

10. オフラインブラウジング

URL1 にアドレスが設定され、OSD スケジュールを使用して URL1 の Web ページを開くと、ブラウザーアプリは Url1 の Home Web ページのデータをローカルストレージに自動的に保存します。

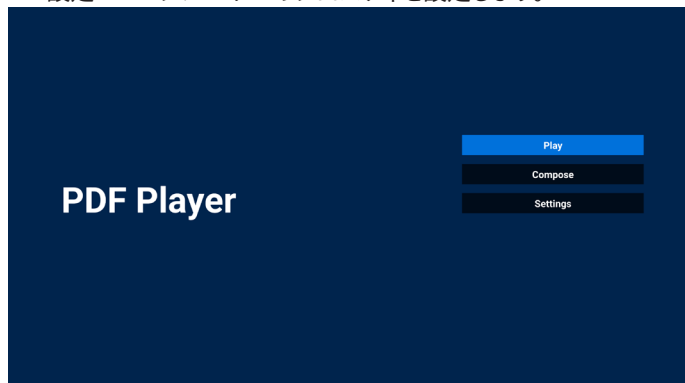
5.6. PDF プレーヤー

5.6.1. PDF プレーヤーとの OSD メニュー Interact:

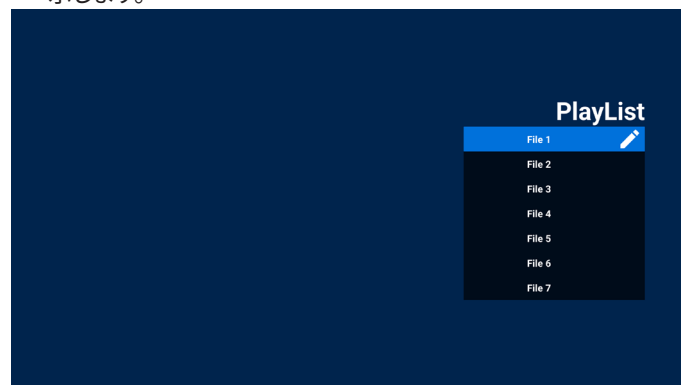
1. ソース起動:
 - 入力:
 - ソースとして「PDF プレーヤー」を選択すると、起動プロセス完了後に自動的に PDF プレーヤーページに入ります。
 - 再生一覧:
 - 再生一覧 0: PDF プレーヤーのメインページに移動します。
 - 再生一覧 1 ~ 再生一覧 7: PDF プレーヤーに移動し、再生一覧のファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。
2. スケジュール:
 - 今日:
 - 日時を表示します。
 - 1 - 7:
 - 最大 7 つのスケジュールを設定できます。
 - オン / オフ:
 - 開始時間と終了時間を設定します。
 - 入力:
 - ソースとして PDF プレーヤーを選択すると、終了時間に PD が PDF プレーヤーを自動的に起動します。
 - 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日、毎週:
 - ライフサイクルを設定します。
 - 再生一覧:
 - 0: PDF プレーヤーのメインページに移動します。
 - 1 ~ 7: メディアプレーヤーに移動し、再生一覧のファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。

5.6.2. PDF プレーヤーの概要:

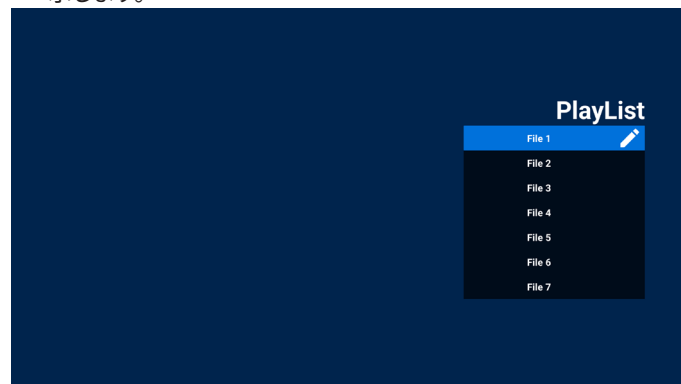
1. PDF プレーヤーのメインページです。このページは「Play」「Compose」「Settings」の 3 つのオプションで構成されています。
 Play: 再生する再生一覧を選択します。
 作成: 再生一覧を編集します。
 設定: PDF プレーヤーのプロパティを設定します。



2. メインページで「再生」を選択します。まず、FILE 1 から FILE 7 の間で再生する再生一覧を 1 つ選択してください。
 鉛筆アイコンは、再生一覧にコンテンツが含まれていることを示します。



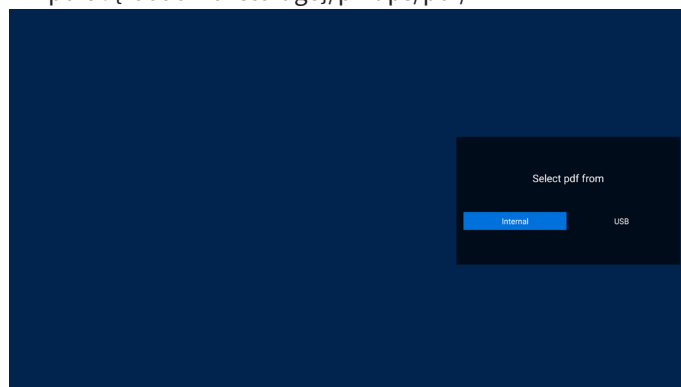
3. メインページで「Compose」を選択すると、まず FILE 1 から FILE 7 のの中から編集する再生一覧を 1 つ選択してください。
 鉛筆アイコンは、再生一覧にコンテンツが含まれていることを示します。



4. 空の再生一覧を選択した場合、アプリがメディアソースの選択手順を案内します。

すべてのメディアファイルは、ルートディレクトリの /philips/ に保存してください。例:

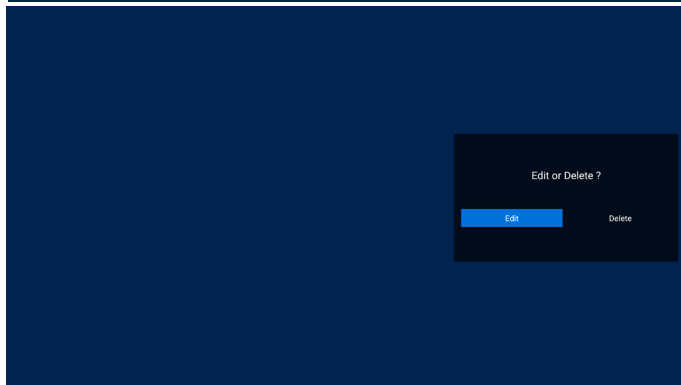
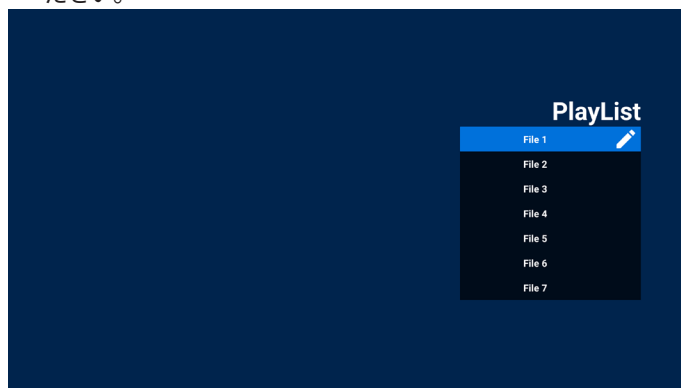
pdfs : {root dir of storage}/philips/pdf/



注意:

- USB メモリが見つからない場合、次のメッセージが表示されます。「USB ストレージを接続してください」。
- 内部ストレージは常に使用可能なため、次のページに移動できます。

5. 空でない再生一覧を編集または削除するには、ファイルの右側に鉛筆アイコンが表示されている目的の再生一覧を選択してください。



6. 再生一覧の編集を開始すると、次のようにメニューが表示されます。

ソース - メモリストレージに保存されたファイル。

再生一覧 - 再生一覧に保存されたファイル。

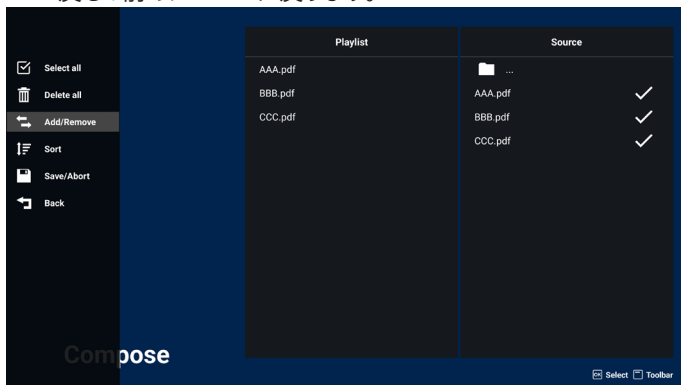
以下の機能は、リモコンの対応するキーで操作できます。

オプションキー - サイドメニューバーを起動します。

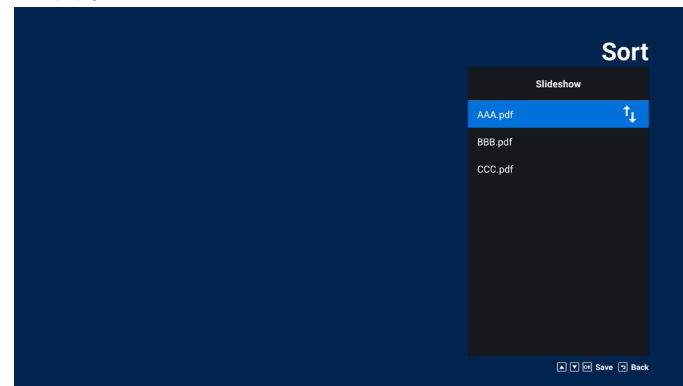
OK キー - ファイルを選択 / 選択解除します。

6-1. サイドメニューバーから、以下の機能が利用できます：

- すべて選択：ストレージに保存されているすべてのファイルを選択します。
- すべて削除：すべての再生一覧ファイルを削除します。
- 追加 / 削除：ソースから再生一覧を追加または削除します。
- 並べ替え：再生一覧を並べ替えます。
- 保存 / 中止：再生一覧を保存または中止します。
- 戻る：前のメニューに戻ります。



7. 「並べ替え」を選択すると、ファイルの順序を個別にカスタムできます。

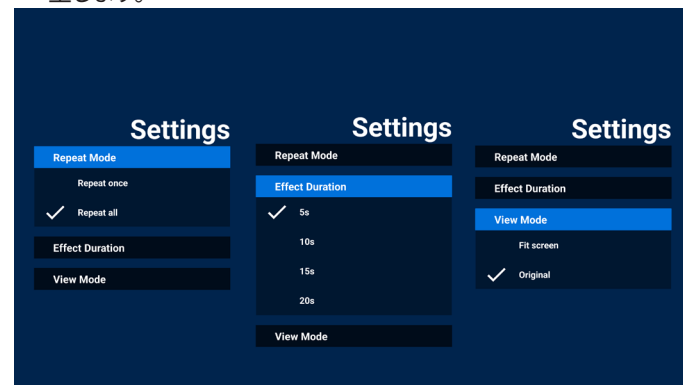


8. メインページで「Settings」を選択すると、「Repeat Mode」、「Effect Duration」、「View Mode」の3つのオプションが利用できます。

Repeat Mode: 繰り返しモードを設定します。

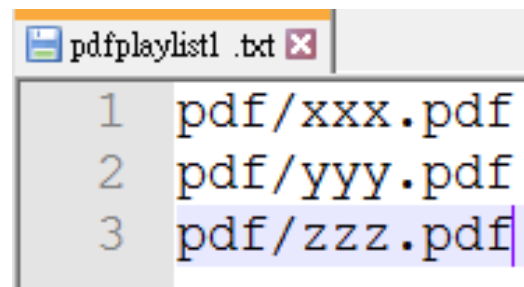
Effect Duration: 写真エフェクトの持続時間を設定します。

表示モード: 画面に合わせて再生、またはオリジナルサイズで再生します。



9. SFTP を使用して PDF リストを編集する方法：
手順 1. PDF プレーヤーのテキストファイルを作成します。

- ファイル名: pdfplaylistX.txt。「X」は再生一覧番号(1,2,3,4,5,6,7)を表します。
例: pdfplaylist1.txt, pdfplaylist2.txt
- 内容:



手順 2. pdfplaylistX.txt を内部ストレージの「philips」フォルダーにコピーします。この操作には SFTP を使用できます。

- ファイルパス: /storage/emulated/0/philips (DL, PL 用)
例: /storage/emulated/0/philips/pdfplaylist1.txt

手順 3. 内部ストレージの「philips」フォルダー内にある「PDF」フォルダーに PDF ファイルを追加します。

- 例: /storage/emulated/0/philips/pdf/xxx.pdf
/storage/emulated/0/philips/pdf/yyy.pdf
/storage/emulated/0/philips/pdf/zzz.pdf

手順 4: PDF プレーヤーアプリを起動すると、PDF プレーヤーのテキストファイルが自動的にインポートされます。

追記: ユーザーが UI で再生一覧を更新すると、bookmarklist.txt ファイルも同様に更新されます。

メディアホットキー:

再生: ファイルを再生します。

一時停止: 一時停止します。

早送り: 次のページへスキップします。ページがファイルの末尾に近い場合は、次のファイルへ移動します。

巻き戻し: 前のページへ戻ります。ページがファイルの先頭に近い場合は、前のファイルへ移動します。

停止: ファイルの最初のページへ戻ります。

矢印キー:

上 / 下 / 左 / 右: ページを調整します (ページがズームイン / ズームアウトされている場合)。

左: 前のページ (ページがズームイン / ズームアウトされていない場合)。

右: 次のページ (ページがズームイン / ズームアウトされていない場合)。

組み合わせキー:

数字キー + OK キー: 特定のページを選択し、OK キーを押してページを変更します。

- 数字キーを押してください。

- OK キーを押すと、ページ番号がページの下部に表示されます。指定したページ番号が総ページ数を超える場合は、現在のページ番号がそのままページの下部に表示されたままになります。

注意:

再生一覧を編集するために 2 つ以上の USB ディスクを接続した場合、USB ストレージのパスが変更される可能性があるため、電源のオン / オフ後の再生一覧からの再生は保証できません。再生一覧を編集する際は、USB ディスクを 1 つだけ使用することを強くお勧めします。

5.7. カスタムアプリ

カスタマーソース用のアプリケーションを設定してください。

注記:

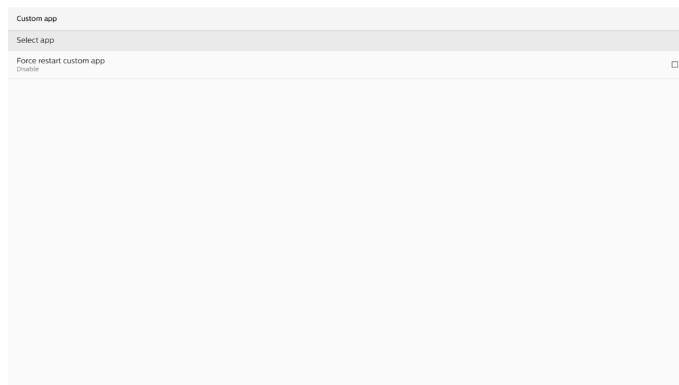
- (1) ユーザーがインストールしたアプリのみが表示されます。
- (2) システムにプリインストールされたアプリは表示されません。

5.7.1. 画面メニューの操作:

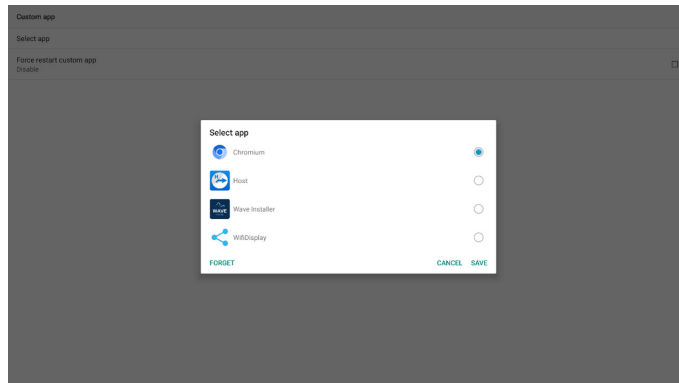
RCU: ソース > カスタム

顧客 APK が設定されている場合、ソースをカスタマーモードに切り替えると、PD は顧客アプリを開きます。

顧客 APK が設定されていない場合、ソースをカスタマーモードに切り替えると、PD は黒い画面を表示します。



5.7.2. 機能の説明



保存

「保存」を押すと、保存の機能が実行されます。

削除

「削除」を押すと、以前に保存された情報を削除できます。

キャンセル

ダイアログボックスをキャンセルして閉じます。

顧客がインストールした APK がない場合、リストは空白になります。オプションが利用できない場合、「保存」キーと「切断」キーはグレーで表示されます。

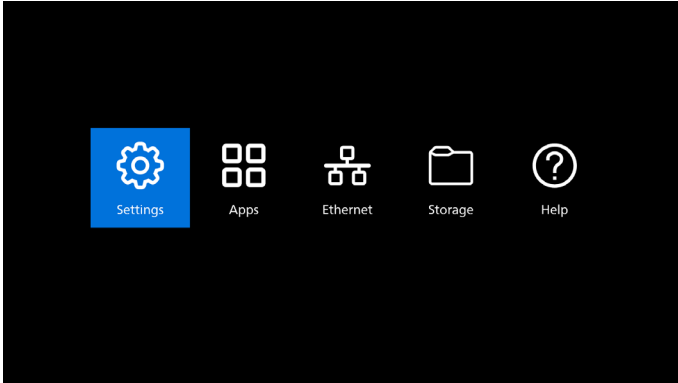
カスタムアプリの強制再起動

例外によりアプリが終了した場合、アプリは自動的に再度開かれます。

6. 設定

6.1. 設定

管理者モードで「設定」アイコンをクリックして、PD 設定画面を開きます。



設定メニューは以下の項目で構成されています: サイネージディスプレイ



6.1.1. サイネージディスプレイ

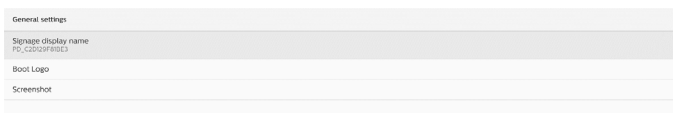
「設定」->「サイネージディスプレイ」から、サイネージディスプレイのほとんどの機能を設定できます。サイネージディスプレイの設定に関する詳細については、以下を参照してください。



6.1.1.1. 一般設定

設定 -> サイネージディスプレイ -> 一般設定

サイネージディスプレイ名、ユーザーロゴ、およびスクリーンショットを設定します。



6.1.1.1.1. サイネージディスプレイ名

設定 -> サイネージディスプレイ -> 一般設定 -> サイネージディスプレイ名

サイネージディスプレイ名を設定します。デフォルト名は、プレフィックス「PD_」が付加されたイーサネット MAC アドレスです (例: 「PD_000b12223398」)。名前の最大長は UTF8 形式で 36 文字です。クリックして名前を変更してください。

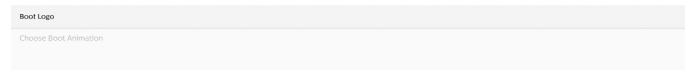


6.1.1.1.2. 起動ロゴ

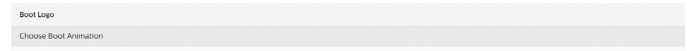
設定 -> サイネージディスプレイ -> 一般設定 -> 起動ロゴ

OSD メニュー -> 設定2 -> ロゴが「ユーザー」モードに設定されている場合、ユーザーはデバイスの起動ロゴ (起動アニメーション) を設定できます。

ロゴが「ユーザー」モードに設定されていない場合、ユーザーはカスタムの起動アニメーションを選択できません。



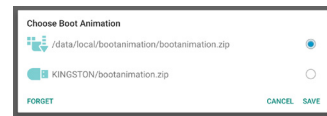
「ユーザー」モードに設定すると、「起動アニメーションの選択」が使用可能になります。



ロゴがユーザーモードに設定されている場合、システムはデフォルトの Philips ロゴを無効にし、ユーザーが選択した起動アニメーションファイルに置き換えます。ユーザーがユーザーモード用の起動アニメーションファイルを設定していない場合、起動時にデフォルトの Philips 起動アニメーションが表示されます。

「ブートアニメーションの選択」をクリックすると、ユーザーがブートアニメーションファイルを選択するためのダイアログが表示されます。システムは USB ストレージ内のファイルを自動的にスキャンします。

ブートアニメーションのファイル名は「bootanimation.zip」に設定する必要があります。それ以外の名前は無効です。



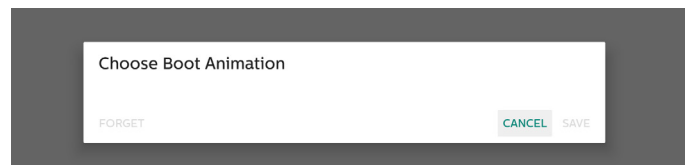
使用可能なすべてのブートアニメーションファイルは、次のフォルダーにあります:

1. /data/local/bootanimation/ 内のファイル:
USB からコピーされたブートアニメーションファイル。
2. {USB_STORAGE_VOLUME_NAME}/ 内のファイル:
USB ストレージに保存されたブートアニメーションファイル。

ダイアログのオプション:

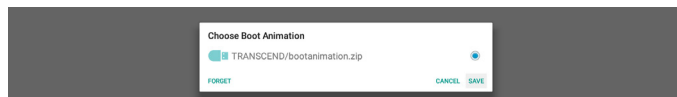
1. FORGET
/data/local/bootanimation/ 内の「bootanimation.zip」を消去します。
システム起動時にカスタムブートアニメーションは使用されません。
2. CANCEL
キャンセルしてダイアログボックスを閉じます。
3. SAVE
選択したファイルを /data/local/bootanimation/ にコピーします。この操作後、ユーザーは外部ストレージ (USB) を取り外すことができます。システムは /data/local/bootanimation 内のブートアニメーションファイルを使用します。

外部ストレージ (USB) および /data 内に bootanimation.zip ファイルが見つからない場合、ファイルリストは空になります。「SAVE」ボタンと「FORGET」ボタンはグレーアウトされるため、ユーザーは USB メモリーに保存されている内容を確認してください。「CANCEL」ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じ、USB メモリーを再度接続してください。

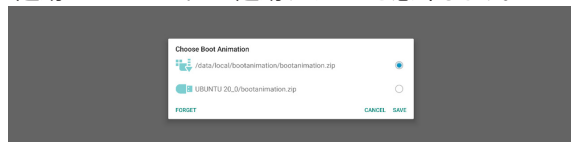


/data/local/bootanimation/ フォルダが空の場合、ユーザーが以前に「bootanimation.zip」を保存していないことを意味します。システム起動時にデフォルトの Philips ロゴが表示されます。

外部ストレージで「bootanimation.zip」が見つかった場合、ファイル一覧を表示するダイアログボックスが表示されます。



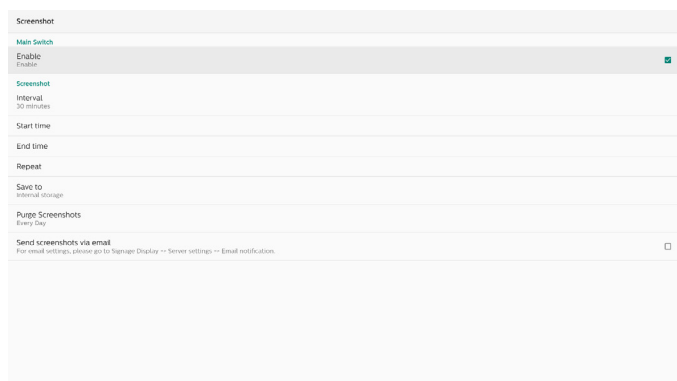
「/data/local/bootanimation/」フォルダ内に「bootanimation.zip」ファイルが見つかった場合、ポップアップダイアログボックスにそのファイルが最初のオプションとして表示されます。これは、ユーザーが以前に「bootanimation.zip」ファイルをコピー（保存）しており、システムが /data/local/bootanimation/bootanimation.zip の起動アニメーションで起動することを意味します。



起動アニメーションファイルは、「保存」ボタンを使用して置き換えることができます。

6.1.1.1.3. スクリーンショット

設定 -> サイネージディスプレイ -> 一般設定 -> スクリーンショット
インポートしたコンテンツからスクリーンショットをキャプチャするには、「有効」をクリックして自動スクリーンショット機能を有効にしてください。スクリーンショットのオプションがグレイアウトしている場合は、スクリーンショット機能がまだ有効になっていないことを意味します。



この機能を有効にすると、各スクリーンショットの間隔時間、およびキャプチャした画面が保存される保存先フォルダを設定できます。「Save to」オプションは、スクリーンショット画像が内部ストレージに保存され、手動で変更できないことを通知します。

注意：

- スクリーンショット画像は、以下の条件で自動的に削除されます。
 - スクリーンショット機能の開始時間が 0 秒に設定されている場合。
 - 毎分 40 秒でスクリーンショットを開始します。
 - スクリーンショット写真を毎週消去するように設定した場合、写真を削除する日は、スクリーンショット機能の設定を適用した日に変更されます。たとえば、消去日を毎週の月曜日に設定し、金曜日にスクリーンショット機能の他の設定を変更した場合、消去日は金曜日（システムの現在時刻の日）に変更されます。
- スリープ（システムサスペンド）とスクリーンショット機能：システムがスリープモードに入ると、スクリーンショット機能は一

時停止されます。その結果、スクリーンショットをメール送信する機能も一時停止されます。システムがアクティブモードに入ると、スクリーンショット関連の機能が再開されます。

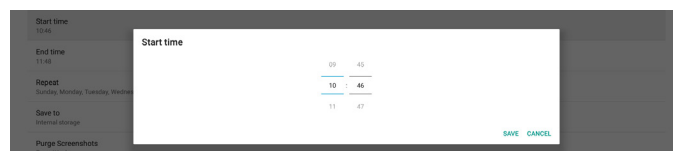
(1). 間隔

各スクリーンショットの間隔を設定してください。選択できるオプションは 30 分および 60 分です。



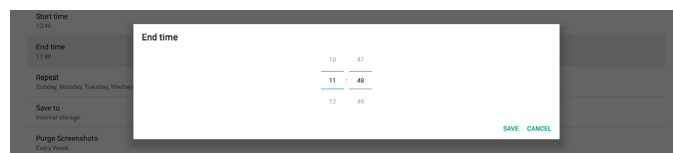
(2). 開始時間

スクリーンショット機能を開始する時刻を設定してください。ダイアログボックスを閉じる前に、「保存」ボタンをクリックしてください。クリックしない場合、設定は保存されません。開始時間は終了時間よりも前に設定する必要があります。無効な値が入力された場合は、通知用のトーストメッセージが表示されます。



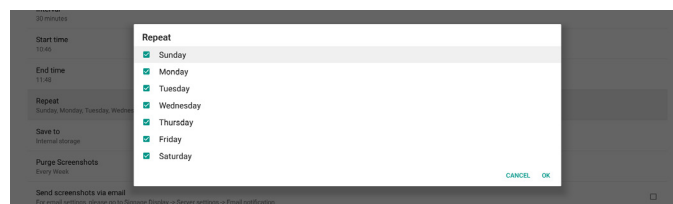
(3). 終了時間

スクリーンショット機能を終了する時刻を設定してください。ダイアログボックスを閉じる前に、「保存」ボタンをクリックしてください。クリックしない場合、設定は保存されません。開始時間は終了時間よりも前に設定する必要があります。無効な値が入力された場合は、通知用のトーストメッセージが表示されます。



(4). 繰り返し

自動スクリーンショットの繰り返しモードを設定してください。



(5). 保存先

画面メニューの画像は、内部ストレージの「philips/screenshot」フォルダに保存されます。

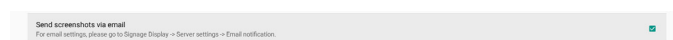
(6). スクリーンショットの削除

スクリーンショット画像を削除する間隔時間を設定してください。使用可能なオプションは「毎日」と「毎週」です。



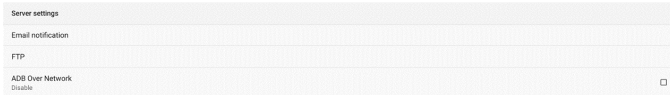
(7). メールでスクリーンショットを送信

各スクリーンショット画像をメールの添付ファイルとして送信できます。ユーザーはまず、「設定 -> サイネージディスプレイ -> サーバー設定 -> メール通知」でメール情報を設定する必要があります。



サーバー設定

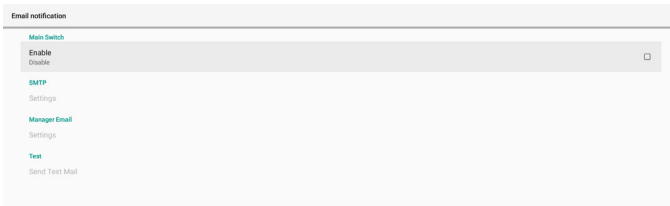
設定 -> サイネージディスプレイ -> サーバー設定



6.1.1.1.4. メール通知

設定 -> サイネージディスプレイ -> サーバー設定 -> メール通知

チェックボックスをクリックして、メール通知機能を有効または無効にしてください。メール通知機能を有効にした後、SMTP および管理者メールアドレスを設定してください。



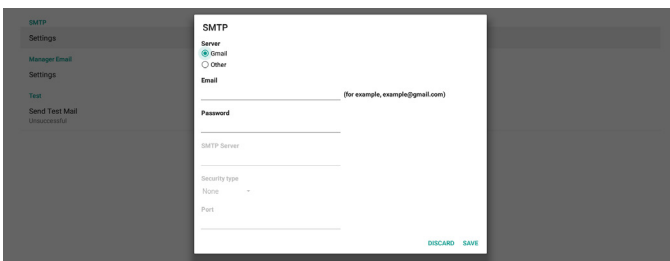
SMTP

送信者のメールアドレスと SMTP サーバー情報を設定してください。ユーザーが設定できる SMTP サーバーには「Gmail」と「その他」の 2 種類があります。「その他」オプションを使用すると、ユーザーは SMTP サーバー、セキュリティタイプ、およびサーバーポートを手動で設定できます。

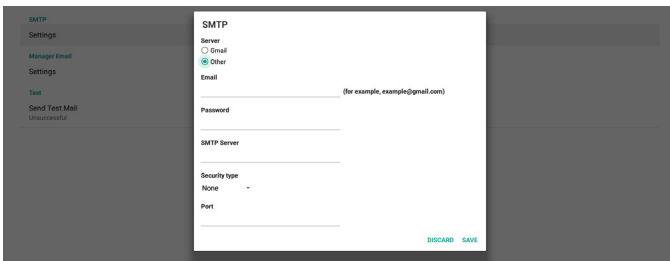
注意：

1. パスワードは UTF8 形式で、6 ～ 20 文字にしてください。
2. ユーザーは、ポート 5000 (SICP デフォルトポート) および 2121 (SFTP サーバーデフォルトポート) を設定できません。SICP ネットワークポートは、「設定 -> サイネージディスプレイ -> ネットワークアプリケーション -> SICP ネットワークポート」で設定します。SFTP ネットワークポートは、「設定 -> サイネージディスプレイ -> サーバー設定 -> SFTP -> ポート」で設定します。

Gmail: (SMTP サーバー、セキュリティタイプ、およびポートはグレーアウトされます)

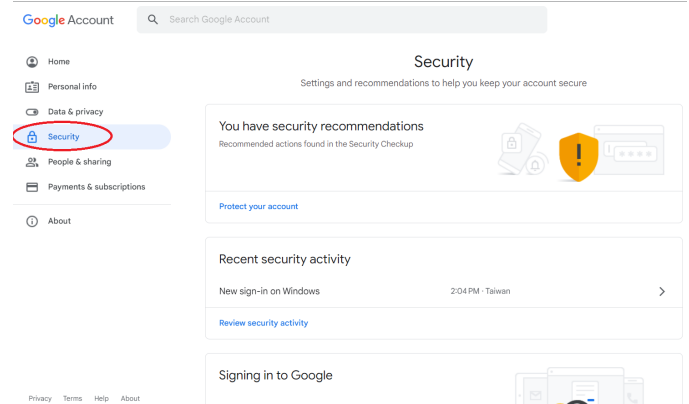


その他：



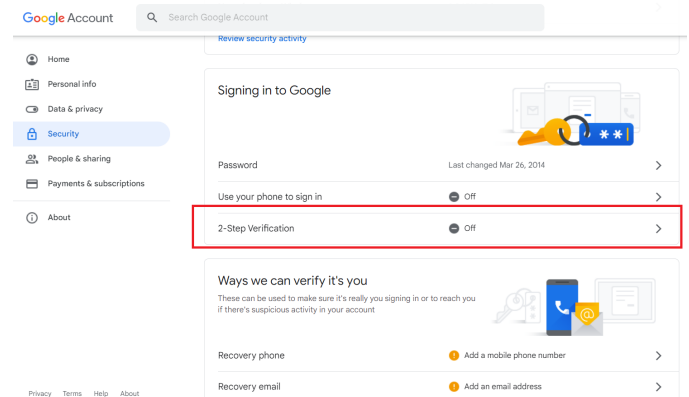
Gmail のセキュリティ設定

Web ブラウザーを開き、お使いの Google アカウントにログインしてください。Web ページの左側または上部にある「セキュリティ」メニューをクリックします。



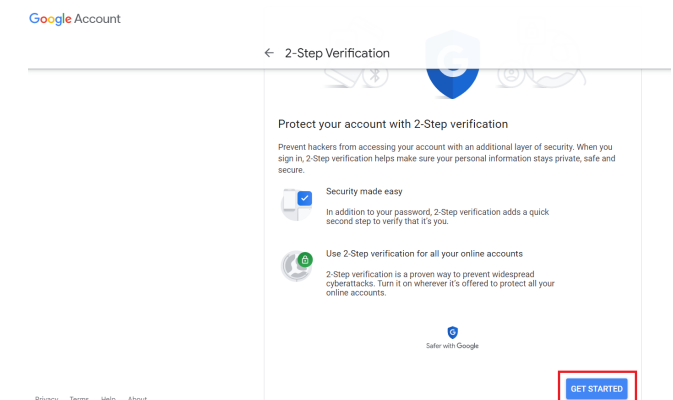
ステップ 1 - 「2 段階認証プロセス」を選択します

2 段階認証プロセスがオフの場合は、クリックして有効にしてください。

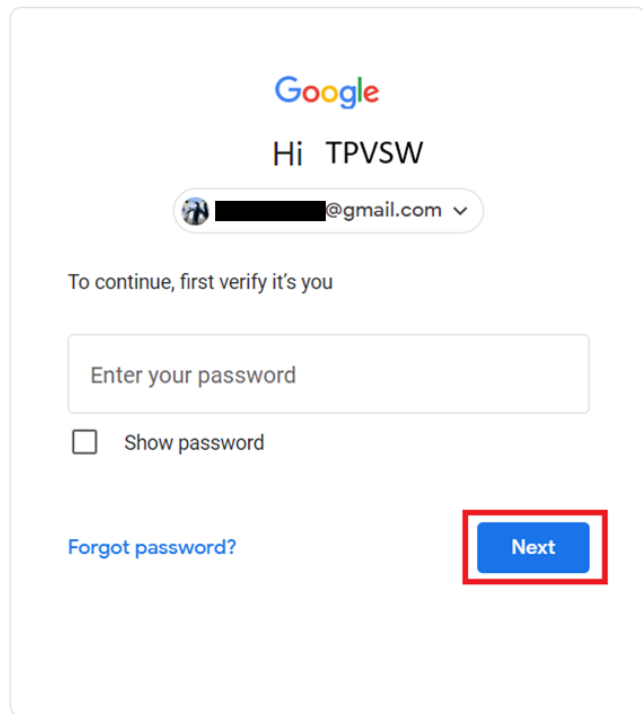


ステップ 2 - 2 段階認証プロセスを設定します

「GET STARTED」ボタンをクリックして、2 段階認証オプションの設定を開始してください。



本人確認のため、Google アカウントに再度ログインするよう求められる場合があります。



Google

Hi TPVSW

① [redacted]@gmail.com ▼

To continue, first verify it's you

Enter your password

☐ Show password

[Forgot password?](#)

Next

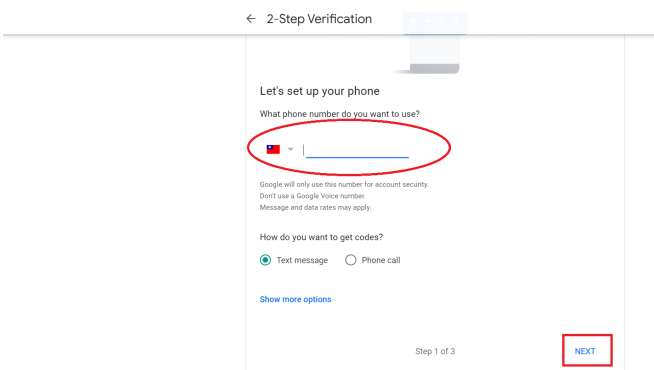
English (United States) ▼

[Help](#)[Privacy](#)[Terms](#)

ステップ 3 - スマートフォンを使用して設定を完了する

画面の指示と利用可能なオプションに従って、スマートフォンを使用した 2 段階認証を完了してください。

Google Account



← 2-Step Verification

Let's set up your phone

What phone number do you want to use?

🇯🇵 | [redacted]

Google will only use this number for account security. Don't use a Google Voice number. Message and data rates may apply.

How do you want to get codes?

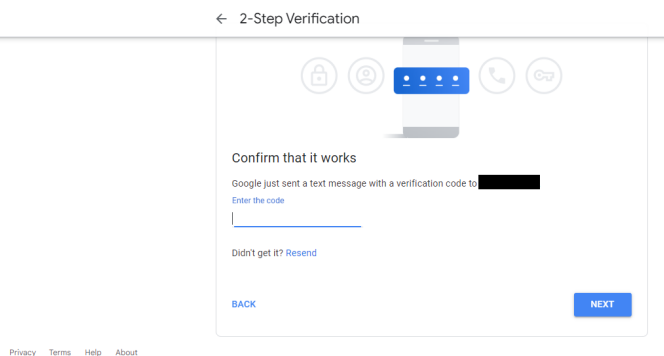
☒ Text message ☐ Phone call

[Show more options](#)

Step 1 of 3

NEXT

Google Account



← 2-Step Verification

Confirm that it works

Google just sent a text message with a verification code to [redacted]

Enter the code

[redacted]

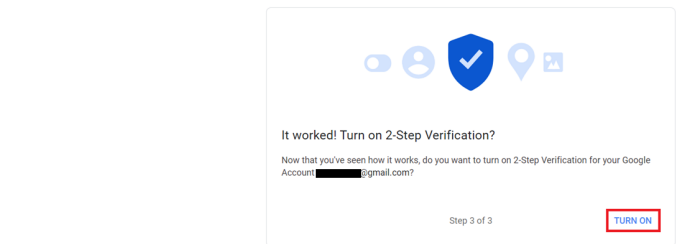
Didn't get it? [Resend](#)

[BACK](#) **NEXT**

[Privacy](#) [Terms](#) [Help](#) [About](#)

Google Account

← 2-Step Verification



It worked! Turn on 2-Step Verification?

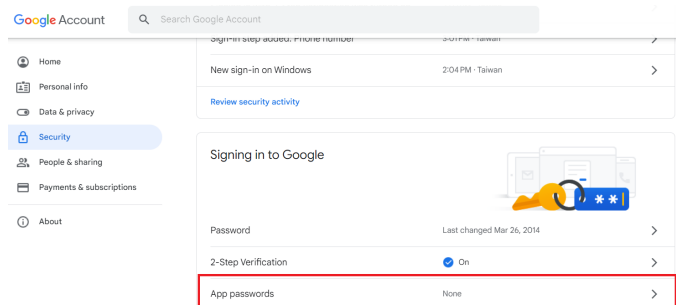
Now that you've seen how it works, do you want to turn on 2-Step Verification for your Google Account [redacted]@gmail.com?

Step 3 of 3

TURN ON

ステップ 4 - アプリパスワードの作成

「アプリパスワード」オプションをクリックして、新しいアプリケーションパスワードを作成してください：



Google Account

Search Google Account

Home Personal info Data & privacy **Security** People & sharing Payments & subscriptions About

Sign in step about: Phone number

New sign-in on Windows 2:04 PM - Taiwan

[Review security activity](#)

Signing in to Google

Password Last changed Mar 26, 2014

2-Step Verification On

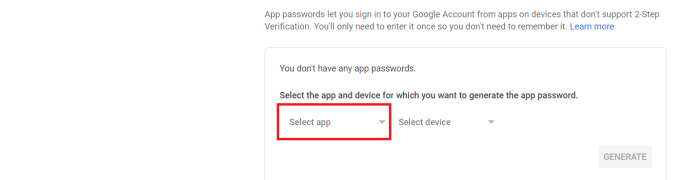
App passwords None

ステップ 5 - 新しいアプリ名の追加

まず、デバイス(例Windows コンピューター)を選択し「アプリを選択」メニューをクリックして「その他(カスタム名)」を選択してください：

Google Account

← App passwords



App passwords let you sign in to your Google Account from apps on devices that don't support 2-Step Verification. You'll only need to enter it once so you don't need to remember it. [Learn more](#)

You don't have any app passwords.

Select the app and device for which you want to generate the app password.

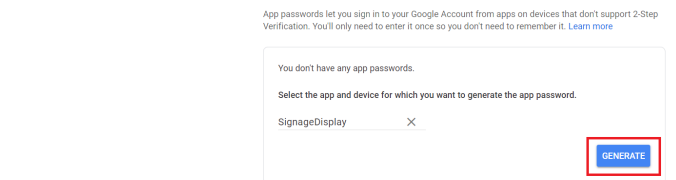
Select app Select device

GENERATE

カスタムアプリケーション名を入力してください(このフィールドで使用する名前は任意です)。「生成」ボタンをクリックしてください：(例：アプリ名として「SignageDisplay」と入力)

Google Account

← App passwords



App passwords let you sign in to your Google Account from apps on devices that don't support 2-Step Verification. You'll only need to enter it once so you don't need to remember it. [Learn more](#)

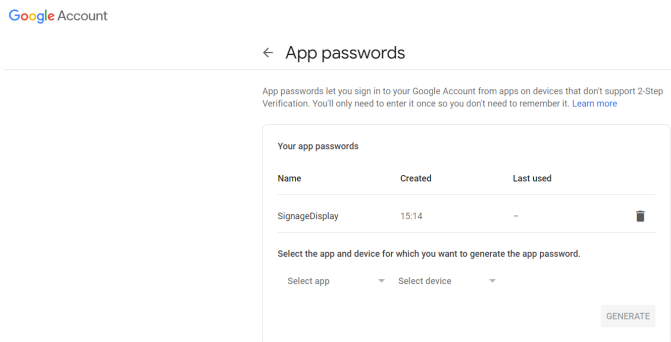
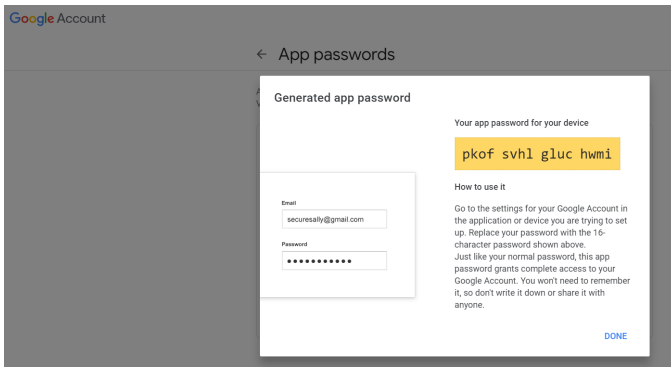
You don't have any app passwords.

Select the app and device for which you want to generate the app password.

SignageDisplay X

GENERATE

自動生成されたアプリパスワードを記録するか、選択してクリップボードにコピーし、後で使用してください。



管理者メールアドレス

メールを受信する宛先アドレスを指定してください。



テスト

メール設定が正しいか確認するには、「テストメールを送信」を選択してテストメールを送信してください。

6.1.1.1.5. FTP

設定 -> サイネージディスプレイ -> サーバー設定 -> FTP



チェックボックスをクリックして、FTP サーバー機能を有効または無効にします。この機能を有効にすると、ユーザーはアカウント、パスワード、およびポート番号を設定できます。

- (1). アカウント : FTP サーバーにログインするためのユーザー名は 4 ~ 20 文字で入力してください。使用できる文字は英数字 (a-z, A-Z, 0-9) のみです。
- (2). パスワード : FTP サーバーにログインするためのパスワードは 6 ~ 20 文字で設定し、使用できる文字は [a-z]、[A-Z]、[0-9] のみです。パスワード設定後はアスタリスクで表示されます。
- (3). ストレージパス : FTP サーバーがアクセスできるのは内部ストレージのみです。ストレージパスは変更できません。
- (4). ポート : FTP サーバーのポート番号には 1025 ~ 65535 の範囲で指定でき、初期設定は 2121 です。以下のポート番号は使用

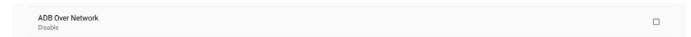
しないでください。

8000 / 9988 / 15220 / 28123 / 28124 および SICIP ネットワークポート (初期設定 5000)。

最後に、FTP 設定を適用するためにシステムを手動で再起動してください。

6.1.1.1.6. ネットワーク経由の ADB

ポート 5555 のネットワーク接続を使用して ADB にアクセスできます。



6.1.1.2. ソース設定

設定 -> サイネージディスプレイ -> ソース設定

Android ソース



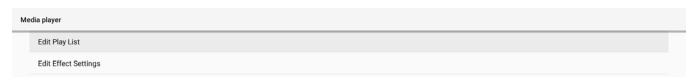
ユーザーは、ソース APK の詳細オプションを設定できます。



6.1.1.2.1. メディアプレーヤー

設定 -> サイネージディスプレイ -> ソース設定 -> メディアプレーヤー

メディアプレーヤー APK の再生一覧編集アクティビティおよびエフェクト設定編集アクティビティを開きます。



6.1.1.2.2. ブラウザー

設定 -> サイネージディスプレイ -> ソース設定 -> ブラウザー

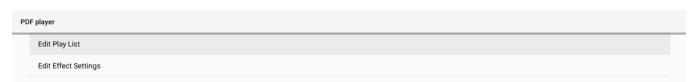
ブラウザー APK のブックマークエディターアクティビティを開きます。



6.1.1.2.3. PDF プレーヤー

設定 -> サイネージディスプレイ -> ソース設定 -> PDF プレーヤー

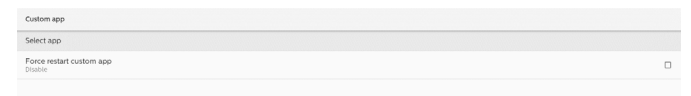
PDF プレーヤー APK の再生一覧編集アクティビティおよびエフェクト設定編集アクティビティを開きます。



6.1.1.2.4. カスタムアプリ

設定 -> サイネージディスプレイ -> ソース設定 -> カスタムアプリ

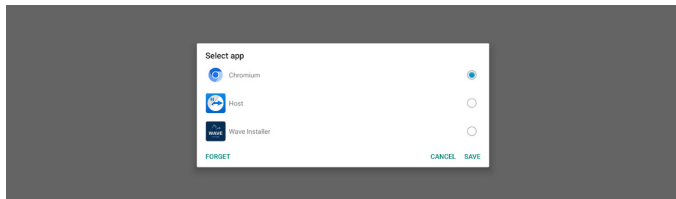
ユーザーはカスタムソース APK を設定できます。選択された APK は、カスタム入力ソースに切り替えたときに起動します。カスタムソース APK が設定されていない場合、システムはカスタム入力ソースに切り替えたときに黒画面を表示します。



カスタムソース APK が設定されている場合は、その APK 名が表示されます。表示されない場合は、カスタムアプリが設定されていないことを意味します。

APP の選択

カスタム APP ソース用の特定の APP を選択してください。



注記：

システムによってプリインストールされた APK は一覧に表示されません。手動でインストールされた APK のみが一覧表示されます。

(1).FORGET ボタン

カスタムソースアプリケーションを消去します。カスタムソースアプリケーションが設定されていない場合は、グレースアウトされます。

(2).CANCEL ボタン

変更を保存せずに終了します。

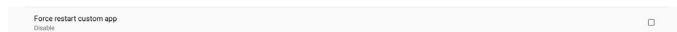
(3).保存ボタン

「保存」ボタンをクリックして、APS をカスタムソースアプリケーションとして選択してください。選択可能なアプリケーションがない場合は、グレー表示になります。

カスタムアプリの強制再起動

この機能が有効の場合、システムはカスタムアプリの状態を監視できます。カスタムアプリが存在せず、ソース起動が「Custom app」に設定されている場合、システムはカスタムアプリの再起動を試みません。

デフォルト設定は無効です。



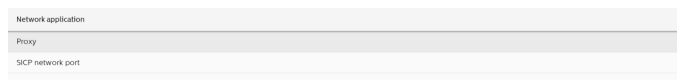
ソースラベル / 有効

ソースリストに表示されるソースラベルを変更し、ソースリスト内のソースを有効または無効にします。

Source	Label	Enable
HDMI1	HDMI1	☒
HDMI2	HDMI2	☒
Type-C	Type-C	☒

6.1.1.3. ネットワークアプリケーション

設定 -> サイネージディスプレイ -> ネットワークアプリケーション



6.1.1.3.1. SICP ネットワークポート

設定 -> サイネージディスプレイ -> ネットワークアプリケーション -> SICP ネットワークポート

SICP のデフォルトポートを設定し、ネットワーク SICP を有効 / 無効にします。デフォルトでは、SICP はポート 5000 で有効になっています。

注意：

ポート番号の範囲は 1025 ~ 65535 です。

以下のポートはすでに使用中のため、割り当てることができません：8000, 9988, 15220, 28123, 28124。デフォルトの SFTP ポートは 2121 です。

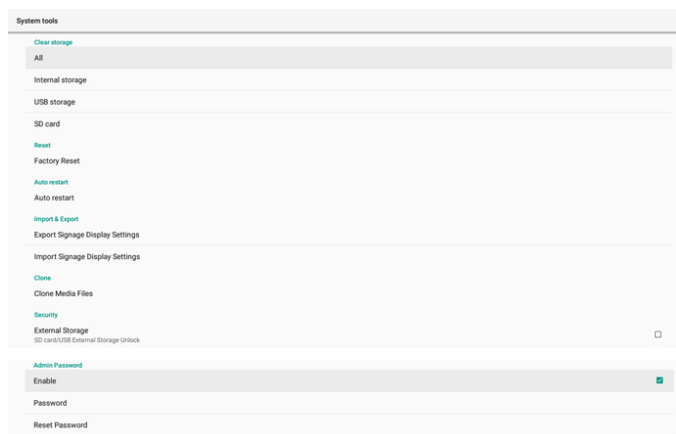


6.1.1.4. システムツール

設定 -> サイネージディスプレイ -> システムツール

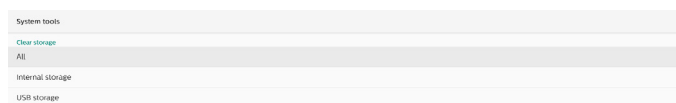
サイネージディスプレイのシステムツールには、6 つの主要な機能があります：

- (1).ストレージの消去
- (2).リセット
- (3).自動再起動
- (4).インポート & エクスポート
- (5).クローン
- (6).セキュリティ
- (7).管理者パスワード



6.1.1.4.1. ストレージの消去

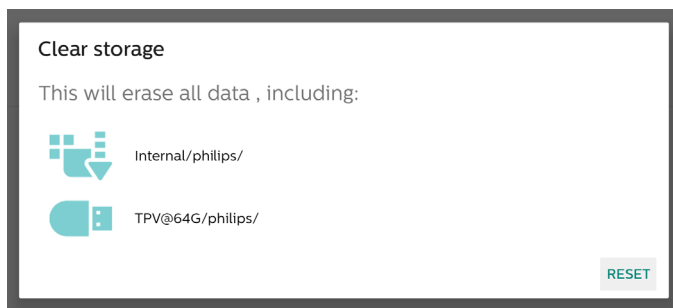
設定 -> サイネージディスプレイ -> システムツール -> ストレージの消去



内部ストレージおよび外部ストレージの {storage}/philips/ フォルダー内のデータを消去します。

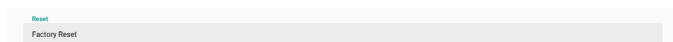
- (1).すべて
内部ストレージおよび USB から「Philips」フォルダーを消去します。
- (2).内部ストレージ
内部ストレージのみから「Philips」フォルダーを消去します。
- (3).USB ストレージ
USB ストレージのみから「Philips」フォルダーを消去します。

ダイアログボックスに、システムが消去するすべてのフォルダーが一覧表示されます。一覧表示されたフォルダー内のすべてのデータを消去するには「RESET」を押すか、保存せずに終了するには戻るキーを押してください。



6.1.1.4.2. リセット

設定 -> サイネージディスプレイ -> システムツール -> リセット



工場出荷時の設定にリセット

この機能を使用すると、すべてのユーザーデータと設定を消去できます。システムは自動的に再起動し、再起動後に OOBЕ に移行します。

重要な注意：

1. 内部ストレージに保存されたデータのみが消去され、復元できません。このデータには、デバイスの設定、インストールされたアプリ、アプリのデータ、ダウンロードしたファイル、音楽、写真、および「/data」以下のすべてのデータが含まれます。ただし、USB に保存されたデータは消去されません。
2. 工場出荷時の設定にリセットの実行中は、AC アダプターと電源が常に接続されていることを確認してください。ユーザーは、画面メニューに OOBЕ が表示された後のみ電源オフにすることができます。

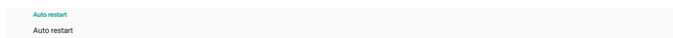


「工場出荷時の設定にリセット」をクリックして、工場出荷時の設定にリセットを実行します。ダイアログボックスが表示されたら、「OK」を押して確定してください。このアクションにより内部ストレージのすべてのデータが消去され、復元できなくなりますのでご注意ください。

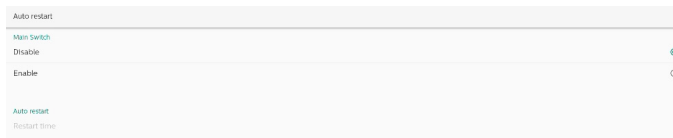


6.1.1.4.3. 自動再起動

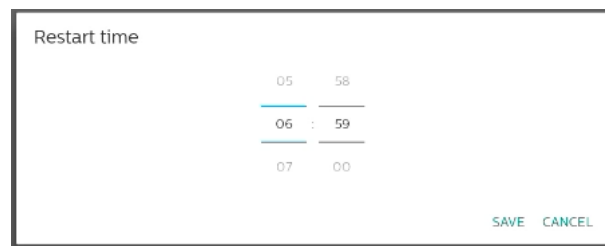
システムが毎日自動的に再起動する特定の時間を設定してください。



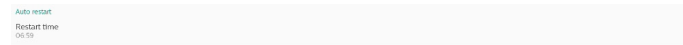
自動再起動機能を有効または無効に設定してください。



タイムピッカーを使用して再起動時間を設定してください。

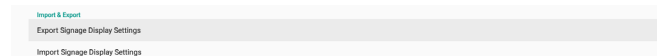


「保存」を選択すると、システムは指定した時間に再起動します。



6.1.1.4.4. インポート & エクスポート

設定 -> サイネージディスプレイ -> システムツール -> インポート & エクスポート



この機能を使用すると、他のデバイスとの間で設定やサードパーティ製 APK をインポート / エクスポートできます。次の点にご確認ください。

- (1). データを {storage}/philips/clone フォルダ内の BDL2050A-clone.zip ファイルにエクスポートします。
- (2). 旧クローンファイル方式にも対応しています。以下のファイルを {storage}/philips/sys_backup に配置してください。
AndroidPDMediaPlayerData.db
AndroidPDPdfData.db
menu_settings.db
settings_global.xml
settings_secure.xml
settings_system.xml
signage_settings.db
最新のエクスポートデータでは、すべてのファイルが ZIP ファイルにアーカイブされますのでご注意ください。
- (3). 「Signage Display Name」はインポート / エクスポートされません。

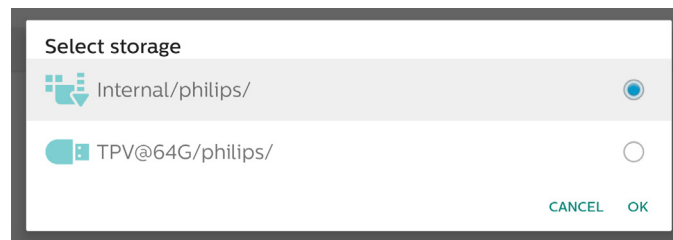
サイネージディスプレイ設定のエクスポート

システムは、データベースデータおよびサードパーティ製 APK を、選択したストレージ(内蔵ストレージ、USB ストレージ)の {storage}/philips/clone/BDL2050A-clone.zip ファイルにエクスポートします。

注意：

選択したストレージ(内蔵ストレージ、USB 外部ストレージ)に Philips/ フォルダが含まれていない場合、システムが自動的に作成します。

利用可能なすべてのストレージ(内蔵ストレージおよび USB ストレージ)のリスト：



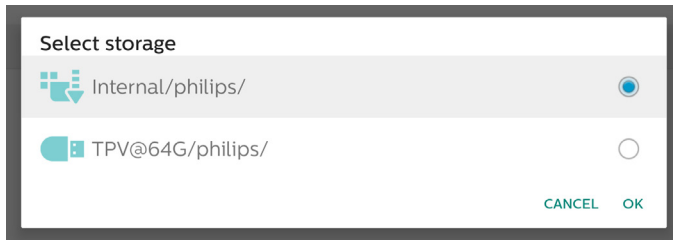
サイネージディスプレイ設定のインポート

選択したストレージ(内蔵ストレージまたは USB ストレージ)の philips/clone/BDL2050A-clone.zip ファイルからデータベースデータをインポートします。システムは ZIP ファイル内の次のデータをインポートします：

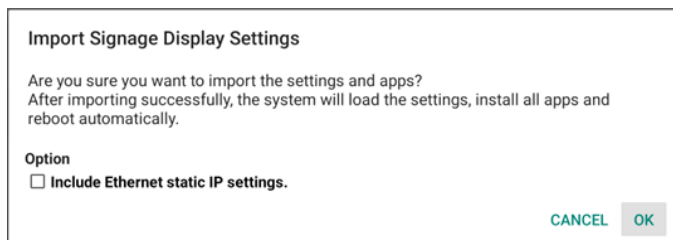
- (1). BDL2050A-clone.zip 内のデータベースのインポート

- (2).BDL2050A-clone.zip 内のサードパーティ製 APK のインポート
- (3).BDL2050A-clone.zip 内のスケーラー OSD 設定のインポート

利用可能なすべてのストレージ (内蔵ストレージおよび USB ストレージ) のリスト:



設定および APK をインポートする前に、確認ダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックして、データのインポートを開始してください。

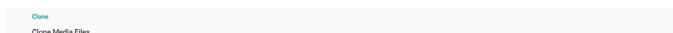


追加の注意事項:

「Include Ethernet static IP settings.」をオンにすると、インポート後にシステムがデータベースからイーサネットの静的 IP 設定を読み込みます。オフのままにした場合、ネットワークの状態はインポート前のまま維持されます。

6.1.1.4.5. クローン

Settings -> Signage Display -> System Tools -> Clone



メディアファイルの複製

この機能により、選択したソースストレージからターゲットストレージへメディアファイルをコピーできます。

システムの複製ファイルは、次のフォルダーに保存されています:

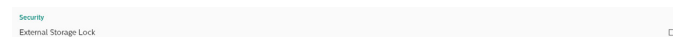
philips/photo
philips/music
philips/video
philips/pdf
philips/browser

6.1.1.4.6. セキュリティ

Settings -> Signage Display -> System tools -> Security

外部ストレージロック

チェックボックスをクリックして、外部ストレージ (USB ストレージ) をロックまたはロック解除してください。デフォルトではロック解除されています。

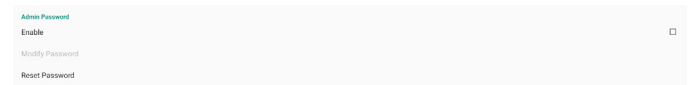


注記:

外部ストレージロックを無効にして有効な状態に変更する場合は、外部ストレージ (USB ストレージの場合) をいったん取り外し、再度接続してください。これにより、システムが外部ストレージを再検出できるようになります。

6.1.1.4.7. 管理者パスワード

セキュリティを強化し、米国および EU の規制に準拠するため、デフォルトパスワードの使用を廃止し、ユーザー自身によるパスワード作成を必須としてください。



有効

「有効」チェックボックスがオンになっていない場合、パスワードは現在空の状態です。

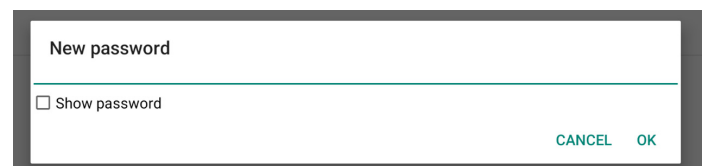
チェックボックスをクリックして、新しいパスワードを入力してください。

注記:

パスワードのルールは 6 桁で、連続した数字や同じ数字の繰り返しは使用できません。

例: 112233, 123457, 654322 (OK)

123456, 111111, 654321 (不可)



(1) チェックなし: 無効。

(2) チェックあり: 有効。

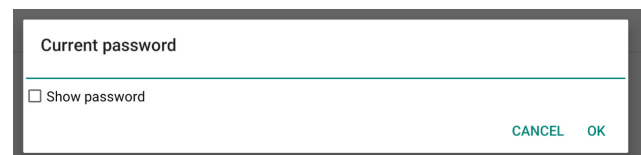
注記:

有効にした後は、管理者モードにログインするためにパスワードが必要になります。

パスワードの変更

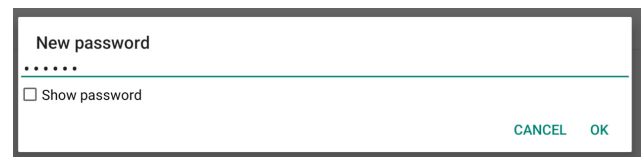
ユーザーは管理者モードにログインするためのパスワードを変更できます。以下の手順に従ってください。

(1).最初に現在のパスワードを入力してください。

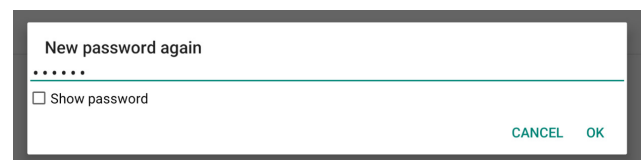


現在のパスワードが正しくない場合「パスワードが正しくありません」というトーストメッセージが表示されます。

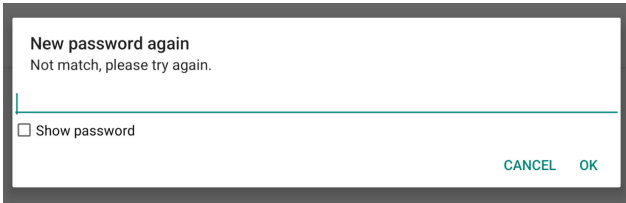
(2).新しいパスワードを入力してください。



(3).新しいパスワードをもう一度入力してください。



再入力したパスワードが一致しない場合は、もう一度やり直してください。



パスワードが正常に変更されるとAndroidのトーストメッセージ「成功しました」が表示されます。

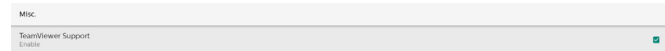
パスワードのリセット:

設定 -> サイネージディスプレイ -> システムツール -> 管理者パスワード -> パスワードのリセット。



6.1.1.5. その他 TeamViewer サポート

チェックボックスをクリックして、TeamViewer サポートを有効または無効にしてください。TeamViewer は仮想 HOME キーを送信して管理者モードを開きます。デフォルトは有効です。



TeamViewerHost および TeamViewerQsAddOn の APK は、システムに自動的にインストールされます。また「TeamViewer サポート」が無効になっている場合、システムによって削除されます。

「TeamViewer サポート」が有効な場合、以下の 2 つの APK が設定 -> アプリに一覧表示されます。



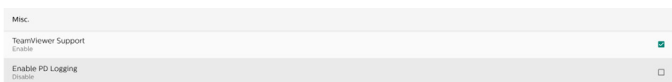
ログの有効化

チェックボックスを使用して、ログを有効または無効にしてください。有効にすると、PD は Android logcat ログおよびカーネルメッセージの記録を開始し、それらを USB または内部ストレージに自動的に保存します。最優先は USB ストレージです。PD に USB デバイスが接続されていない場合、すべてのデータは内部ストレージに保存されます。

保存パスは {root directory of USB storage}/ philips/Log/{モデル名}-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss} になります

または

{root directory of internal storage}/ philips/Log/{モデル名}-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss}



ログ記録を無効にした場合、すべてのデータは {root directory of USB storage}/ philips/Log/{model name}-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss}.zip のような zip ファイルに保存されます。

または

{root directory of internal storage}/ philips/Log/{model name}-Log-{yyyy-MM-dd-HH-mm-ss}.zip

6.1.1.6. システムアップデート ローカルアップデート

設定 -> サイネージディスプレイ -> システムアップデート -> ローカルアップデート

システムは、USB ディスクのルートディレクトリまたは内蔵ストレージのルートディレクトリにある「update.zip」または「combofw.zip」ファイルを自動で検索します。「update.zip」または「combofw.zip」のいずれかが見つかった場合、ユーザーがアップデートに使用するファイルを選択できるよう、選択可能なリストがポップアップ表示されます。



(1). 「update.zip」

リストからファイルを選択すると、システムが再起動し、システムアップデートが実行されます。Android のダウングレードには対応していませんので、ご注意ください。

(2). 「combofw.zip」

リストからファイルを選択すると、システムはまずスケーラー FW のアップデートを開始し、再起動後に自動的に Android システムのアップデートを開始します。「combofw.zip」ファイルには、次の 2 つの構造があります。

1. 「update.zip」+「PHL_{モデル名}.bin」
2. 「update.zip」+「{multi-size scaler}.zip」、または「update.zip」+「{multi-size scaler}.7z」

注意事項:

1. アップデート中はシステムの電源をオンの状態に保ち、電源アダプターを取り外さないでください。
2. 現在、システムはフル Android アップデートのみに対応しています。
3. アップデートファイルの名前は、「update.zip」または「combofw.zip」のいずれかにしてください。
4. 「update.zip」または「combofw.zip」ファイルは、外部ストレージまたは内部ストレージのルートフォルダーに配置してください。

6.2. 補足

6.2.1. クイック情報

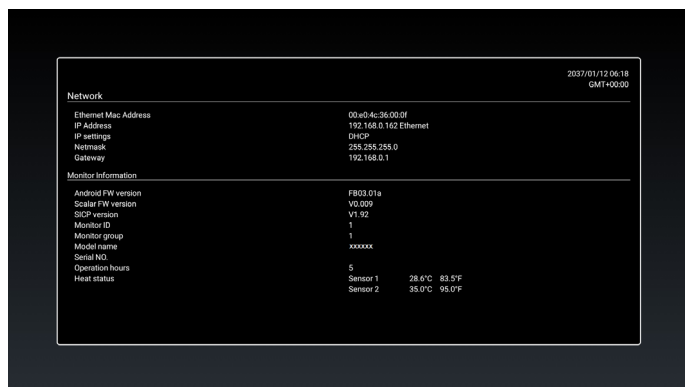
「Info + 77」を押して、クイック情報を起動してください。

クイックインフォには「ネットワーク」と「モニターインフォメーション」が表示されます。

注記：

動作時間：1 分ごとに更新されます。

温度ステータス：5 秒ごとに更新されます。



6.2.2. Android の起動アニメーションをカスタマイズするにはどうすればよいですか？

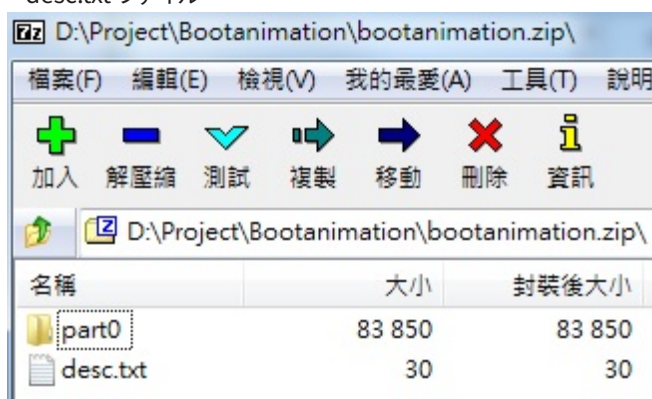
1. 概要

Android の起動アニメーションは、デバイスの起動時に PNG ファイルを読み込むために使用されるスクリプトです。bootanimation.zip という非圧縮の zip ファイルに含まれています。

2. bootanimation.zip ファイル内

bootanimation.zip は次のとおりです：

- ・ 画像フォルダ (順番で名前が付けられた PNG 画像を含む)
- ・ desc.txt ファイル



(1) 画像フォルダ

このフォルダには、0000.png や 0001.png などの番号で始まり、1 ずつ増加する番号で名前が付けられた PNG 画像が含まれています。フォルダの最小数は 1 で、最大数に制限はありません。

(2) desc.txt ファイル

このファイルは、起動アニメーション中にフォルダ内の画像がどのように表示されるかを、次の形式で定義します：

- 幅 高さ フレームレート
- mode Loop delay-time Folder1
- mode Loop delay-time Folder2

desc.txt ファイルの例は次のとおりです。

- 1920 1080 30
- p 1 0 part0
- p 0 0 part1

a. 1 行目

1920 および 1080 は、画面解像度の幅および高さを定義します。

30 は fps (frames per second: フレーム / 秒) 単位のフレームレート、すなわち 1 秒間に表示する画像数を示します。

b. 2 行目および 3 行目は同じ形式です。

先頭の「p」は、起動プロセスの完了時に再生モードが直ちに停止することを意味します。

「p」の次の数値は、リピートモードを定義します。

- デバイスの起動が完了するまでパートを無期限にループさせるには、0 に設定してください。
- パートを 1 回のみ再生するには、1 に設定してください。

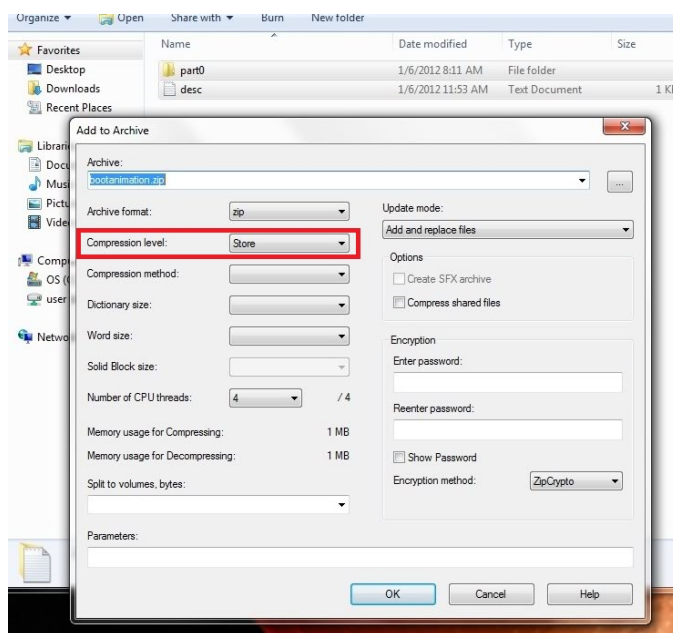
次の数値は遅延時間 (ms) を定義します。たとえば、10 に設定した場合、すべての画像ファイルの再生が終了すると、システムは 10ms 遅延します。

Part0 および part1 は、画像フォルダ名を指します。

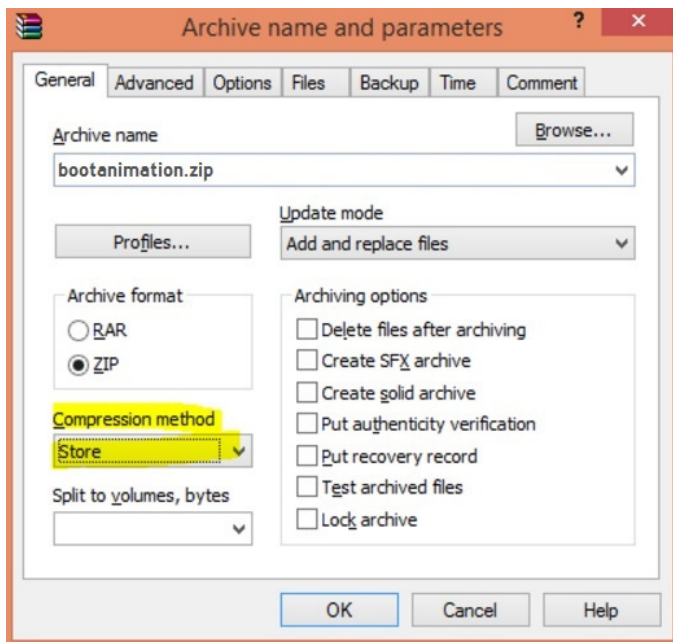
上記の例では、ブートアニメーションは 1920 × 1080 ピクセルの解像度、30 fps のフレームレートで再生され、part0 フォルダの内容から開始されます。それらを 1 ループ再生した後、part1 フォルダの内容に切り替わり、デバイスの起動プロセスが完了するまで継続的に再生されます。

3. Zip ファイル：

Bootanimation フォルダ内のすべて (画像フォルダと desc.txt を含む) を選択し、7zip や WinRAR などのお好みの圧縮ユーティリティを使用して、新しい非圧縮の zip アーカイブに圧縮してください。7zip を使用する場合、圧縮レベルを「Store」に設定してください。



WinRAR を使用する場合、「圧縮方式」を「Store」に設定してください。



そうしないと、ブートアニメーションは動作しません。

4. カスタムブートアニメーションの適用

手順：

- (1) カスタムの bootanimztion.zip ファイルを外部 USB に配置し、そのストレージデバイスを Phillips PD プラットフォームに接続してください。
- (2) ログオプションが有効になっていることを確認してください。RCU の Home キーを押してください: OSD メニュー > 設定 2 > ログ > 「オン」に設定してください
- (3) RCU で「Home + 1888」の組み合わせキーを押して管理者モードに入るか、ランチャー内の「その他のアプリ」アイコンをクリックしてください。
- 設定 > サイネージディスプレイ > 一般設定 > ブートロゴ
- (4) システムは外部 USB 上の bootanimation.zip を自動的に検索し、/data/local にコピーします
- (5) ステップ 1 ~ 4 が完了したら、システムを再起動してください。起動時に新しいカスタムブートアニメーションが表示されます。

6.2.3. Android アプリのインストール方法は？

独自の Android アプリをインストールするには 3 つの方法があります。

(a) 管理者モードのファイルマネージャー経由

1. すでに apk をお持ちの場合
 - 1.1 APK を USB ディスクにコピーし、ストレージデバイスを Philips Android サイネージディスプレイに接続してください。
 - 1.2 管理者モード > アプリ > ファイルマネージャーへ移動してください
 - 1.3 ファイルマネージャーを使用して、インストールする APK を探してください。選択した APK で「OK」を押すだけです。
2. Chromium ブラウザーを使用して APK をダウンロードし、ファイルマネージャーで <internal storage path>/Download/ に移動してください。
 - 2.1 次の手順は上記と同じです。モデルによって <internal storage path> が異なる場合がありますのでご注意ください。

(b) Adb Shell を使用する場合

1. PC が adb を使用して Philips Android Signage Display に接続できることを確認してください。
2. PC 上のフォルダー (例: C:\apkfolder) に APK を準備してください。
3. コマンドラインツールを使用して、次のコマンドを実行してください。

C:\apkfolder> adb install -r apk_name.apk

(c) カスタムインテントを使用する場合

1. 任意の Android アプリをダウンロードできる APK を開発した場合、その APK からカスタムインテントを発行できます。
2. APK の名前とパスが保存されていれば、システムがプログラムによってインストールを実行します。

説明	インテント	パラメーター	
ソフトウェア更新	php.intent.action.UPDATE_APK	filePath	ファイル名を含む絶対ファイルパスです。ファイルのアクセス権限が少なくとも 664 であることを確認してください。
		keep	更新後にファイルを保持するかどうかを指定します。デフォルト値は false です。
		packageName	更新後に自動的に起動する対象のパッケージです。
		activityName	更新後に自動的に起動する対象のアクティビティです。ただし、現在のトップアクティビティが activityName でない場合、何も実行されません。

例：

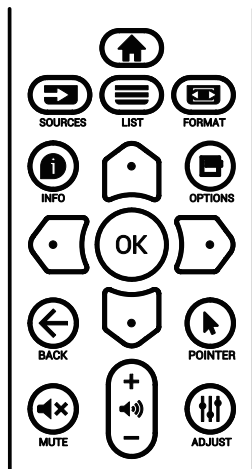
```
Intent intent = new Intent();
intent.setAction("php.intent.action.UPDATE_APK");
intent.putExtra("filePath", "/Download/sample.apk");
intent.putExtra("keep", true);
intent.putExtra("packageName", "com.tpv.example");
intent.putExtra("activityName", "com.tpv.example.MainActivity");
intent.putExtra("isAllowDowngrade", true); // ダウングレードを許可する
sendBroadcast(intent);
```

7. 画面メニュー

オンスクリーンディスプレイ(OSD)構造の概要を以下に示します。ディスプレイをさらに調整する際の参考にしてください。

7.1. 画面メニューの操作

7.1.1. リモコンを使用した画面メニューの操作



1. リモコンの [電源/戻る] ボタンを押して、画面メニューを表示します。
2. [画面メニュー] または [設定] ボタンを押して、調整する項目を選択します。
3. [OK] または [設定] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
4. サブメニューでは、[画面メニュー] または [設定] ボタンを押して項目間を切り替え、[画面メニュー] または [設定] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合は、[OK] または [設定] ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. 前のメニューに戻るには [戻る] ボタンを押してください。または、OSD メニューを終了するには [電源/戻る] ボタンを押してください。

7.1.2. ディスプレイのコントロールボタンを使用した OSD メニューの操作

1. OSD メニューを表示するには、[MENU] ボタンを押してください。
2. 調整する項目を選択するには、[+] または [-] ボタンを押してください。
3. サブメニューに入るには、[+] ボタンを押してください。
4. サブメニューでは、[上] または [下] ボタンを押して項目を切り替え、[+] または [-] ボタンを押して設定を調整してください。サブメニューがある場合は、[+] ボタンを押してサブメニューに入ってください。
5. 前のメニューに戻るには [MENU] ボタンを押してください。また、OSD メニューを終了するには [MENU] ボタンを押し続けてください。

7.2. OSD メニューの概要

7.2.1. 画像メニュー

画像メニュー	輝度(画像)	70
画面メニュー	コントラスト	50
オーディオメ..	シャープネス	50
設定1	ブラックレベル	50
設定2	色合い(色調)	50
アドバンスド..	色(彩度)	50
	ガンマ選択	ネイティブ
	色温度	ネイティブ
	カラーコントロール	アクション

画像メニュー	シャープネス	50
画面メニュー	ブラックレベル	50
オーディオメ..	色合い(色調)	50
設定1	色(彩度)	50
設定2	ガンマ選択	ネイティブ
アドバンスド..	色温度	ネイティブ
	カラーコントロール	アクション
	オーバースキャン	の
	画像リセット	アクション

輝度 (画像)

本ディスプレイのバックライトの輝度 (画像) を調整してください。

コントラスト

入力信号のコントラスト比を調整してください。

注記： VIDEO ソースのみ

シャープネス

画像のディテールを改善するために、シャープネスを調整してください。

ブラックレベル

ビデオのブラックレベルは、映像の最も暗い(黒)部分における輝度 (画像) レベルとして定義されます。本ディスプレイのブラックレベルを調整してください。

色合い (色調) (色相)

画面メニューの色合い (色調) を調整してください。

[D] ボタンを押して、色調を緑がかった色にしてください。[C] ボタンを押して、色調を紫がかった色にしてください。

注記： この項目は、ビデオモード (YUV 色空間) にのみ適用されます。

色 (彩度) (彩度)

画像内の色の強さを調整してください。

注記： この項目は、ビデオモード (YUV 色空間) にのみ適用されます。

ガンマ選択

ガンマは、画像全体の明るさを制御するものです。適切に補正されていない画像は、白っぽくなりすぎたり暗くなりすぎたりすることが

あるため、ガンマを適切に制御することは、ディスプレイの全体的な画質に大きな影響を与えます。

オプションは次のとおりです: {Native} / {2.2} / {2.4} / {S gamma} / {D-image}。

色温度

画像の色温度を選択します。低い色温度は赤みがかった色合い (色調) になり、高い色温度は青みがかった色合い (色調) になります。オプションは次のとおりです: {3000K} / {4000K} / {5000K} / {6500K} / {7500K} / {9300K} / {10000K} / {ネイティブ} / {ユーザー 1} / {ユーザー 2}。

カラーコントロール

R/G/B ゲインおよび R/G/B オフセットの設定を個別に変更することで、画像の色 (彩度) トーンを正確に調整できます。

{ 画像メニュー } - { 色温度 } - { ユーザー } の設定を [ユーザー 1] にします

または、2000K から 10000K の範囲で 100K ごとに色 (彩度) トーンを調整できます。

{ 画像メニュー } - { 色温度 } - { ユーザー } の設定を [ユーザー 2] にします

スマート電源

ディスプレイを設定して、自動的に消費電力を削減してください。

オプションは次のとおりです: { オフ } / { 中 } / { 高 }。

オーバースキャン

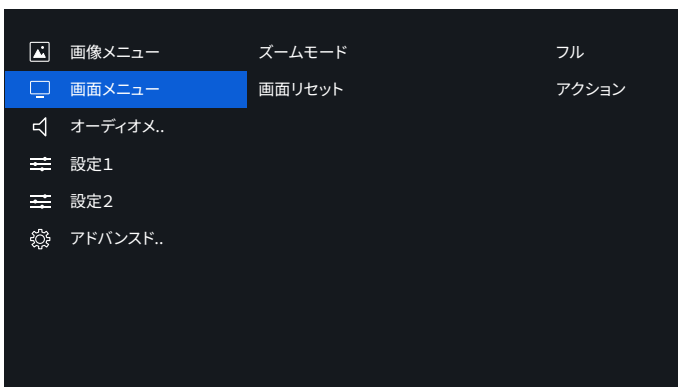
画像の表示領域を変更します。

- { オン } - 画像の元のサイズの約 95% を表示します。画像の周囲の残りの領域は切り取られます。
- { オフ } - 画像を元のサイズで表示します。

画像リセット

画像メニューのすべての設定をリセットしてください。

7.2.2. 画面メニュー



ズームモード

映像入力を1つ選択してください: {フル} / {4:3} / {リアル} / {21:9}。

	フル このモードでは、フルスクリーン表示を使用して、16:9 で伝送された映像の正しい縦横比を復元します。
	4:3 映像は 4:3 形式で表示され、画面の左右に黒い帯が表示されます。
	リアル このモードでは、元の画像サイズをスケーリングせずに、画像をピクセル単位で画面に表示します。
	21:9 映像は 21:9 形式で表示され、画面の上下に黒い帯が表示されます。

画面リセット

画面メニューのすべての設定を工場出荷時の初期値にリセットしてください。

7.2.3. オーディオメニュー

	画像メニュー	音声出力 (ラインアウト)	20
	画面メニュー	ミュート	オフ
	オーディオメ..	オーディオ出力	ARC
	設定1	オーディオリセット	アクション
	設定2		
	アドバンスド..		

オーディオ出力音量

Line Out の音声出力レベルを上げたり下げたりするように調整してください。

ミュート

ミュート機能をオン / オフにしてください。

オーディオ出力

オーディオ出力タイプを選択してください

ARC: HDMI オーディオリターンチャンネル、追加のオーディオケーブルなしで音声の逆方向伝送を行います。

Line out: リニアオーディオ出力、外部プロフェッショナルオーディオ機器用

オーディオリセット

オーディオメニューのすべての設定を工場出荷時の初期値にリセットしてください。

7.2.4. 設定1メニュー

🖼️ 画像メニュー	スイッチオン状態	最後のステータス
🖥️ 画面メニュー	パネルセーブ	アクション
🔊 オーディオメ..	ソース起動	アクション
☰ 設定1	WOL	オフ
☰ 設定2	光センサー	オフ
⚙️ アドバンスド..	設定1をリセット	アクション
	工場出荷時の設定にリセット	アクション

スイッチオン状態

次回電源コードを接続したときのディスプレイのステータスを選択してください。

- { 電源オフ } - 電源コードが接続されても、ディスプレイはオフのままになります。
- { 強制オン } - 電源コードが接続されると、ディスプレイがオンになります。
- { 最後のステータス } - 電源コードが接続されると、ディスプレイは以前の電源ステータス(オン / オフ / スタンバイモード)に戻ります。

パネルセーブ

パネルセーブ機能を有効または無効にして、「残像」や「焼き付き」のリスクを軽減してください。

- { 輝度 (画像) } - { オン } を選択すると、画像の輝度が適切なレベルに低下します。選択した場合、画像メニューの輝度設定は使用できなくなります。
- { ピクセルシフト } - 表示画面が画像サイズをわずかに拡大し、ピクセルの位置を4方向(上、下、左、右)にシフトする時間間隔{ 自動 } / { 10 ~ 900 } 秒 / { オフ } を選択してください。ピクセルシフトを有効にすると、画面メニューの水平位置、垂直位置、およびズームモードが無効になります。

ソース起動

起動時にソースを選択するかどうかを選んでください。

- { 入力 } - 起動時に入力ソースを選択します。
- { 再生一覧 } - メディアプレーヤー、ブラウザの再生一覧インデックスを選択します。0 は再生一覧がないことを示します。

WOL (Wake on LAN)

ネットワークメッセージによってディスプレイの電源をオンにできるようにします。

注記: この機能はパワーセーブモード 1 でのみ動作します。

光センサー

光センサー機能をオンまたはオフにするかを選択してください。

設定1をリセット

設定メニューのすべての設定を工場出荷時の初期値にリセットします。

工場出荷時の設定にリセット

画像メニュー、画面メニュー、オーディオメニュー、設定、およびアドバンスドオプションメニューでカスタマイズしたすべての設定を工場出荷時の初期値にリセットします。

7.2.5. 設定2メニュー

🖼️ 画像メニュー	OSDをオフにする	45
🖥️ 画面メニュー	OSD 水平位置	50
🔊 オーディオメ..	OSD 垂直位置	50
☰ 設定1	OSDの透明度	オフ
☰ 設定2	回転	横長
⚙️ アドバンスド..	インフォメーション OSD	10
	信号のない画面	黒
	ロゴ	オン
	モニターID	アクション

🖼️ 画像メニュー	回転	横長
🖥️ 画面メニュー	インフォメーション OSD	10
🔊 オーディオメ..	信号のない画面	黒
☰ 設定1	ロゴ	オン
☰ 設定2	モニターID	アクション
⚙️ アドバンスド..	CPU温度	81.00 C 177.80..
	モニターインフォメーション	アクション
	HDMI バージョン	1.4
	設定2をリセット	アクション

OSD をオフにする

OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューが画面に表示される時間を設定します。

オプションは { 5 ~ 120 } 秒です。

OSD 水平位置

OSD メニューの水平位置を調整します。

OSD 垂直位置

OSD メニューの垂直位置を調整します。

OSD の透明度

OSD の透明度を調整します。

- { オフ } - 透明度オフ。
- { 1-100 } - 透明度レベル 1-100。

回転

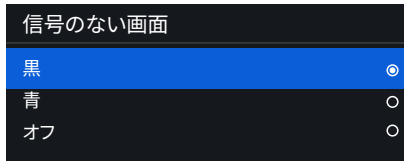
画面メニューを横長 / 縦長モードに変更してください。

注記: ディスプレイ (PD) を反時計回りに 90 度回転させてください。

インフォメーション OSD

画面メニューにインフォメーション OSD を表示する時間を設定してください。オプションは { オフ, 1-60 } 秒です。

信号のない画面



黒：信号が検出されない場合、背景色を黒に変更します。

青：信号が検出されない場合、背景色を青に変更します。

オフ：信号なしダイアログをオフにし、背景色を黒に変更します。

ロゴ

ディスプレイの電源をオンにするときのロゴの画像を有効または無効にするかを選択してください。

オプションは次のとおりです：

- ・ { オフ }
- ・ { オン }
- ・ { ユーザー }

注意： {USER} に設定されている場合、ユーザーロゴでは回転機能がサポートされていません。

モニター ID

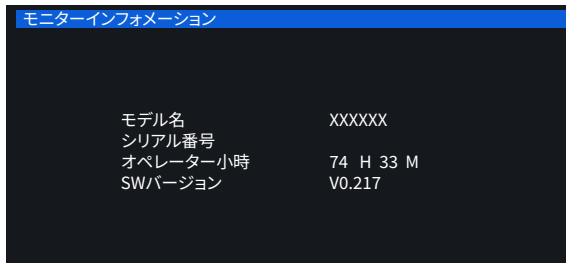
ネットワーク接続を介してディスプレイを制御するための ID 番号を設定してください。複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイには固有の ID 番号が必要です。モニター ID 番号の範囲は 1 から 255 までです。

CPU 温度

この機能を使用すると、いつでも CPU の熱状態を確認できます。

モニターインフォメーション

型番、シリアル番号、動作時間、ソフトウェアバージョンなど、ディスプレイに関する情報を表示します。



HDMI バージョン

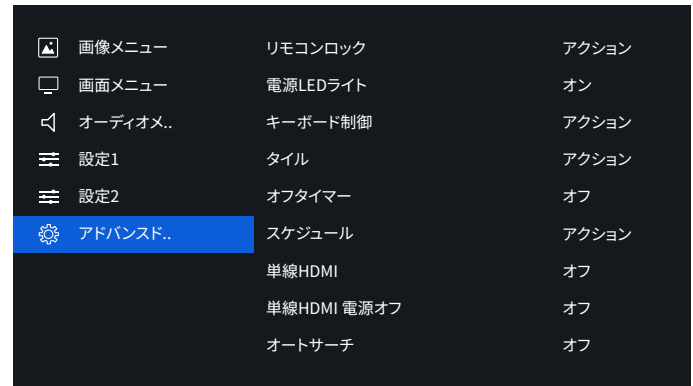
HDMI バージョンを 1.2、1.4、または 2.0 に設定してください。

注：HDMI 入力ソースのみ。

設定2をリセット

設定2メニューのすべての設定を工場出荷時の初期値にリセットしてください。

7.2.6. アドバンスドオプションメニュー



リモコンロック

ネットワーク接続で複数のディスプレイが接続されている場合のリモコンの動作モードを選択してください。

- ・ { ロック解除 } - すべてのディスプレイをリモコンで正常に操作できます。
- ・ { すべてロック } / { 音量以外すべてロック } / { 電源以外すべてロック } / { PWR & VOL 以外すべてロック } - 本ディスプレイのリモコン機能をロックします。ロック解除するには、リモコンの INFO ボタンを 6 (six) 秒間押し続けてください。

電源 LED ライト

電源表示 LED をオンまたはオフに設定してください。

通常の使用には { オン } を選択してください。

キーボード制御

ディスプレイのキーボード(コントロールボタン)機能を有効または無効にするかを選択してください。

- ・ { ロック解除 } - キーボード機能を有効にします。
- ・ { すべてロック } / { 音量以外すべてロック } / { 電源以外すべてロック } / { PWR & VOL 以外すべてロック } - キーボード機能を無効にします。

注：「キーボード制御ロックモード」この機能は、すべてのキーボード制御機能へのアクセスを完全に無効にします。キーボード制御ロックを有効または無効にするには、[VOL+] ボタンと [UP] ボタンの両方を同時に押し、3 秒以上継続して押し続けてください。

タイトル

この機能を使用すると、最大 9 台の本ディスプレイ(垂直方向に最大 3 台、水平方向に最大 3 台)で構成される単一の大画面マトリックス(ビデオウォール)を作成できます。この機能にはデジチェーン接続が必要です。

タイトル

水平モニター

1

垂直モニター

1

位置

1

フレームコンプトップ

0

フレームコンプ下部

0

フレームコンプ左

0

フレームコンプ右

0

フレーム補正

☐

有効

☐

パワーオンディレイ

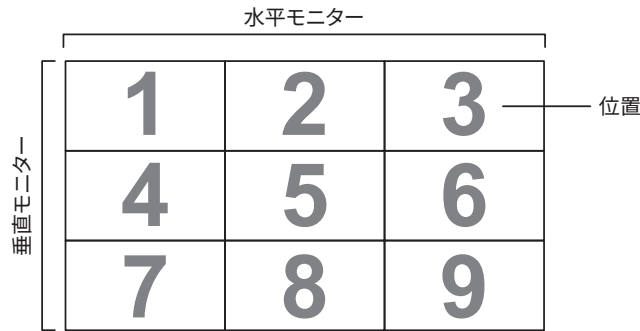
自動

輝度(画像)

通常

戻る

例:3×3の画面マトリックス(9台のディスプレイ)
 水平モニター = 3 台のディスプレイ
 垂直モニター = 3 台のディスプレイ



- { 水平モニター } - 水平方向のディスプレイ数を選択してください。
- { 垂直モニター } - 垂直方向のディスプレイ数を選択してください。
- { 位置 } - 画面マトリックス内での本ディスプレイの位置を選択してください。
- { フレームコンプトップ } - 上部フレーム補正のピクセル数を設定してください。
- { フレームコンプ下部 } - 下部フレーム補正のピクセル数を設定してください。
- { フレームコンプ左 } - 左フレーム補正のピクセル数を設定してください。
- { フレームコンプ右 } - 右フレームのピクセル数を設定してください。
- { フレーム補正 } - フレーム補正機能をオンまたはオフにするかを選択してください。{ はい } を選択した場合、ディスプレイは画像を正確に表示するために、ディスプレイのベゼル幅を補正するように画像を調整します。
- { 有効 } - タイル機能を有効または無効にするかを選択します。有効にすると、ディスプレイは { 水平モニター }、{ 垂直モニター }、{ 位置 }、および { フレーム補正 } の設定を適用します。
- { パワーオンディレイ } - 電源投入の遅延時間 (秒単位) を設定します。デフォルトオプションの { 自動 } では、複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイが ID 番号に従って順次電源オンになります。オプションは次のとおりです: { オフ / 自動 / 2-255 }。
- 輝度 (画像) : { Normal } / { ACS }

{ Normal } : OSD の輝度 (画像) 値 (バックライト) を適用します。
 { ACS } : MIC ツールで調整された輝度 (画像) 値 (バックライト) を適用します。調整前のデフォルト値は OSD の輝度 (画像) 値と同じです (例 : 70)。

一部の輝度 (画像) (バックライト) 設定は OSD で調整できません。画像メニューのバックライト設定の優先順位を参照してください。

オフタイマー

指定した時間内にディスプレイが自動的にオフになり、スタンバイモードに移行するように設定します。

オプションは次のとおりです: 現在時刻から { オフ、1 ~ 24 } 小时。

注意: 「オフタイマー」が有効になると、「スケジュール」設定は無効になります。

スケジュール

ユーザーがディスプレイの動作スケジュールを最大 7 つまで設定できるようにします。

スケジュール

スケジュール一覧

1

有効

☐

開始時間

終了時間

入力

再生一覧

曜日

毎週

輝度(画像)

オフ

戻る

保存

- { スケジュール一覧 } - 編集するスケジュールを 1 ~ 7 から選択してください。
- { 有効 } - 選択したスケジュールを有効 / 無効にします。他のスケジュールと時間が競合する場合、または開始時間 / 終了時間、入力ソースが空の場合、ユーザーはこのスケジュールを有効にできません。
- { 開始時間 } - 開始時間を設定してください。
- { 終了時間 } - 終了時間を設定してください。
- { 入力 } - 入力ソースを設定してください。開始時間になると、システムは自動的に選択したソースに切り替わります。
- { 再生一覧 } - メディアプレーヤー、PDF プレーヤー、ブラウザーの各入力ソースに対して、再生一覧 1 ~ 7 を設定してください。
- { 曜日 } - 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日を設定してください。
- { 毎週 } - 実行期間を設定してください。
- { 輝度 (画像) } - スケジュールで指定した入力ソースの輝度を設定してください。
- { 戻る } - キャンセルし、スケジュールデータを変更しません。
- { 保存 } - スケジュールデータを保存してください。

単線 HDMI

HDMI CEC を有効または無効にします。

単線 HDMI 電源オフ

ユーザーが電源ボタンを押すことで、複数のデバイスをスタンバイモードに設定できるようにします。この機能は、HDMI CEC が有効な場合のみ使用できます。

オートサーチ

この機能により、システムが利用可能な信号ソースを自動的に検出し、表示します。

- { オフ } - 信号が接続された後は、手動でのみ選択できます。
- 選択した入力に信号がない場合は、各オプションの検索順序に従って画像が自動的に表示されるようにシステムを設定してください。
- オプションは次のとおりです：{ すべて } / { フェールオーバー }
- { すべて } - HDMI1 -> HDMI2 -> TYPE-C -> メディアプレーヤー -> ブラウザー -> PDF プレーヤー -> カスタム -> Screenshare
 - { フェールオーバー } - 信号が接続された後は、手動でのみ選択できます。
 - デフォルト：HDMI1

パワーセーブモード

モード 1 [TCP オフ、WOL オン、自動オフ]

モード 3 [TCP オン、WOL オフ、自動オン / オフ]

モード 4 [TCP オン、WOL オフ、自動オン / オフなし]

パワーセーブモード	RCU 電源ボタンオフ	信号なし	WOL	Android (ARM)
モード 1	DC オフ	DC オフ	V	ARM オフ
モード 3	バックライトオフ	バックライト オフ	X	ARM オン
モード 4	バックライトオフ	バックライトを常にオンにし、信号なしを表示します	X	ARM オン

次のテーブルは、異なる電源モードにおける Android ボードのアクションです。

電源モード	モード 1	モード 3、モード 4
DC オフ	システムのシャットダウン	1. メディアプレーヤー、ブラウザー、および PDF プレーヤーが終了します。 2. Android システムがデフォルトの黒のランチャーに切り替わります。
DC オン	システムの起動	Android システムが再起動します。ロゴの設定がオフの場合、システムは再起動せずに直接バックライトをオンにします。

「エコモード」

「エコモード」は、ダイナミックバックライトコントロールを有効または無効にします。ECO が有効の場合、全体的な画像のパフォーマンスが向上し、消費電力が削減されます。

ECO が無効の場合、画面メニューの輝度が最大になります。

アドバンスドオプションのリセット

アドバンスドオプションメニューの {Date and Time} を除くすべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットしてください。

8. サポートされているメディア形式

USB マルチメディアコーデック形式

動画				
	ファイル	コーデック		
番号	拡張子	ビデオ	オーディオメニュー	最大送信レート
1	.3gp/3GP2	VP8	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer2/3,AAC-LC,HEAAC,VORBIS,LPCM,FLAC	仕様 : 1920x1080@60fps, 40Mbps
2		H.263		仕様 : 1408x1152@60fps, 60Mbps
3		H.264		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
4		H.265		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 100Mbps
5		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
6		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
7		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
8	.avi	VP8	MPEG1 Layer2,AAC-LC,HEAAC,VORBIS,LPCM,FLAC	仕様 : 1920x1080@60fps, 40Mbps
9		H.263		仕様 : 1408x1152@60fps, 60Mbps
10		H.264		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
11		H.265		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 100Mbps
12		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
13		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
14		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
15	.dat	H.264	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM	仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
16		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
17		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
18		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
19	.flv	H.264	MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM	仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
20	.mkv	VP8	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM,FLAC,OPUS	仕様 : 1920x1080@60fps, 40Mbps
21		VP9		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 100Mbps
22		H.264		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
23		H.265		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 100Mbps
24		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
25		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
26		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps

動画				
	ファイル	コーデック		
番号	拡張子	ビデオ	オーディオメニュー	最大送信レート
27	.mov	VP8	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM,FLAC,OPUS	仕様 : 1920x1080@60fps, 40Mbps
28		H.264		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
29		H.265		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 100Mbps
30		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
31		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
32		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
33	.mp4	VP8	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM,FLAC	仕様 : 1920x1080@60fps, 40Mbps
34		H.264		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
35		H.265		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 100Mbps
36		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
37		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
38		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
39	.VOB	H.264	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM	仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
40		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
41		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
42		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
43	.mpg/.mpeg	H.264	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM	仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
44		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
45		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
46		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps
47	.webm	VP8	VORBIS,OPUS	仕様 : 1920x1080@60fps, 40Mbps
48		VP9		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで),1920x1080@120fps, 100Mbps
49	.ts	H.264	MPEG1 Layer2,MPEG2 Layer3,AAC-LC,HEAAC,LPCM	仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 135Mbps
50		MPEG-1		仕様 : 720x576@30fps, 60Mbps
51		MPEG-2		仕様 : 3840x2160@60fps(最大 :4096x2304 まで), 1920x1080@120fps, 60Mbps
52		MPEG-4		仕様 : 1920x1080@60fps, 60Mbps

オーディオメニュー				
番号	ファイル	フォーマット	オーディオコーデック	対応範囲
1	.aac/.m4a	AAC、M4A	AAC-LC、HEAAC	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:12Kbps~576Kbps
2	.mpg	MP1、MP2、MP3	MPEG1/2 Layer2	サンプリングレート:16KHz~48KHz ビットレート:8Kbps~384Kbps
3		AAC、M4A	AAC-LC、HEAAC	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:12Kbps~576Kbps
4		LPCM	LPCM	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:64Kbps~1.5Mbps
5	.flac	FLAC	FLAC	サンプリングレート:8KHz~44KHz ビットレート:1.6Mbps
6	.mp3	MP1、MP2、MP3	MPEG1 Layer2	サンプリングレート:16KHz~48KHz ビットレート:8Kbps~384Kbps
7		MPEG Audio Layer3	MPEG2 Layer2/3	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:8Kbps~320Kbps
8	.ogg	Vorbis	Vorbis	サンプリングレート:~48KHz ビットレート:NA
9		OPUS	OPUS	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:6Kbps~510Kbps
10	.wav	AAC、M4A	AAC-LC、HEAAC	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:12Kbps~576Kbps
11		LPCM	LPCM	サンプリングレート:8KHz~48KHz ビットレート:64Kbps~1.5Mbps

写真				
番号	ファイル	フォーマット	対応範囲	備考
1	.jpeg/jpg	JPEG	Baseline 16383x16383 Progressive 1920x1080	ハードウェアデコーダー。
2	.png	PNG	8192x4320	解像度の最大値は、DRAM のサイズによって異なります。
3	.bmp	BMP	8192x4320	解像度の最大値は、DRAM のサイズによって異なります。
4	.gif	GIF	8192x4320	解像度の最大値は、DRAM のサイズによって異なります。

注記:

- コンテンツの標準ビットレート / フレームレートが、上のテーブルに記載されている対応 Frame/sec を超える場合、音声または映像が正常に動作しないことがあります。
- 上のテーブルに指定されているレートを超えるビットレートまたはフレームレートの映像コンテンツを再生すると、映像が途切れることがあります。

9. 入力モード

項目	モード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
1	MACINTOSH	640x480	35	66.67
2	VESA	640x480	37.861	72.809
3	VESA	640x480	37.5	75
4	VESA	800x600	35.156	56.25
5	VESA	800x600	37.879	60.317
6	VESA	800x600	48.077	72.188
7	VESA	800x600	46.875	75.000
8	MACINTOSH	832x624	49.726	74.551
9	VESA Standard AddDMT	848x480	31	60.000
10	-	960x720	56.4	75.000
11	VESA	1024x768	48.363	60.004
12	VESA	1024x768	56.476	70.069
13		1152x864	53.986	59.985
14	VESA	1152x864	53.783	59.959
15		1152x864	63.851	70.012
16	VESA	1152x864	67.5	75.000
17	SUN WS	1152x900	61.846	66.004
18	-	1280x720	44.772	60.000
19	-	1280x720	52.5	70.000
20	CVT 2.3MA	1280 x768	47.776	59.870
21	CVT 2.3MA	1280 x768	60.289	74.893
22	CVT	1280x800	49.7	59.810
23	CVT	1280x800	62.8	74.930
24	VESA	1280x960	60	60.000
25	VESA	1280x1024	63.981	60.020
26	SUN WS	1280x1024	71.691	67.189
27	VESA	1280x1024	79.976	75.025
28	VESA Standard AddDMT	1360x768	47.712	60.015
29	VESA Standard AddDMT	1366x768	47.712	59.790
30	VESA リデュースドブランキングモード	1440x900	55.469	59.901
31	VESA	1440x900	55.935	59.887
32	VESA	1440x900	70.635	74.984
33	CVT リデュースドブランキング	1400x1050	64.744	59.948
34	CVT AddDMT	1440x1050	65.3	60.000
35	CVT	1400x1050	82.278	74.867
36	CVT リデュースドブランキング	1600x900	55.54	60.000
37	VESA	1600x1200	75	60
38	CVT1.76MW	1680x1050	65.29	59.954
39	CVT1.76MW-R	1680x1050	64.674	59.883
40	CVT 2.3MA-R	1920x1080	66.587	59.934
41	VESA 標準 VDMTREV	1920x1080	67.5	60.000
42	CVT1960H	1920x1080	67.1584	59.963
43	VSC1960H	1920x1080	67.08	60
44	CVT 2.3MA-R	1920x1200	74.038	59.950

4K2K

項目	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
1	3840x2160	53.946	23.900
2	3840x2160	54	24.000
3	3840x2160	56.25	25.000
4	3840x2160	67.432	29.900
5	3840x2160	67.5	30.000
6	4096x2160	54	24.000
7	3840x2160	135	60.000

ビデオタイミング対応 (HDMI)

項目	モード	解像度	コメント
1	60Hz	480i	
2		480p	
3		720p	
4		1080i	
5		1080p	
6		4Kx2K	
7	50Hz	576i	
8		576p	
9		720p	
10		1080i	
11		1080p	
12		4Kx2K	

注記: DisplayPort は 3840x2160@30Hz に対応しています。

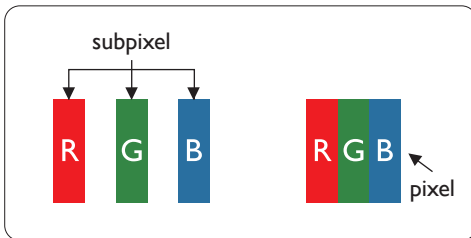
- PC のテキスト品質は、UHD 4K/2K モード (3840 x 2160、60Hz) で最適になります。
- PC の画面メニューは、メーカー（およびご使用の Windows のバージョン）によって異なる場合があります。
- PC をディスプレイに接続する方法については、PC の取扱説明書をご確認ください。
- 垂直および水平の周波数選択モードがある場合は、60Hz (垂直) および 31.5KHz (水平) を選択してください。場合によっては、PC の電源がオフになったとき(または PC が切断されたとき)に、異常な信号(縞模様など)が画面メニューに表示されることがあります。その場合は、[INPUT] ボタンを押してビデオモードに入ってください。また、PC が接続されていることを確認してください。
- ディスプレイ設定テーブルは IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- 各モードにおける垂直周波数の最適なタイミングは 60Hz です。
- 解像度 3840x2160 50/60Hz には、HDMI 認証ケーブル (Premium High Speed HDMI Cables) を使用する必要があります。

10. ピクセル欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けできるよう努めており、業界で最も先進的な製造プロセスの一部を採用するとともに、厳格な品質管理を実施しています。しかしながら、プラズマディスプレイおよび LCD ディスプレイに使用される PDP / TFT パネルにおけるピクセルまたはサブピクセルの欠陥は、避けられない場合があります。すべてのパネルにピクセル欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips プロフェッショナルディスプレイでは、許容範囲を超える数の欠陥があるプラズマディスプレイおよび LCD ディスプレイについて、お住まいの地域の保証条件に従い、保証期間内に修理を行うことを保証いたします。

本書では、各種のピクセル欠陥について説明し、LCD 画面における許容欠陥レベルを定義しています。保証による修理の対象となるには、ピクセル欠陥の数が参照テーブルに示す一定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様範囲内の場合、保証交換／クレームバックはお受けできません。また、ピクセル欠陥の種類や組み合わせによっては他より目立つ場合があるため、Philips ではそれらに対してさらに厳しい品質基準を設けています。

10.1. ピクセルとサブピクセル



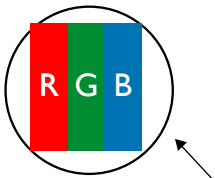
ピクセル (画素) は、赤、緑、青のプライマリカラーからなる 3 つのサブピクセルで構成されています。多数のピクセルが集まって画像を形成します。1 つのピクセルを構成するすべてのサブピクセルが点灯すると、3 色のサブピクセルが合わさって 1 つの白ピクセルとして表示されます。すべてが消灯すると、3 色のサブピクセルが合わさって 1 つの黒ピクセルとして表示されます。点灯と消灯のサブピクセルのその他の組み合わせにより、他の色の単一ピクセルとして表示されます。

10.2. ピクセル欠陥の種類+ドット定義

ピクセルおよびサブピクセルの欠陥は、画面上にさまざまな形で現れます。ピクセル欠陥には 3 つのカテゴリがあり、各カテゴリ内に数種類のサブピクセル欠陥が存在します。

ドットの定義 = 欠陥「ドット」とは何か？

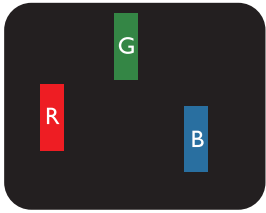
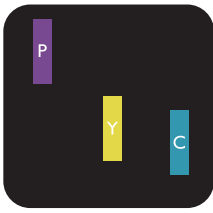
1 つ以上の欠陥のある隣接するサブピクセルを、1 つの「ドット」と定義します。欠陥ドットを定義する上で、欠陥のあるサブピクセルの数は関係ありません。これは、欠陥ドットが、消灯または点灯している 1 つ、2 つ、あるいは 3 つの欠陥サブピクセルで構成され得ることを意味します。



1 ドット = 1 ピクセル; 赤、緑、および青の 3 つのサブピクセルで構成されます。

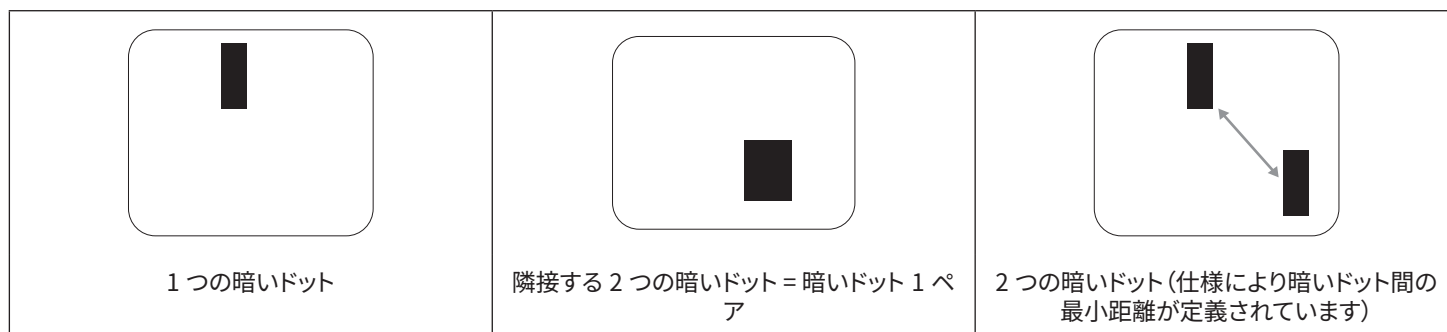
10.3. 輝点欠陥

輝点欠陥は、常に点灯または「オン」になっているピクセルやサブピクセルとして現れます。以下に輝点欠陥の例を示します：

 1 つだけ点灯した赤、緑、または青のサブピクセル	 隣接して点灯した 2 つのサブピクセル: 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = シアン (水色)	 隣接して点灯した 3 つのサブピクセル (1 つの白ピクセル)
---	--	--

10.4. 暗点欠陥

黒点欠陥は、常に消灯または「オフ」になっているピクセルやサブピクセルとして現れます。以下に黒点欠陥の例を示します：



10.5. ピクセル欠陥の近接性

同種のピクセル欠陥およびサブピクセル欠陥が互いに近接している場合はより目立つことがあるため、Philips ではピクセル欠陥の近接性に関する許容値も規定しています。以下のテーブルで、次の仕様を確認できます：

- ・ 許容される隣接する暗いドットの数 = (隣接する暗いドット = 暗いドット 1 ペア)
- ・ 暗いドット間の最小距離
- ・ すべての欠陥ドットの合計数

10.6. ピクセル欠陥の許容値

保証期間内にピクセル欠陥を理由とした修理の対象となるには、Philips Plasma / LCD ディスプレイの PDP / TFT パネルにおいて、下表に記載された許容値を超えるピクセル欠陥またはサブピクセル欠陥が存在する必要があります。

輝点欠陥	許容レベル
点灯しているサブピクセル 1 個	2
黒点欠陥	許容レベル
暗いサブピクセル 1 個	10
全種類のドット欠陥の合計数	12

注：* 隣接する 1 個または 2 個のサブピクセル欠陥 = ドット欠陥 1 個

10.7. ムラ

一部の液晶ディスプレイ (LCD) パネルには、暗い斑点やまだら模様が現れることがあります。これは業界では「ムラ」と呼ばれており、「不均一」を意味する日本語です。特定の条件下において、画面の輝度が不均一になる不規則なパターンや領域を表すために用いられます。ムラは液晶配向膜の劣化によって生じ、主に高温環境下での長時間稼働が原因となります。これは業界全体で見られる現象であり、ムラは修理することができません。また、当社の保証対象外となります。

ムラは LCD 技術の導入当初から存在しており、画面の大型化や 24 時間 365 日の連続稼働に伴い、多くのディスプレイが低輝度条件下で使用されています。こうした要因が重なり、ムラがディスプレイに影響を及ぼす可能性が高まっています。

ムラの確認方法

ムラにはさまざまな症状と複数の原因があります。その一部を以下に示します。

- ・ 結晶マトリクス内の不純物または異物
- ・ 製造時における LCD マトリクスの分布むら
- ・ バックライトの輝度分布の不均一
- ・ パネル組み立て時に生じる応力
- ・ LCD セル内の欠陥
- ・ 熱による応力 - 長時間の高温動作

ムラの回避方法

ムラを完全に解消できることを常に保証することはできませんが、一般的に以下の方法によりムラの発生を最小限に抑えることができます：

- ・ バックライトの輝度を下げてください
- ・ スクリーンセーバーを使用してください
- ・ 本機の周囲温度を下げてください

11. クリーニングとトラブルシューティング

11.1. クリーニング

ディスプレイ使用時の注意

- 手、顔、または物をディスプレイの通気孔に近づけないでください。排気される空気の温度が高いため、ディスプレイの上部は通常非常に高温になります。体の一部を近づけすぎると、やけどやけがをするおそれがあります。ディスプレイの上部付近に物を置くと、その物やディスプレイ自体が熱によって損傷するおそれもあります。
- モニターを移動する前に、必ずすべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したままモニターを移動すると、ケーブルが損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 安全のため、清掃やメンテナンスを行う前に、必ず電源プラグを壁面のコンセントから抜いてください。

フロントパネルの清掃方法

- ディスプレイの前面には特殊な処理が施されています。クリーニングクロスまたは柔らかく毛羽立ちのない布のみを使用して、表面を優しく拭いてください。
- 表面が汚れた場合は、柔らかく毛羽立ちのない布を薄めた中性洗剤に浸し、余分な液を絞り出してください。その布でディスプレイの表面を拭き、汚れを取り除いてください。その後、同様の乾いた布で水分を拭き取って乾燥させてください。
- 指や硬いものでパネルの表面を傷つけたり、叩いたりしないでください。
- スプレー、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。

キャビネットの清掃方法

- キャビネットが汚れた場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- キャビネットがひどく汚れている場合は、毛羽立ちのない布を薄めた中性洗剤に浸し、水分ができるだけ残らないように固く絞ってください。その布でキャビネットを拭き、その後別の乾いた布で表面が乾くまで拭き上げてください。
- プラスチック部品の清掃に、油分を含む溶液を使用しないでください。このような製品はプラスチック部品を損傷させ、保証の対象外となります。
- 水や洗剤がディスプレイの表面に触れないようにしてください。本機内部に水や湿気が入ると、動作不良や感電の原因となるおそれがあります。
- 指や硬い物でキャビネットを引っ掻いたり、叩いたりしないでください。
- キャビネットに、スプレー、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。
- ゴム製または PVC 製の物を、長時間キャビネットの近くに置かないでください。

11.2. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
画像が表示されない	1. 電源コードが接続されていません。 2. ディスプレイ背面の主電源スイッチがオンになっていません。 3. 選択した入力に信号が接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっています。	1. 電源コードを接続してください。 2. 主電源スイッチがオンになっていることを確認してください。 3. ディスプレイに信号ケーブルを接続してください。
ディスプレイにノイズが表示される、または異常な音が聞こえる	周囲の電気機器または蛍光灯が原因です。	干渉が軽減されるか確認するため、ディスプレイを別の場所に移動してください。
色 (彩度) が異常です	信号ケーブルが正しく接続されていません。	信号ケーブルがディスプレイの背面にしっかり接続されていることを確認してください。
画像が異常なパターンで乱れています	1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号がディスプレイの対応範囲を超えています。	1. 信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。 2. 映像信号源がディスプレイの対応範囲を超えていないか確認してください。本ディスプレイの仕様項目で仕様を確認してください。
表示画像が画面全体に表示されません	1. ズームモードが正しく設定されていません。 2. スキャンモードがアンダースキャンに誤って設定されている可能性があります。 3. 画像が画面サイズを超える場合は、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。	画面メニューのズームモードまたは CUSTOM ZOOM 機能を使用して、ディスプレイのジオメトリおよびタイミング周波数パラメーターを微調整してください。
音は聞こえますが、画像が表示されません	信号源ケーブルが正しく接続されていません。	映像入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認してください。
画像は表示されますが、音声聞こえません	1. 信号源ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が最小に設定されています。 3. { ミュート } がオンになっています。 4. 外部スピーカーが接続されていません。	1. 映像入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認してください。 2. 音声を出力するには、[+] ボタンまたは [-] ボタンを押してください。 3. [] ボタンを使用してミュートをオフにしてください。 4. 外部スピーカーを接続し、音量を適切なレベルに調整してください。
一部の画像要素が点灯しません	ディスプレイの一部のピクセルがオフになっています。	本ディスプレイは極めて高い精度の技術を使用して設計されていますが、場合によってはディスプレイの一部のピクセルが表示されないことがあります。これは故障ではありません。
ディスプレイの電源をオフにした後でも、残像が表示されることがあります(静止画の例ロゴ、ビデオゲーム、コンピューター画像、4:3 ノーマルモードで表示される画像)。	静止画像が長期間にわたって表示される	静止画像を長時間表示しないでください。ディスプレイに永久的な残像が残る原因となります。

症状	考えられる原因	対処方法
RC を使用してすべてのモニターを同時に、または個別に制御するには、メニューの設定をどのように構成しますか？	IR ケーブルによるデージーチェーン接続	1. 最初のディスプレイを OSD で「プライマリ」に設定し(アドバンスドオプションメニュー / リモコンロック項目)、その他のディスプレイを「セカンダリ」に設定してください。 2. 設定 OSD はディスプレイの左上に表示されます。(消えた場合は MENU ボタンを切り替えると再表示されます) 3. デフォルト設定: ID NO: 0、GP NO: 0。この設定により、IR ですべてのディスプレイを制御できます。 「+」、「-」で「ID NO」を変更し、「モニター ID」によって単一のディスプレイを制御できます。 「UP」、「DOWN」で「GP NO」を変更し、「グループ ID」によって複数のディスプレイを制御できます。 * 最初のディスプレイは常に IR によって制御されます。
リモコンは正常に動作していますか？	デージーチェーン: IR ケーブルの接続なし	設定は不要です。IR ケーブルで接続し、IR で制御してください。 * これにより同期ずれ現象が発生する場合があります。

12. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様			
	43BDL2050A	50BDL2050A	55BDL2050A	65BDL2050A
画面サイズ(有効表示領域)	108 cm / 42.5 inch	125.7 cm / 49.5 inch	138.7 cm / 54.6 inch	163.9 cm / 64.5 inch
アスペクト比	16:9	16:9	16:9	16:9
ピクセル数	3840 (H) x 2160 (V)	3840 (H) x 2160 (V)	3840 (H) x 2160 (V)	3840 (H) x 2160 (V)
ピクセルピッチ	0.2451 (H) x 0.2451 (V) [mm]	0.2854 (H) x 0.2854 (V) [mm]	0.315 (H) x 0.315 (V) [mm]	0.372 (H) x 0.372 (V) [mm]
表示色数	8 bits+FRC、10.7 億色	8 bits+FRC、10.7 億色	8 bits+FRC、10.7 億色	8 bits+FRC、10.7 億色
輝度 (画像) (標準値)	350 cd/m ²	350 cd/m ²	350 cd/m ²	350 cd/m ²
コントラスト比 (標準値)	1200:1	5000:1	1200:1	1200:1
視野角	178 度	178 度	178 度	178 度

入出力端子:

項目		仕様
オーディオ出力	3.5mm フォンジャック x 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (L+R)
IR 入力 / 出力	3.5mm x 2	IR パススルーまたは IR デイジーチェーン
RJ-45	RJ-45 ジャック x 1 (8 ピン)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 2 (Type A) (19 ピン)	デジタル RGB: TMDS (ビデオ + オーディオ) 最大: ビデオ - 720p、1080p、3840 x 2160/60 Hz オーディオ - 48 KHz/ 2 チャンネル (L+R) LPCM のみ対応
USB 入力	USB3.0 TypeA x2	USB 3.0、マルチメディア再生およびサービスポート
USB3.1 C	Type C	5V/4.5W
拡張スロット	USB 3.0 x 1	CRD22 用にリザーブ

一般：

項目	仕様			
	43BDL2050A	50BDL2050A	55BDL2050A	65BDL2050A
電源入力	100 - 240V~, 50/60Hz	100 - 240V~, 50/60Hz	100 - 240V~, 50/60Hz	100 - 240V~, 50/60Hz
消費電力(最大)	110 W	118 W	141 W	153 W
消費電力(標準)	80 W	87 W	101 W	109 W
消費電力(スタンバイモードおよびオフモード)	<0.5 W	<0.5 W	<0.5 W	<0.5 W
AC スイッチオフモード (W)	0 W	0 W	0 W	0 W
WiFi+ Bluetooth 機能	CRD22: WiFi 6 および Bluetooth V5.2 をサポート			
外形寸法(スタンドなし) [W x H x D]	973.0 x 561.2 x 63.5 mm	1128.4 x 649.0 x 63.5 mm	1241.8 x 712.6 x 64.0 mm	1462.3 x 837.3 x 93.4 mm (D@ ハンドル)/68.9 mm (D@ 壁掛け)
重量(スタンドなし)	10.6 Kg	13.3 Kg	17.2 Kg	27.0 Kg
総重量(スタンドなし)	13.7 Kg	17.2 Kg	21.0 Kg	35.4 Kg

環境条件：

項目		仕様
温度	動作時	0 - 40° C
	保管時	-20 ~ 60° C
湿度	動作時	20 ~ 80% RH (結露なきこと)
	保管時	5 ~ 95% RH (結露なきこと)
高度	動作時	0 ~ 5,000 m
	保管／輸送時	0 ~ 9,000 m

索引

あ行

安全に関する説明 1
入出力端子 11
入力モード 50, 51, 52

か行

各部の名称と機能 10
壁面への取り付け 8
外部機器の接続 17
外部機器の接続(マルチメディアプレーヤー) 17
画像フォーマットの変更 19
開梱 4
開梱と設置 4
概要 19
清掃とトラブルシューティング 55
技術仕様 58
コントロールパネル 10

さ行

産業に関する注意事項 7
縦長方向での取り付け 9
仕様 31
接続された映像ソースを視聴する 19
操作 19
設定 31
設置に関する注意事項 7

た行

対応メディアフォーマット 48

は行

パッケージ内容 7
ピクセル欠陥ポリシー 53
ブラウザー 24
補足 40

ま行

メディアプレーヤー 21

ら行

リモコン 13
リモコンの操作範囲 12, 13

欧文

AC スイッチカバー 17
IR バススルー接続 18
IR 接続 18
OSD メニュー 42
OSD メニューの操作 42
OSD メニューの概要 42
PC の接続 17
PDF プレーヤー 28



2026 © MMD Hong Kong Holding Limited. All rights reserved.

本製品はMMD Hong Kong Holding Limitedによって製造され、同社の責任において販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品の保証者となります。PhilipsおよびPhilipsシールドエンブレムはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。

仕様は予告なく変更される場合があります。

バージョン: V1.01 2026-07-29